

平成24年
山梨県観光入込客統計調査報告書

目 次

第1部 観光入込客統計調査	1
1. 調査目的.....	2
2. 調査期間.....	2
3. 調査方法.....	2
4. 調査分析項目.....	3
5. 圏域分類.....	4
6. 用語の定義.....	5
7. 平成24年観光客入込客調査結果の概要.....	7
8. 調査結果.....	8
(1) 平成24年本県観光の概況.....	8
(2) 平成24年圏域別観光入込客数(実人数).....	10
(3) 平成24年市町村別観光入込客数(実人数).....	12
(4) 平成24年宿泊観光客数.....	15
(5) 平成24年観光消費額.....	17
【参考1】観光入込客数(実人数)の推移	18
【参考2】観光入込客数(延べ人数)	19
(6) 月別の観光動向.....	25
(7) 圏域別観光の動向.....	29
第2部 観光地点等パラメータ調査による分析	34
1. 調査の概要.....	35
2. 観光客の特性、動態状況の分析.....	36
(1) 本県観光客の全体像.....	36
(2) 属性(性別・年代)別の観光客の特徴.....	64
(3) 圏域別の観光客の特徴.....	68
<アンケート調査票>	80

第 1 部 観光入込客統計調査

1. 調査目的

山梨県観光入込客統計調査（以下「本調査」という）は、観光客の旅行ニーズや行動パターンが多様化する中で、本県観光客の実態をよりの確に把握することにより、今後の観光施策や観光関係者の事業展開の基礎資料に供することを目的とする。

2. 調査期間

平成 24 年 1 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日

3. 調査方法

(1) 調査方法

観光客の実態をよりの確に把握するため、本県では平成 22 年 4 月より観光庁が定めた「観光入込客統計に関する共通基準及び調査要領」を導入し、観光入込客数や観光消費額について、全国共通の基準により四半期毎に調査集計を行っている。

具体的には、①観光地点等入込客数調査（単純集計による延べ人数）、②観光客を対象とする観光地点アンケート（パラメータ）調査を実施し、①及び②の調査結果に、観光庁が実施する他の統計調査の結果を用いて統計量を補正し、観光入込客の分析を行った。

なお、調査方法の詳細を巻末に示す。

図表 1 観光入込客調査方法

項目	調査内容
調査対象	・年間入込客数が1万人以上、又は特定月で5千人以上の観光地点を集計する。（集計対象は前年実績により毎年当初に判定。）
調査方法	・全観光地点を市町村経由で照会
調査地点数	・平成24年調査対象地点454箇所、集計対象地点396箇所

(2) 集計方法の留意点

観光入込客実人数の算定では、イベント・行祭事を含めていない。

また、各統計数値は、端数処理をしているため表中の合計値と個々の数値の合計が一致しないことがある。

4. 調査分析項目

調査分析項目は以下のとおりである。

図表2 調査分析項目

項目	分析内容
観光客数	実人数、延べ人数（月別、圏域別、市町村別、外国人）
宿泊客数	実人数（月別、圏域別、外国人）
観光消費額	県内総消費額 1人あたり消費額（実人数ベース） 県外・県内宿泊客消費額 県外・県内日帰り客消費額 消費額内訳
観光動態	居住地 性別 年齢 日帰り・宿泊の別 平均訪問観光地点数（県外・県内） 平均宿泊数（県外・県内） 旅行目的 同行者数、グループ形態 利用交通手段 観光情報入手手段 観光消費の実態 観光地の満足度 自由意見 等

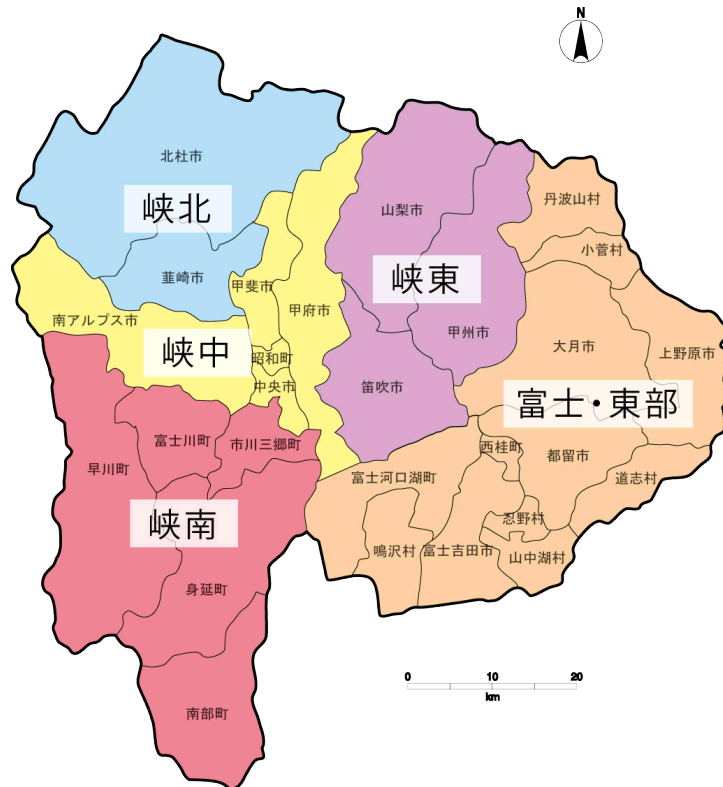
5. 圏域分類

本調査では、県内を5つの圏域（峡中、峡東、峡南、峡北、富士・東部）に分類し、圏域毎の観光客の動向分析を行う。

図表3 圏域分類

圏域名	所在市町村
峡中圏域 昇仙峡・湯村温泉周辺 芸術の森・武田神社周辺 広河原・芦安温泉周辺 楡形山・果実郷周辺 釜無川沿岸 風土記の丘周辺	甲府市（湯村、塩部、上帯那、下帯那、高成町、黒平、竹日向） 旧敷島 甲府市（上記地区以外） 旧芦安村 旧八田村、旧白根町、旧楡形町 旧童王町、旧双葉町、昭和町、旧玉穂町、旧田富町、旧若草町、旧甲西町 旧中道町、旧豊富村、旧上九一色村（甲府市編入区域）
峡東圏域 大菩薩・恵林寺周辺 勝沼ぶどう郷周辺 西沢渓谷・フルーツ公園周辺 石和温泉・果実郷周辺	旧塩山市 旧勝沼町、旧大和村 山梨市（旧山梨市、旧牧丘町、旧三富村） 笛吹市（旧春日居町、旧石和町、旧御坂町、旧一宮町、旧八代町、旧境川村、旧芦川村）
峡南圏域 身延山・下部温泉周辺 早川周辺 峡南北部 峡南南部	身延町（旧下部町、旧身延町、旧中富町） 早川町 市川三郷町（旧三珠町、旧市川大門町、旧六郷町）、富士川町（旧増徳町、旧鯉沢町） 南部町（旧南部町、旧富沢町）
峡北圏域 八ヶ岳高原周辺 金峰・みずがき周辺 甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺 茅ヶ岳周辺	旧高根町、旧長坂町、旧大泉村、旧小淵沢町 旧須玉町 韮崎市、旧白州町、旧武川村 旧明野村
富士・東部圏域 富士山五合目 富士吉田・河口湖・三ヶ峠周辺 本栖湖・精進湖・西湖周辺 山中湖・忍野周辺 大月・北都留 桂川・道志川周辺	富士吉田市、旧河口湖町、旧勝山村 旧上九一色村（富士河口湖町編入区域）、旧足和田村、鳴沢村 忍野村、山中湖村 大月市、旧上野原町、小菅村、丹波山村 都留市、旧秋山村、道志村、西桂町

図表4 新分類による圏域位置図



6. 用語の定義

(1) 観光

余暇、ビジネス、その他の目的のため、日常生活圏を離れ、継続して1年を超えない期間の旅行をし、また滞在する人々の諸活動をいう。

(2) ビジネス目的兼観光

旅行の主目的がビジネスである者が、観光地点を訪れることを意味する。

(3) 観光地点

観光・ビジネスの目的を問わず、観光客を集客する力のある施設又はツーリズム等の観光活動の拠点となる地点を意味し、日常的な利用、通過型の利用がほとんどを占めると考えられる地点は対象としないこととする。

(4) 行祭事・イベント

行祭事とは、地域住民の生活において伝統と慣行により継承されてきた、恒例として日を定め執り行う歴史的催し・祭り、郷土芸能等の集合を意味し、イベントとは、常設又は特設の会場施設において行われる博覧会、見本市、コンベンション等を意味する。

(5) 観光入込客

日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない者とする。本基準では、観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を観光入込客とする。

(6) 訪日外国人客

観光入込客のうち、日本以外の国に居住し、観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を訪日外国人客とする。

(7) 観光地点等入込客数（延べ人数）

観光地点及び行祭事・イベント（以下「観光地点等」という。）ごとの観光入込客の総数をいう。

(8) 観光入込客数（実人数）

県内の観光地点を訪れた観光入込客をカウントした値で、例えば、1人の観光入込客が県内の複数の観光地点を訪れたとしても、1人回と数えることとなる。この実人数は、観光地点パラメータ調査で把握された観光入込客の平均訪問地点数で、延べ人

数を除することで求められる。

(9) 訪問地点数

観光入込客 1 人の 1 回の旅行において県内で訪問した観光地点の数をいう。

(10) 観光消費額単価

観光入込客 1 人の 1 回の旅行における県内での観光消費額をいう。

(11) 観光消費額

本県を訪れた観光入込客の消費の総額をいう。観光入込客数（実人数）と観光消費額単価を掛け合わせることで算出される。

7. 平成24年観光客入込客調査結果の概要

(1) 観光入込客

- ①観光客実人数※ 27,351 千人 (前年(23,554 千人)比 116.1%)
- ②観光客延人数※ 42,946 千人 (前年(40,822 千人)比 105.2%)
- ③平均訪問観光地点数 1.5 地点

※観光客実人数はイベント・行祭事を除き算定 (5 ページ 6(8)参照)

※観光客延人数はイベント・行祭事を含み算定 (5 ページ 6(7)参照)

(2) 日帰り・宿泊別観光入込客

- ①日帰り客実人数 21,134 千人 (前年(18,133 千人)比 116.5%)
- ②宿泊客実人数 6,217 千人 (前年(5,421 千人)比 114.7%)

(3) 居住地別観光入込客 (訪日外国人客除く)

- ①県外客実人数 19,577 千人 (前年(18,586 千人)比 105.3%)
- ②県内客実人数 7,001 千人 (前年(4,757 千人)比 147.2%)

(4) 訪日外国人客

- ①日帰り客数※ 304 千人 (前年(51 千人)比 596.1%)
- ②宿泊客数 469 千人 (前年(160 千人)比 293.1%)

※日帰り客数はパラメータ調査におけるサンプル数が少ないため参考値である。

(5) 目的別観光入込客 (延べ人数) ※

- ①自然 5,323 千人 (前年(4,608 千人)比 115.5%)
- ②歴史・文化 8,853 千人 (前年(8,476 千人)比 104.4%)
- ③温泉・健康 6,113 千人 (前年(6,074 千人)比 100.6%)
- ④スポ・レク 9,327 千人 (前年(9,097 千人)比 102.5%)
- ⑤都市型観光 4,473 千人 (前年(4,526 千人)比 98.8%)
- ⑥行祭事・イベント 3,592 千人 (前年(2,880 千人)比 124.7%)
- ⑦その他 5,265 千人 (前年(5,160 千人)比 102.0%)

※本項目は観光地点等から報告のあった観光入込客数の単純集計結果による。

(6) 季節別観光入込客

- ①春(3~5月) 6,403 千人 (前年(4,949 千人)比 129.4%)
- ②夏(6~8月) 9,334 千人 (前年(7,316 千人)比 127.6%)
- ③秋(9~11月) 7,585 千人 (前年(7,142 千人)比 106.2%)
- ④冬(1~2月、12月) 4,029 千人 (前年(4,147 千人)比 97.2%)

(7) 観光消費額

- ①観光消費額 3,312 億円 (前年(2,479 億円)比 133.6%)
- ②1人当たり平均消費額 12,109 円 (前年(10,523 円)比 115.1%)

8. 調査結果

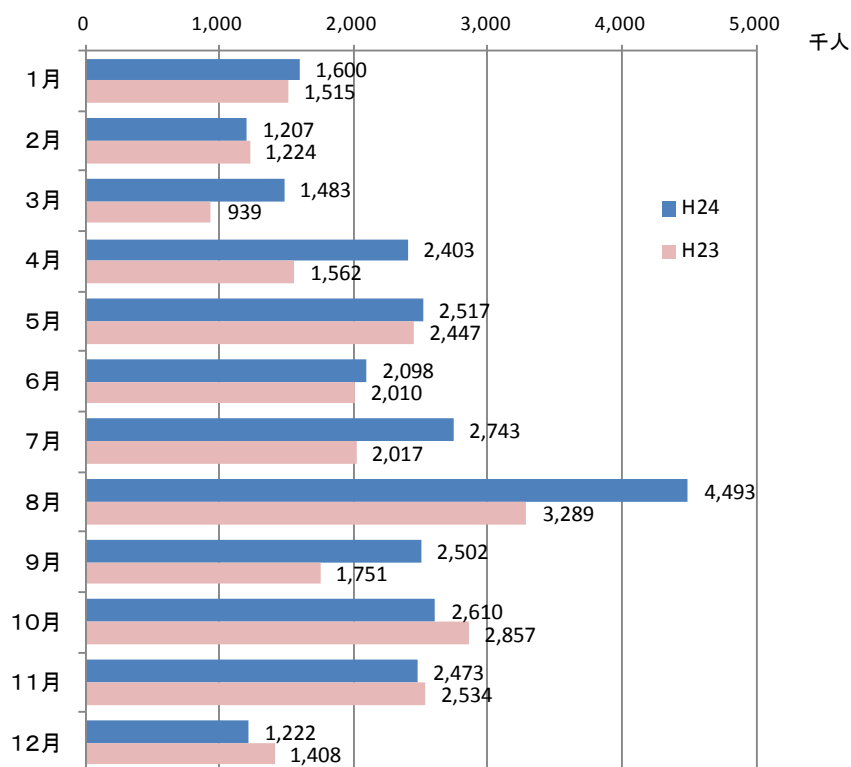
(1) 平成24年本県観光の概況

平成24年の山梨県における観光入込客数は、実人数で2,735万人と推計され、前年(2,355万人)から16.1%の増加となった。(図表5)

図表5 月別観光入込客(実人数)

(単位:人、%)

項目	平成24年		平成23年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
1月	1,599,975	5.8%	1,514,898	6.4%	105.6%
2月	1,206,782	4.4%	1,224,127	5.2%	98.6%
3月	1,483,243	5.4%	938,975	4.0%	158.0%
4月	2,402,975	8.8%	1,562,195	6.6%	153.8%
5月	2,516,816	9.2%	2,447,313	10.4%	102.8%
6月	2,098,208	7.7%	2,010,492	8.5%	104.4%
7月	2,743,076	10.0%	2,017,148	8.6%	136.0%
8月	4,493,550	16.4%	3,288,728	14.0%	136.6%
9月	2,502,374	9.1%	1,751,124	7.4%	142.9%
10月	2,609,626	9.5%	2,856,799	12.1%	91.3%
11月	2,472,802	9.0%	2,534,313	10.8%	97.6%
12月	1,221,572	4.5%	1,407,888	6.0%	86.8%
年計	27,351,000	100.0%	23,554,000	100.0%	116.1%



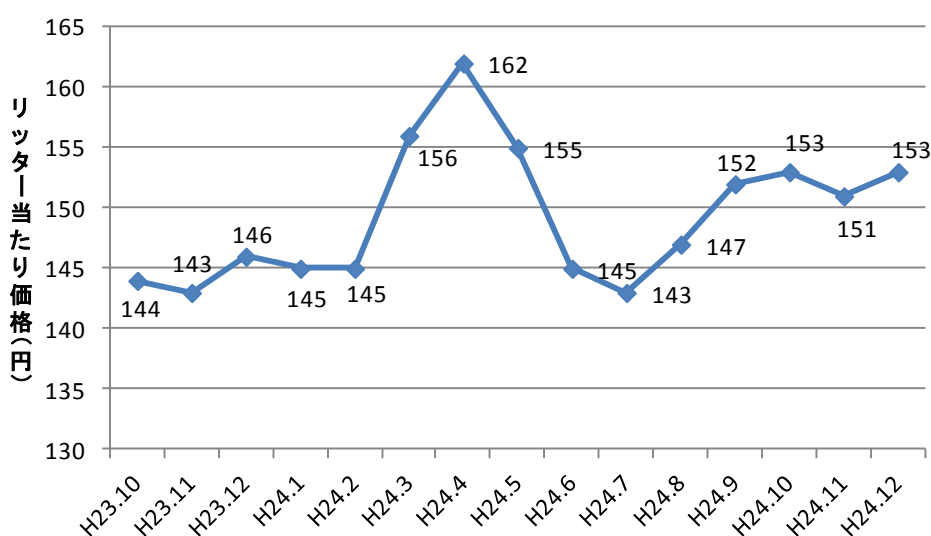
月別の観光入込客（実人数）では、8月が449万人（構成比16.4%）と最も多く、次いで7月の274万人（同10.0%）となっている。

月別の特徴をみると、3月及び4月は、東日本大震災とこれに伴う福島第一原子力発電所事故の影響で大きく減少した前年から回復し、50%台の伸びを示した。この期間中は、ガソリン価格（図表6）が年内最高水準まで上昇したものの、震災で自粛・中止されていたイベントの再開や観光消費マインドの回復等によりカバーされたとみられる。7月-9月の夏の観光ハイシーズンにおいても、主力の富士山・富士五湖エリアへの入込が大幅な伸びを示すなど好調であった。一方、前年に構成比第2位を占めた10月の入込は、ガソリン価格上昇や、果物狩り・ワイナリー訪問などの観光活動が伸び悩んだこと等を要因に低調となった。

本年の観光入込客の動向に関連して、特筆すべき重大な出来事としては、平成24年12月2日に発生した中央自動車道上り線笹子トンネルにおける天井板落下事故が挙げられる。通行止めの影響は本県観光に直接影を落とし、特に首都圏方面からの日帰り観光客の入込減などとなって表れた。

全般的にみれば、長引く景気低迷も相まって、近場の観光スポットで消費を押さえながら楽しむ安・近・短型の観光旅行を志向する傾向¹が依然として継続しているものとみられる。また、夏季における入込構成比が高まっていること、逆に10-11月の構成比が沈んでいることから、短期集中型の集客構造へと転換が進んでいる可能性がうかがわれた。このため、夏の間に自然資源をめあてとして本県を訪れる客層を、秋季以降のリピーターとして取り込むための工夫や、主要な観光資源である観光農園、ワイナリーなど果樹農業由来の観光を一層推進することなどを通じ、通年で入込客数のバランスのとれた観光地をめざしていくことが、今後の課題と考えられる。

図表6 レギュラーガソリン価格の推移（総務省「小売物価統計調査」より）



¹ 安近短とは、金額が安く、場所が近く、期間が短いという近年の観光消費の傾向をいう。

(2) 平成24年圏域別観光入込客数(実人数)

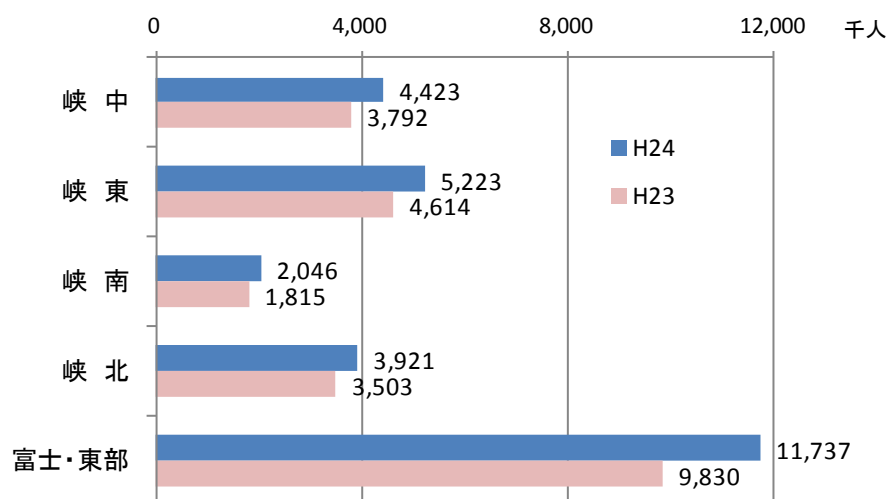
平成24年の観光入込客数を圏域別にまとめると、**図表7**のとおりである。

圏域別では、富士・東部圏域が1,174万人(前年比119.4%)と最も多く、構成比では県内全体の42.9%を占めている。次いで峡東が522万人(前年比113.2%)、峡中が442万人(同116.6%)、峡北が392万人(同111.9%)、峡南が205万人(同112.7%)となっている。前年との比較では、いずれの地域でも10%台の増加で推移しているが、富士・東部の構成比が1.2ポイント上昇していることから、この圏域への入込客の集中特化がやや進んだものとみられる。

図表7 圏域別観光入込客(実人数)

(単位:人、%)

圏域名	平成24年		平成23年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
峡中	4,423,447	16.2%	3,792,105	16.1%	116.6%
峡東	5,223,329	19.1%	4,613,823	19.6%	113.2%
峡南	2,045,955	7.5%	1,814,887	7.7%	112.7%
峡北	3,920,661	14.3%	3,502,893	14.9%	111.9%
富士・東部	11,737,608	42.9%	9,830,292	41.7%	119.4%
年計	27,351,000	100.0%	23,554,000	100.0%	116.1%



なお、平成24年の圏域別観光入込客数を、さらに詳細に、月別・小圏域単位でまとめると、**図表8**のとおりである。

(単位:人、%)

図表8 平成24年観光入込客数 小圏域別・月別一覧表(実人数)

	H24年												H23年		前年比
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	合計	
中圏域	昇仙峡・湯村温泉周辺	63,750	28,733	36,041	29,760	33,500	28,584	43,710	34,732	48,138	72,884	21,289	467,100	437,737	106.7%
	芸術の森・武田神社周辺	108,876	127,641	177,520	213,916	275,522	165,459	232,763	161,759	264,187	333,377	87,213	2,373,968	1,956,081	121.4%
	広河原・芦安温泉周辺	-	-	-	80	295	243	1,452	1,215	705	251	-	6,003	4,167	144.1%
	櫛形山・果実郷周辺	8,986	8,363	9,523	21,339	12,167	29,988	22,328	16,099	12,804	11,351	11,417	176,794	137,084	129.0%
	釜無川沿岸	57,189	68,334	60,970	83,810	67,901	76,902	64,895	71,693	62,307	86,669	57,016	873,202	838,376	104.2%
	風土記の丘周辺	17,904	18,068	22,840	39,533	47,515	56,189	62,735	52,850	77,859	61,570	23,715	526,377	418,662	125.7%
	小計	256,704	251,139	306,895	388,438	436,901	357,366	421,735	325,668	518,834	566,101	200,650	4,423,447	3,792,105	116.6%
東圏域	大菩薩・恵林寺周辺	29,546	22,939	32,064	64,560	48,137	34,733	29,202	35,485	37,460	36,138	18,605	415,479	379,971	109.3%
	勝沼ぶどう郷周辺	37,679	38,086	50,153	88,705	80,284	115,169	219,401	272,021	228,479	97,318	50,507	1,407,314	1,268,044	111.0%
	西沢渓谷・フルーツ公園周辺	64,863	60,471	81,167	99,757	121,671	159,836	89,054	131,184	124,342	101,297	40,294	1,223,067	1,216,724	100.5%
	石和温泉・果実郷周辺	159,464	102,871	122,714	356,089	131,150	145,297	202,807	172,266	181,100	160,601	109,092	2,177,466	1,749,084	124.5%
	小計	291,552	224,367	286,099	609,111	381,242	455,035	449,983	628,904	569,382	395,354	218,498	5,223,329	4,613,823	113.2%
南圏域	身延山・下部温泉周辺	98,500	33,454	79,696	189,003	147,941	88,169	74,583	80,713	99,500	97,575	68,168	1,116,084	1,034,784	107.9%
	早川周辺	361	277	435	566	4,073	592	1,268	2,028	898	1,153	266	13,141	8,133	161.6%
	峡南北部	40,788	32,727	36,200	80,381	39,783	41,854	52,933	171,530	38,625	57,797	34,413	666,255	555,835	119.9%
	峡南南部	16,025	12,942	16,133	28,922	19,681	16,450	17,596	44,915	19,316	20,731	17,254	250,473	216,137	115.9%
	小計	155,674	79,401	132,465	298,872	211,479	147,066	146,381	299,186	160,130	177,256	120,101	2,045,955	1,814,887	112.7%
北圏域	八ヶ岳高原周辺	130,197	98,868	116,555	169,721	247,094	180,194	241,713	449,479	228,361	166,529	107,180	2,392,597	2,106,184	113.6%
	金峰・みずがき周辺	6,279	4,283	7,623	14,289	18,530	15,257	17,754	26,495	22,431	21,639	7,151	179,657	169,223	106.2%
	甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺	48,269	52,150	57,731	120,291	95,381	75,052	99,805	181,262	98,048	79,864	50,090	1,048,451	936,135	112.0%
	茅ヶ岳周辺	6,193	4,506	6,810	13,424	21,752	28,297	40,127	125,574	9,857	15,565	16,324	299,957	291,351	103.0%
	小計	190,939	159,806	188,719	317,725	382,756	298,800	399,399	782,810	348,324	283,597	180,745	3,920,661	3,502,893	111.9%
富士・東部圏域	富士山五合目	53,799	25,259	67,221	188,003	192,782	176,252	444,381	579,194	189,892	105,768	35,956	2,313,140	1,590,423	145.4%
	富士吉田・河口湖・三ヶ峠周辺	409,784	252,304	295,939	294,232	390,297	373,237	514,093	978,569	428,042	541,800	245,732	5,159,333	4,310,978	119.7%
	本栖湖・精進湖・西湖周辺	119,914	104,321	89,310	135,792	289,502	116,499	170,713	325,033	151,645	133,656	70,513	1,845,813	1,759,018	104.9%
	山中湖・忍野周辺	46,631	54,906	32,169	39,329	72,310	43,841	66,291	174,575	74,221	87,379	54,682	799,648	722,293	110.7%
	大月・北都留	34,392	23,911	32,967	43,078	58,308	54,151	52,596	83,422	62,409	85,060	39,106	629,734	565,504	111.4%
	桂川・道志川周辺	40,588	31,368	51,459	88,395	101,240	75,962	106,223	135,223	110,582	96,479	55,589	989,940	882,073	112.2%
	小計	705,107	492,069	569,065	788,830	1,104,438	839,943	1,354,297	2,276,016	1,081,533	1,050,494	501,572	11,737,608	9,830,292	119.4%
	合計	1,599,975	1,206,782	1,483,243	2,402,975	2,516,816	2,098,208	2,743,076	4,493,550	2,502,374	2,472,802	1,221,572	27,351,000	23,554,000	116.1%
	四半期合計	4,290,000												6,304,000	100.0%
	月別構成比	5.8%	4.4%	5.4%	8.8%	9.2%	7.7%	10.0%	16.4%	9.1%	9.5%	9.0%	4.5%	9.0%	4.5%

(3) 平成24年市町村別観光入込客数（実人数）

平成24年の観光入込客数を市町村別にまとめると、**図表9**のとおりである。

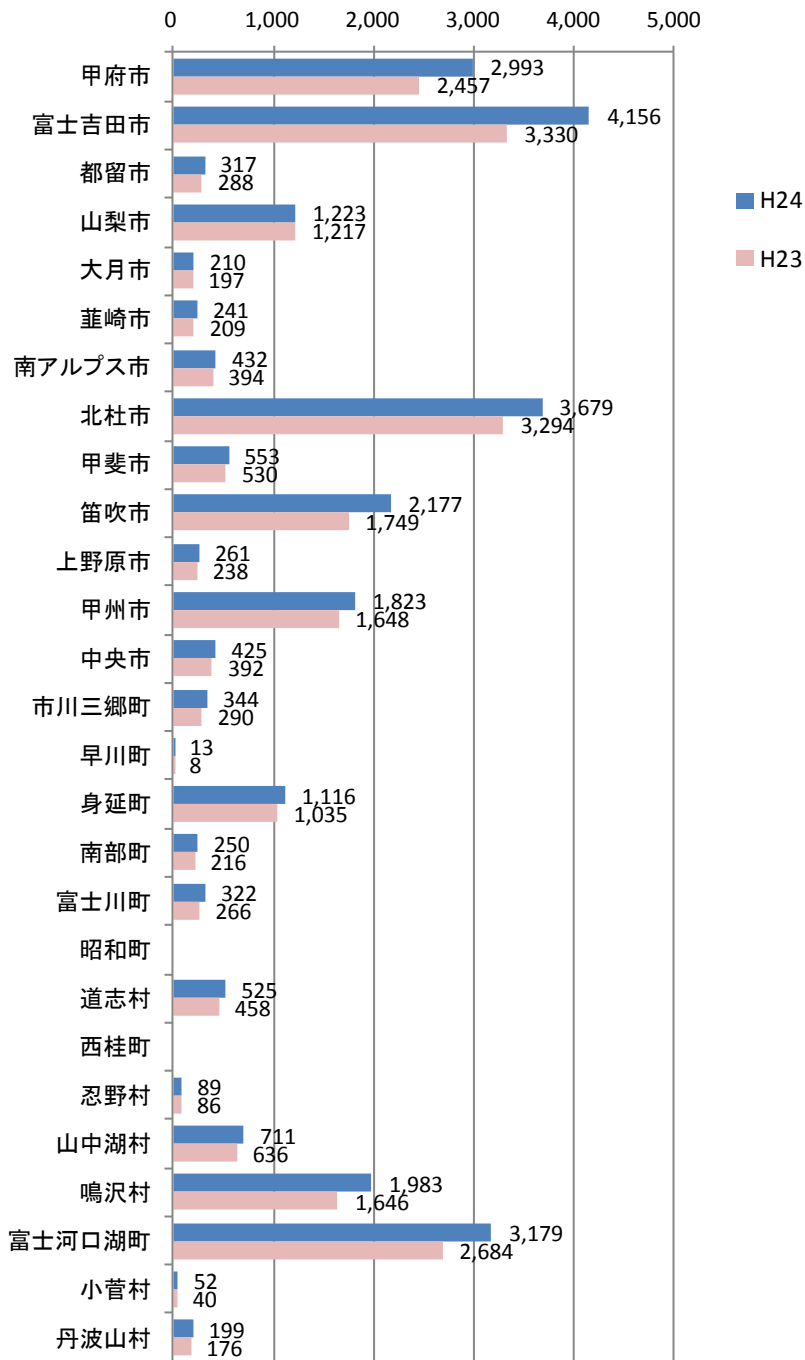
富士吉田市が416万人(構成比15.2%)と最も多く、次いで北杜市が368万人(同13.5%)、富士河口湖町318万人(同11.6%)などとなっている。前年との比較では、すべての市町村において増加となっており、全県にわたり概ね順調に入込客数が伸びたことが推測できる。ただし、構成比に着目すると、富士吉田市で前年から1.1ポイント増加した反面、山梨市で0.7ポイント減、北杜市で0.5ポイント減などの変動がみられ、市町村ごとには波があったこともうかがわれた。

図表9 市町村別観光入込客（実人数）

(単位:人、%)

市町村名	平成24年		平成23年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
甲府市	2,993,194	10.9%	2,457,308	10.4%	121.8%
富士吉田市	4,156,117	15.2%	3,329,652	14.1%	124.8%
都留市	317,211	1.2%	287,606	1.2%	110.3%
山梨市	1,223,068	4.5%	1,216,724	5.2%	100.5%
大月市	210,351	0.8%	197,094	0.8%	106.7%
韮崎市	241,192	0.9%	208,900	0.9%	115.5%
南アルプス市	432,152	1.6%	394,037	1.7%	109.7%
北杜市	3,679,470	13.5%	3,293,995	14.0%	111.7%
甲斐市	552,993	2.0%	529,541	2.2%	104.4%
笛吹市	2,177,467	8.0%	1,749,084	7.4%	124.5%
上野原市	260,971	1.0%	237,713	1.0%	109.8%
甲州市	1,822,794	6.7%	1,648,016	7.0%	110.6%
中央市	425,081	1.6%	392,315	1.7%	108.4%
市川三郷町	344,251	1.3%	289,554	1.2%	118.9%
早川町	13,141	0.0%	8,133	0.0%	161.6%
身延町	1,116,084	4.1%	1,034,784	4.4%	107.9%
南部町	250,472	0.9%	216,137	0.9%	115.9%
富士川町	322,004	1.2%	266,282	1.1%	120.9%
昭和町					
道志村	525,114	1.9%	457,916	1.9%	114.7%
西桂町					
忍野村	89,069	0.3%	86,065	0.4%	103.5%
山中湖村	710,578	2.6%	636,227	2.7%	111.7%
鳴沢村	1,983,052	7.3%	1,646,432	7.0%	120.4%
富士河口湖町	3,179,116	11.6%	2,684,334	11.4%	118.4%
小菅村	51,580	0.2%	39,782	0.2%	129.7%
丹波山村	199,021	0.7%	176,493	0.7%	112.8%
年計	27,351,000	100.0%	23,554,000	100.0%	116.1%

※ 一部の市町村については、その意向により数値非開示としている。



なお、平成 24 年の市町村別観光入込客数を、さらに詳細に月別でまとめると、**図表 10** のとおりである。

図表10 平成24年観光入込客数 市町村別・月別一覧表(美人数)

(単位:人、%)

	H24年												H23年		前年比
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	合計	
甲府市	172,835	156,604	214,364	249,045	323,192	205,759	271,178	287,854	216,439	356,198	432,935	106,793	2,993,194	2,457,308	121.8%
富士吉田市	318,565	140,616	239,731	245,300	322,508	265,989	429,897	897,253	403,502	376,053	323,975	192,729	4,156,117	3,329,652	124.8%
都留市	14,554	12,425	20,493	28,663	30,062	27,867	28,705	30,917	42,939	30,052	28,882	21,652	317,211	287,606	110.3%
山梨市	64,863	60,471	81,167	99,757	121,671	159,836	89,084	131,184	149,131	124,342	101,297	40,294	1,223,068	1,216,724	100.5%
大月市	12,315	7,921	8,686	10,951	11,627	23,626	16,398	34,647	16,770	21,533	35,259	10,618	210,351	197,094	106.7%
韭崎市	17,465	13,961	16,586	19,358	18,741	16,756	18,486	39,233	16,861	29,625	17,946	16,174	241,192	208,900	115.5%
南アルプス市	29,458	39,421	28,961	41,172	31,892	48,840	44,438	40,409	32,738	32,396	30,770	31,658	432,152	394,037	109.7%
北杜市	173,474	145,845	172,133	298,367	364,016	282,043	380,913	743,577	331,462	357,418	265,651	164,571	3,679,470	3,293,995	111.7%
甲斐市	34,907	35,489	39,588	43,934	44,868	54,173	41,788	46,662	42,133	85,914	48,290	35,247	552,993	529,541	104.4%
笹吹市	159,464	102,871	122,714	356,089	131,150	145,297	202,807	334,015	172,266	181,100	160,601	109,092	2,177,467	1,749,084	124.5%
上野原市	13,557	11,426	19,489	20,173	21,816	19,599	22,994	24,102	31,797	24,201	29,886	21,929	260,971	237,713	109.8%
甲州市	67,224	61,024	82,218	153,265	128,421	149,902	158,122	248,603	307,507	263,940	133,456	69,112	1,822,794	1,648,016	110.6%
中央市	18,633	18,683	23,058	53,322	36,018	47,576	34,961	46,539	33,610	33,358	53,271	26,051	425,081	392,315	108.4%
市川三郷町	20,608	16,801	17,551	18,776	17,820	16,517	18,176	146,577	17,809	18,057	18,852	16,709	344,251	289,554	118.9%
早川町	361	277	435	566	4073	592	1,268	2,028	1,224	898	1,153	266	13,141	8,133	161.6%
身延町	98,500	33,454	79,696	189,003	147,941	88,169	74,583	80,713	58,782	99,500	97,575	68,168	1,116,084	1,034,784	107.9%
南部町	16,025	12,942	16,133	28,922	19,681	16,450	17,596	44,915	19,316	20,508	20,731	17,254	250,472	216,137	115.9%
富士川町	20,181	15,925	18,650	61,604	21,964	25,337	34,757	24,953	20,816	21,167	38,945	17,704	322,004	266,282	120.9%
昭和町															
道志村	15,783	11,043	19,296	48,951	58,701	37,581	63,380	85,675	53,716	53,621	54,977	22,391	525,114	457,916	114.7%
西桂町															
忍野村	2,809	2,126	4,472	5,071	9,466	6,182	12,201	29,342	8,886	1,049	5,259	2,206	89,069	86,065	103.5%
山中湖村	43,821	52,780	27,698	34,258	62,844	37,659	54,090	145,233	65,336	52,265	82,120	52,475	710,578	636,227	111.7%
鳴沢村	108,106	75,622	93,977	145,391	188,904	125,476	267,697	417,835	195,712	162,874	129,947	71,512	1,983,052	1,646,432	120.4%
富士河口湖町	156,826	165,646	118,761	227,337	361,169	274,523	431,593	567,708	235,106	225,184	327,301	87,961	3,179,116	2,684,334	118.4%
小菅村	2,600	2,014	2,713	3,637	12,439	3,174	3,861	5,704	3,924	3,835	4,922	2,757	51,580	39,782	129.7%
丹波山村	12,796	7,571	9,843	14,715	19,198	13,801	18,226	31,014	18,587	18,600	23,258	11,412	199,021	176,493	112.8%
合計	1,599,975	1,206,782	1,483,243	2,402,975	2,516,816	2,098,208	2,743,076	4,493,550	2,502,374	2,609,626	2,472,802	1,221,572	27,351,000	23,554,000	116.1%
月別構成比	5.8%	4.4%	5.4%	8.8%	9.2%	7.7%	10.0%	16.4%	9.1%	9.5%	9.0%	4.5%	100.0%	100.0%	100.0%

(4) 平成 24 年宿泊観光客数

平成 24 年の宿泊観光客数（実人数）は、622 万人と推計された。これは、前年（542 万人）と比較すると、14.7%の伸びとなる。

圏域別に見ると、富士・東部圏域が 295 万人（前年比 105.8%）と全体の半数弱を占め最多となった。次いで、峡東圏域（122 万人、前年比 119.7%）、峡中圏域（101 万人、前年比 132.8%）、峡北圏域（79 万人、前年比 111.5%）、峡南圏域（25 万人、前年比 169%）となっている。

さらに、小圏域別に見ると、主なエリアでは、河口湖周辺の宿泊施設群などを擁する「富士吉田・河口湖・三つ峠周辺」で 184 万人と群を抜いて多く、メジャーな温泉観光地のある「石和温泉・果実郷周辺」で 109 万人、市街地の宿泊施設群を有する「芸術の森・武田神社周辺」で 71 万人、八ヶ岳地域を含む「八ヶ岳高原周辺」で 70 万人、山中湖周辺の宿泊施設群を持つ「山中湖・忍野周辺」で 63 万人などとなっている。

峡中・峡東の市街地型観光地においては年間を通して比較的客数の変動が小さい一方、富士北麓や峡北の自然資源豊かなエリアについては、特に夏季において客数が著しく増加するなど、季節的な変動が大きくなっている。

なお、外国人の宿泊客について見ると、全体では前年（160 千人）から 193.8%増の 470 千人となり、東日本大震災とこれに伴う原子力発電所事故の影響で激減した前年からは大きく回復した。主な小圏域をみると、「富士吉田・河口湖・三つ峠周辺(174 千人)」、「山中湖・忍野周辺(125 千人)」、「本栖湖・精進湖・西湖周辺(76 千人)」の富士北麓 3 エリアで全体の 8 割を占めており、宿泊を伴う富士山周辺地域での観光志向が極めて強いことがうかがえる。平成 24 年の訪日外国人観光客をめぐる動きとしては、尖閣諸島問題の顕在化に伴い、中国からの観光客入込に悪影響が及んだ点が挙げられる。観光庁の宿泊旅行統計調査結果によると、7-9 月期の宿泊客数は国籍別に 1 位中国、2 位台湾、3 位韓国という結果であったが、10-12 月期には中国人宿泊客数が前年比 -52.4%と落ち込み、かわって台湾が 1 位となったほか、タイ（前年比 54.1%増）、マレーシア（同 51.0%）が大きく増加する等の変動があった。本県でも、7-9 月期に 45%（第 1 位）を占めていた中国人のシェアが、10-12 月期には 8%に落ち込み、タイ 25%、台湾 20%に次いで 3 位に後退した。本県における訪日外国人の宿泊は 1 月-9 月の富士北麓エリアに集中する傾向があることから、本年については中国人観光客の減少のインパクトは限定的であったとみることもできそうであるが、来年以降の動向に注視が必要と考えられる。

なお、平成 24 年の推計宿泊者数を小圏域別・月別にまとめると、**図表 11** のとおりである。

図表11 平成24年 四半期別・圏域別推計宿泊客数一覧表(実人数ベース)

(単位:人、%)

区分	1-3月期			4-6月期			7-9月期			10-12月期			H23 宿泊客数 計	前年比
	宿泊客数		圏域計 (うち外国人)	宿泊客数		圏域計 (うち外国人)	宿泊客数		圏域計 (うち外国人)	宿泊客数		圏域計 (うち外国人)		
	うち 外国人	宿泊客数	うち 外国人	宿泊客数	うち 外国人	宿泊客数	うち 外国人	宿泊客数	うち 外国人	小圏域計	圏域計 (うち外国人)			
峡中	昇仙峡・湯村温泉周辺	875	39,261	301	32,352	720	41,225	201	38,818	151,657				
	芸術の森・武田神社周辺	4,101	149,849	3,302	156,837	4,283	197,104	1,821	202,823	706,614				
	広河原・芦安温泉周辺	-	331	-	1,368	71	7,982	19	1,842	11,523	1,013,959	763,648	132.8%	
	櫛形山・果実畑周辺	-	3,260	24	5,651	-	7,527	-	6,545	22,982	(23,326)			
	釜無川沿岸	98	21,431	2,979	18,945	4,493	24,095	-	21,040	85,510				
峡東	鳳土記の丘周辺	-	7,700	26	6,863	-	12,226	12	8,884	35,673				
	大菩薩・恵林寺周辺	-	6,994	-	11,027	4	12,200	-	8,741	38,963				
	勝沼ぶどう郷周辺	-	2,872	6	3,686	3	5,475	3	4,401	16,444	1,216,200	1,016,389	119.7%	
	西沢渓谷・フルーツ公園周辺	53	14,916	13	13,540	83	24,434	83	18,030	70,920	(34,605)			
	石和温泉・果実畑周辺	13,745	247,689	2,802	205,801	17,431	341,813	457	294,571	1,089,873				
峡南	身延山・下部温泉周辺	45	24,267	885	65,855	1,018	63,565	17	37,953	191,640				
	早川周辺	-	2,029	3	5,027	74,344	8,313	-	4,536	19,904	252,549	149,403	169.0%	
	峡南北部	-	1,123	531	1,308	(1,419)	1,311	553	993	4,736	(3,931)			
	峡南南部	-	3,162	-	2,155	-	29,018	867	1,934	36,268				
	八ヶ岳高原周辺	8,170	90,306	12,464	160,673	6,886	285,651	5,404	164,470	701,101				
峡北	金峰・みずがき周辺	-	3,767	-	5,061	181,949	9,575	-	6,360	24,763	787,153	705,791	111.5%	
	甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺	15	10,394	26	15,366	(12,490)	24,716	95	9,460	59,935	(33,181)			
	茅ヶ岳周辺	-	-	-	849	-	-	-	505	1,355				
	富士山五合目	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
	富士吉田・河口湖・三ヶ峠周辺	58,007	351,253	39,026	384,082	54,644	721,190	22,406	379,169	1,835,694				
富士・東部	本栖湖・精進湖・西湖周辺	21,790	61,066	17,697	92,785	687,627	138,148	23,498	55,324	347,323	2,947,139	2,785,769	105.8%	
	山中湖・忍野周辺	39,060	83,979	31,840	182,166	(88,639)	306,120	53,222	62,597	634,863	(374,959)			
	大月・北都留	41	11,826	10	11,437	-	16,949	11	10,743	50,954				
	桂川・道志川周辺	-	8,526	66	17,157	43,364	18	9,260	25	78,307				
	合計	146,000	1,146,000	112,000	1,400,000	168,000	2,322,000	2,322,000	1,349,000	44,000	6,217,000	5,421,000	114.7%	

※ 観光庁「宿泊旅行統計調査」の集計値を基に、回答宿泊施設における従業員数規模ごとの平均値を算出し、小圏域ごとに調査対象施設数に乗じる等により推計した数値

(5) 平成 24 年観光消費額

本県の観光消費額を、国からの提供データ、アンケート調査に基づく 1 人あたり観光消費額単価等から観光庁提供の推計支援ツール（年間版）を用いて算出した。この結果、総消費額は 3,312 億円（前年(2,479 億円)比 133.6%）となった（図表 12）。また、1 人当たりの平均観光消費額を求めると、12,109 円となった。

図表 1 2 宿泊・日帰り別観光消費額総括表

(A) 観光入込客数(実人数) (千人回)

区分	日帰り客 21,134		宿泊客 6,217		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
県内	6,365	16	407	213	7,001
県外	13,843	606	3,986	1,142	19,577
訪日外国人	288	16	444	25	773
合計	20,496	638	4,837	1,380	27,351

※宿泊客数は観光庁「宿泊旅行統計調査」の数値を活用

(B) 観光消費額単価 (円/人回)

	日帰り客		宿泊客	
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス
県内	5,143	5,038	7,482	-
県外	8,511	9,096	26,009	25,049
訪日外国人	3,654	6,239	82,656	75,067

(C) 観光消費額 = (A) 観光入込客(実人数) × (B) 観光消費額単価 (百万円)

	日帰り客		宿泊客		合計
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス	
県内	32,735	79	3,042	-	35,856
県外	117,820	5,512	103,667	28,608	255,607
訪日外国人	1,054	102	36,741	1,842	39,739
H24 合計	151,609	5,693	143,450	30,450	331,202

※ビジネス・県内分の「-」は十分なサンプル数が得られないことによる。

観光地点パラメータ調査による平均値(参考値)

サンプル数 (人)	平均同行者数 (人)	1人当たり平均 訪問地点数 (地点)	1人当たり平均 消費額 (円)	1人当たり平均訪 問都道府県数 (箇所)
15,157	4.6	1.5	12,109	1.2

【参考1】観光入込客数(実人数)の推移

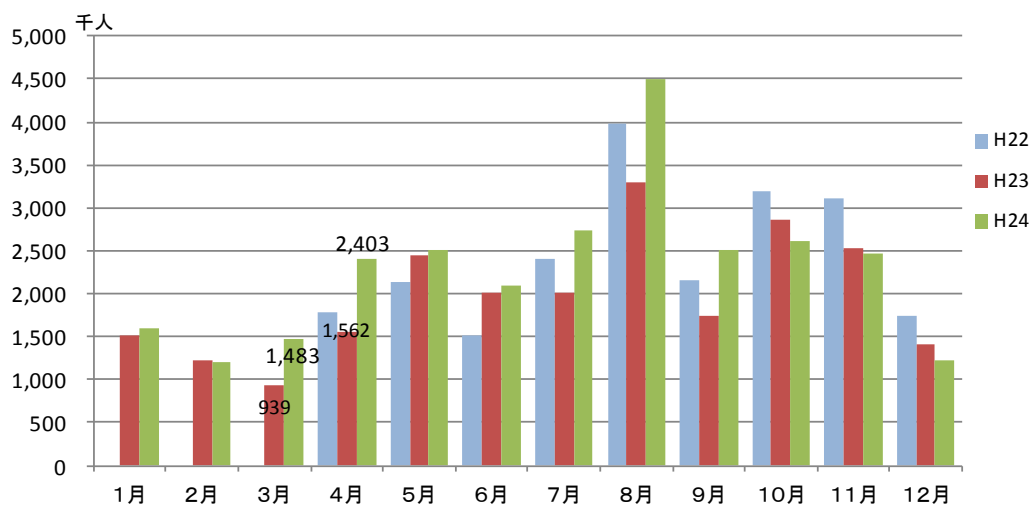
東日本大震災（平成23年3月）前後の状況をみるため、観光入込客数（実人数）の前年・前々年比較を行った（図表13）。

図表13 観光入込客数の3か年比較

(単位:人、%)

項目	平成22年	平成23年	平成24年	対前年比	対前々年比
1月	-	1,514,898	1,599,975	105.6%	-
2月	-	1,224,127	1,206,782	98.6%	-
3月	-	938,975	1,483,243	158.0%	-
4月	1,776,220	1,562,195	2,402,975	153.8%	135.3%
5月	2,131,758	2,447,313	2,516,816	102.8%	118.1%
6月	1,517,021	2,010,492	2,098,208	104.4%	138.3%
7月	2,413,223	2,017,148	2,743,076	136.0%	113.7%
8月	3,972,347	3,288,728	4,493,550	136.6%	113.1%
9月	2,155,430	1,751,124	2,502,374	142.9%	116.1%
10月	3,187,199	2,856,799	2,609,626	91.3%	81.9%
11月	3,113,676	2,534,313	2,472,802	97.6%	79.4%
12月	1,747,126	1,407,888	1,221,572	86.8%	69.9%
年計	-	23,554,000	27,351,000	116.1%	-
9か月計	22,014,000	19,876,000	23,061,000	116.0%	104.8%

※平成22年1-3月は、「観光入込客統計に関する共通基準(観光庁)」導入前のため数値なし。



➤ 3か年の比較が可能な9か月（4～12月）数値で見ると、24年は22年比104.8%で、概ね震災前の水準を回復したとみられる。

- ◇ 24年4月は、前年のイベント中止・行楽自粛の反動で大幅増、前々年比でも35%アップ。
- ◇ 24年5月～6月は、前年（ETC上限千円割引廃止前の駆け込み増）の水準を維持。
- ◇ 24年7月～9月は、富士北麓地域を中心に前年から3～4割の増、前々年からも10%台の増加（震災後の噴火懸念の緩和、世界文化遺産登録の動きに伴う富士山人気の高まり等）
- ◇ 24年10月～11月は、夏季の入込客数増加の反動、連休や週末の悪天候とこれに伴う秋季独特の観光行動（ぶどう狩り等）の低迷、ガソリン価格の上昇のほか、全般的に、電力値上げや消費増税の心理的重荷等により個人消費が弱い動きとなった影響もあり、減少傾向。
- ◇ 24年12月は、笹子トンネル天井板落下事故の発生があり、前々年の水準に戻らず。

【参考2】観光入込客数(延べ人数)

実人数の推計の基礎となった観光地点等入込客数（市町村調査による延べ人数）について、参考までに集計及び前年比較を行った。

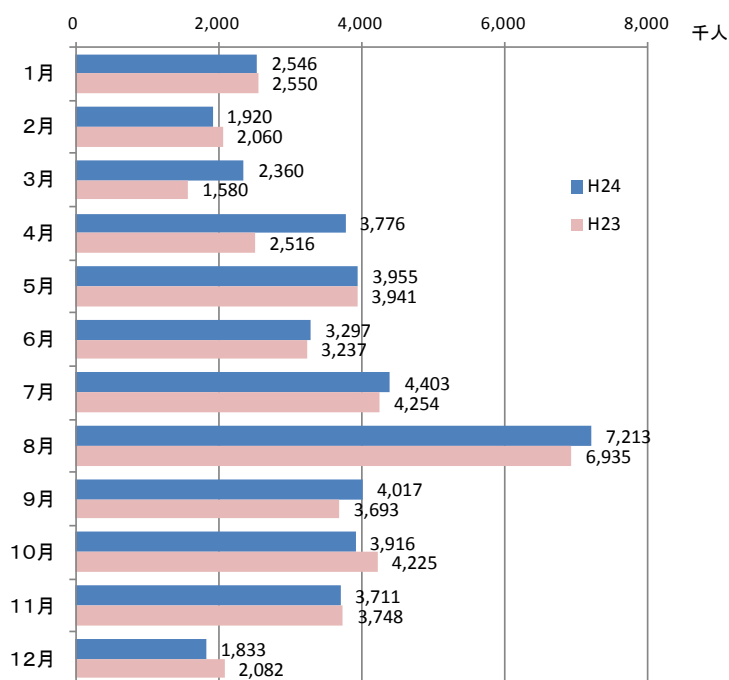
(1) 月別の推移

平成24年の延べ観光入込客数は4,295万人であり、前年に比べて5.2%の増加となった(図表14)。

図表14 月別観光入込客(延べ人数)

(単位：人、%)

項目	平成24年		平成23年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
1月	2,545,749	5.9%	2,549,612	6.2%	99.8%
2月	1,920,132	4.5%	2,060,237	5.0%	93.2%
3月	2,360,015	5.5%	1,580,320	3.9%	149.3%
4月	3,775,644	8.8%	2,515,550	6.2%	150.1%
5月	3,954,515	9.2%	3,940,826	9.7%	100.3%
6月	3,296,783	7.7%	3,237,427	7.9%	101.8%
7月	4,403,106	10.3%	4,253,766	10.4%	103.5%
8月	7,212,917	16.8%	6,935,278	17.0%	104.0%
9月	4,016,738	9.4%	3,692,774	9.0%	108.8%
10月	3,916,282	9.1%	4,225,215	10.4%	92.7%
11月	3,710,950	8.6%	3,748,258	9.2%	99.0%
12月	1,833,221	4.3%	2,082,272	5.1%	88.0%
年計	42,946,052	100.0%	40,821,535	100.0%	105.2%



(2) 圏域別の推移

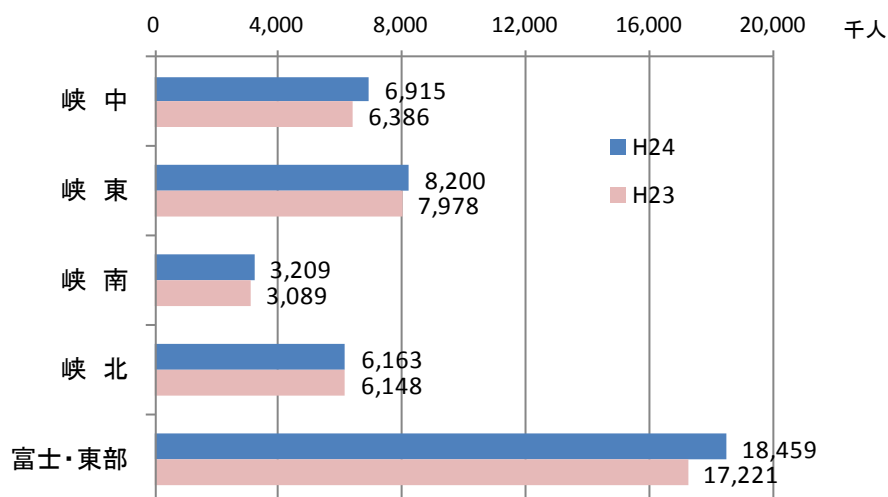
圏域別に見ると、富士・東部が1,846万人（前年比107.2%）で最多となり、次いで、峡東（820万人、前年比102.8%）、峡中（691万人、同108.3%）、峡北（616万人、同100.2%）、峡南（321万人、同103.9%）であった。各圏域とも、前年から増加となった（図表15）。

小圏域の主たる地域を見ていくと、峡中の「芸術の森・武田神社周辺（371万人、前年比112.6%）」、峡東の「石和温泉・果実郷周辺（342万人、同112.4%）」、峡南の「身延山・下部温泉周辺（175万人、前年比101.2%）」、峡北の「八ヶ岳高原周辺（376万人、同101.9%）」富士・東部圏域の「富士吉田・河口湖・三ヶ峠周辺（810万人、同107.8%）」など、各地の主力観光地で概ね堅調に推移した（図表16）。

図表15 圏域別観光入込客（延べ人数）

（単位：人、%）

項目	平成24年		平成23年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
峡中	6,914,508	16.1%	6,385,720	15.6%	108.3%
峡東	8,200,413	19.1%	7,977,892	19.5%	102.8%
峡南	3,208,841	7.5%	3,088,505	7.6%	103.9%
峡北	6,162,902	14.4%	6,148,280	15.1%	100.2%
富士・東部	18,459,388	43.0%	17,221,138	42.2%	107.2%
年計	42,946,052	100.0%	40,821,535	100.0%	105.2%



図表16 平成24年観光入込客数 小圏域別・月別一覽表(延べ人数)

(単位:人、%)

	H24年												H23年		前年比
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	合計	
	1月	101,433	45,717	57,346	46,760	52,637	44,913	41,701	70,162	55,751	72,241	109,378	31,949	729,988	
2月	173,235	203,092	282,456	336,112	432,911	259,976	373,625	362,344	259,651	396,467	500,301	130,881	3,711,051	3,295,581	112.6%
3月	-	-	-	125	463	382	2,331	2,829	1,950	1,058	376	-	9,514	7,840	121.4%
4月	14,297	13,306	15,153	33,529	19,118	47,118	35,840	25,841	20,553	18,653	17,035	17,133	277,576	232,691	119.3%
5月	90,994	108,728	97,010	131,686	106,689	120,831	104,167	115,080	100,014	173,356	130,064	85,565	1,364,184	1,404,662	97.1%
6月	28,487	28,749	36,341	62,116	74,657	88,286	73,194	100,701	84,834	116,843	92,398	35,589	822,195	718,782	114.4%
7月	408,446	399,592	488,306	610,328	686,475	561,506	630,858	676,957	522,753	778,618	849,552	301,117	6,914,508	6,385,720	108.3%
8月	47,011	36,498	51,018	101,439	75,635	54,574	42,713	46,875	56,960	56,217	54,232	27,921	651,093	641,390	101.5%
9月	59,951	60,599	79,800	139,376	126,145	180,958	211,100	352,176	436,641	339,879	146,046	75,796	2,208,467	2,232,518	98.9%
10月	103,205	96,217	129,147	156,742	191,174	251,140	142,947	210,573	239,381	186,601	152,017	60,469	1,919,613	2,060,849	93.1%
11月	253,726	163,680	195,253	559,501	206,088	228,296	325,540	536,152	276,516	271,778	241,015	163,715	3,421,240	3,043,135	112.4%
12月	463,893	356,994	455,218	957,058	599,022	714,968	722,300	1,145,776	1,009,498	854,475	593,310	327,901	8,200,413	7,977,892	102.8%
小計	156,725	53,230	126,806	296,968	232,451	138,535	119,719	129,558	94,355	149,320	146,431	102,300	1,746,398	1,726,304	101.2%
身延山・下部温泉周辺	574	441	692	889	6,400	930	2,035	3,255	1,964	1,348	1,731	399	20,658	14,167	145.8%
早川周辺	64,899	52,072	57,599	126,297	62,509	65,763	84,967	275,335	61,999	58,864	86,736	51,644	1,048,684	976,458	107.4%
峡南北部	25,497	20,593	25,670	45,444	30,923	25,847	28,245	72,097	31,005	30,776	31,111	25,893	393,101	371,576	105.8%
峡南部	247,695	126,336	210,767	469,598	332,283	231,075	234,966	480,245	189,323	240,308	266,009	180,236	3,208,841	3,088,505	103.9%
小計	207,159	157,310	185,452	266,672	388,243	283,127	387,990	721,490	366,559	385,241	249,911	160,846	3,760,000	3,688,889	101.9%
八ヶ岳高原周辺	9,991	6,814	12,129	22,451	29,115	23,972	28,499	42,529	28,774	33,662	32,474	10,732	281,142	290,918	96.6%
金峰・みずがき周辺	76,802	82,977	91,857	189,006	149,866	117,924	160,204	290,957	145,281	147,141	119,852	75,170	1,647,037	1,627,179	101.2%
甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺	9,854	7,169	10,836	21,092	34,177	44,462	64,411	201,568	18,505	14,793	23,359	24,497	474,723	541,294	87.7%
茅ヶ岳周辺	303,806	254,270	300,274	499,221	601,401	469,485	641,104	1,256,544	559,119	580,837	425,596	271,245	6,162,902	6,148,280	100.2%
富士山五合目	85,600	40,190	106,956	295,398	302,906	276,934	713,308	929,706	408,730	284,972	158,726	53,960	3,657,386	2,910,494	125.7%
富士吉田・河口湖・三ヶ峠周辺	652,014	401,445	470,874	462,308	613,249	586,444	825,207	1,570,771	687,081	653,264	813,083	368,772	8,104,512	7,521,147	107.8%
本栖湖・精進湖・西湖周辺	190,798	165,987	142,102	213,362	454,876	183,047	274,024	521,733	243,416	208,470	200,578	105,819	2,904,212	3,055,664	95.0%
山中湖・忍野周辺	74,195	87,362	51,185	61,795	113,616	68,885	106,408	280,223	119,138	80,008	131,130	82,061	1,256,006	1,254,934	100.1%
大月・北都留	54,722	38,046	52,455	67,686	91,615	85,084	84,425	133,906	100,177	90,544	127,650	58,887	984,997	964,012	102.2%
桂川・道志川周辺	64,580	49,910	81,878	138,890	159,072	119,355	170,506	217,056	177,503	144,786	145,316	83,423	1,552,275	1,514,887	102.5%
小計	1,121,909	782,940	905,450	1,239,439	1,735,334	1,319,749	2,173,878	3,653,395	1,736,045	1,462,044	1,576,483	752,722	18,459,388	17,221,138	107.2%
合計	2,545,749	1,920,132	2,360,015	3,775,644	3,954,515	3,296,783	4,403,106	7,212,917	4,016,738	3,916,282	3,710,950	1,833,221	42,946,052	40,821,535	105.2%
四半期合計	6,825,896			11,026,942			15,632,761				9,460,453				
月別構成比	5.9%	4.5%	5.5%	8.8%	9.2%	7.7%	10.3%	16.8%	9.4%	9.1%	8.6%	4.3%	100.0%		

③ 市町村別の推移

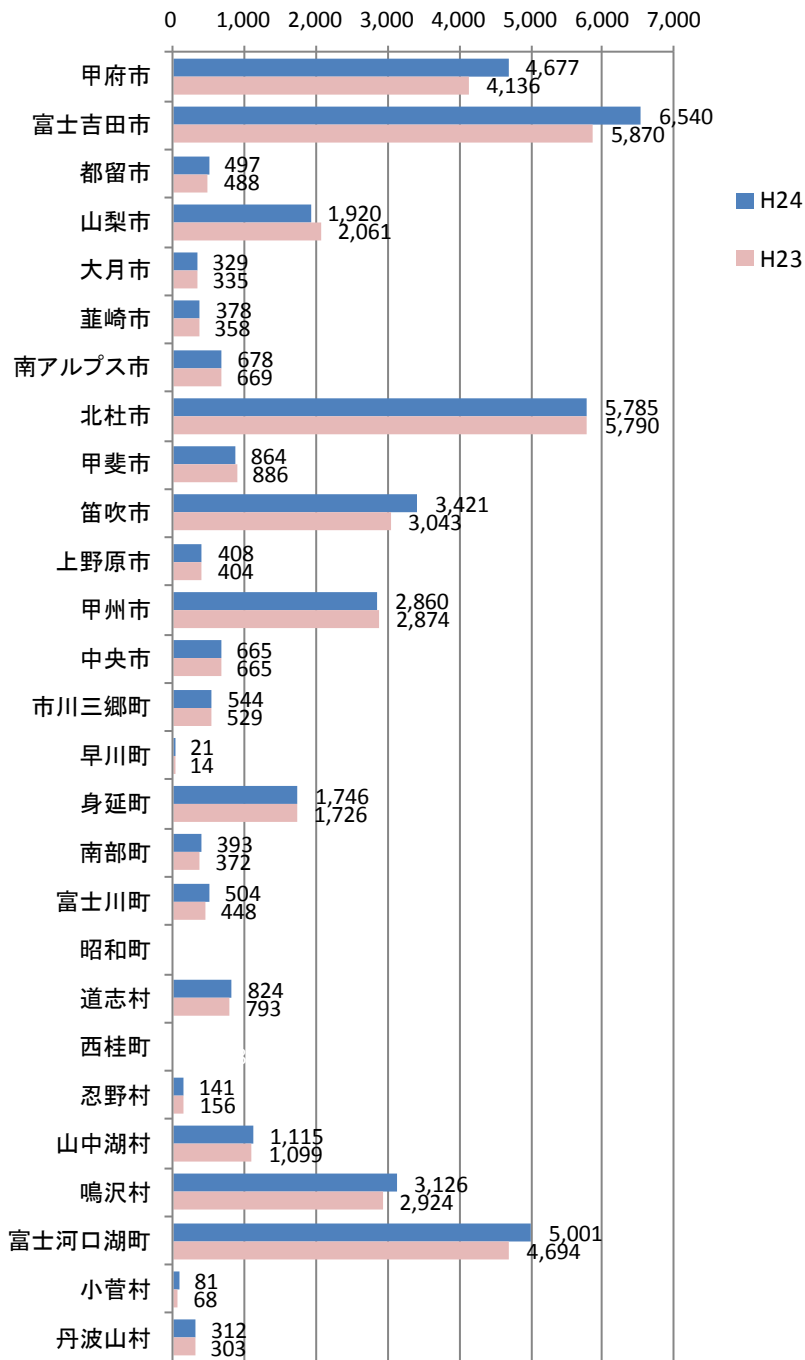
市町村別に見ると、富士吉田市で654万人（前年比111.4%）と最多であり、次いで北杜市（578万人、同99.9%）、富士河口湖町（500万人、同106.5%）甲府市（468万人、同113.1%）などとなっている（図表17、18）。

図表17 市町村別観光入込客（延べ人数）

（単位：人、%）

項目	平成24年		平成23年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
甲府市	4,676,953	10.9%	4,136,181	10.1%	113.1%
富士吉田市	6,539,902	15.2%	5,869,924	14.4%	111.4%
都留市	497,154	1.2%	488,124	1.2%	101.8%
山梨市	1,919,613	4.5%	2,060,849	5.0%	93.1%
大月市	328,632	0.8%	335,334	0.8%	98.0%
韮崎市	377,958	0.9%	358,210	0.9%	105.5%
南アルプス市	678,261	1.6%	668,990	1.6%	101.4%
北杜市	5,784,944	13.5%	5,790,070	14.2%	99.9%
甲斐市	863,548	2.0%	886,087	2.2%	97.5%
笛吹市	3,421,240	8.0%	3,043,135	7.5%	112.4%
上野原市	408,246	1.0%	403,885	1.0%	101.1%
甲州市	2,859,560	6.7%	2,873,908	7.0%	99.5%
中央市	665,062	1.5%	664,588	1.6%	100.1%
市川三郷町	544,407	1.3%	528,783	1.3%	103.0%
早川町	20,658	0.0%	14,167	0.0%	145.8%
身延町	1,746,398	4.1%	1,726,304	4.2%	101.2%
南部町	393,101	0.9%	371,576	0.9%	105.8%
富士川町	504,277	1.2%	447,675	1.1%	112.6%
昭和町					
道志村	823,638	1.9%	793,200	1.9%	103.8%
西桂町					
忍野村	141,245	0.3%	155,919	0.4%	90.6%
山中湖村	1,114,761	2.6%	1,099,015	2.7%	101.4%
鳴沢村	3,125,574	7.3%	2,923,614	7.2%	106.9%
富士河口湖町	5,000,634	11.6%	4,693,768	11.5%	106.5%
小菅村	80,835	0.2%	68,263	0.2%	118.4%
丹波山村	311,854	0.7%	302,697	0.7%	103.0%
年計	42,946,052	100.0%	40,821,535	100.0%	105.2%

※ 一部市町村については、その意向により数値非開示としている。



図表18 平成24年観光入込客数 市町村別・月別一覽表(延べ人数) (単位:人、%)

	H24年												H23年		前年比
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	合計	
甲府市	275,001	249,175	341,078	391,308	507,811	323,296	435,287	462,055	347,421	534,548	649,708	160,265	4,676,953	4,136,181	113.1%
富士吉田市	506,874	223,736	381,440	385,425	506,736	417,932	690,059	1,440,245	647,689	564,345	486,192	289,229	6,539,902	5,869,924	111.4%
都留市	23,157	19,769	32,607	45,037	47,234	43,786	46,076	49,627	68,924	45,099	43,344	32,494	497,154	488,124	101.8%
山梨市	103,205	96,217	129,147	156,742	191,174	251,140	142,947	210,573	239,381	186,601	152,017	60,469	1,919,613	2,060,849	93.1%
大月市	19,594	12,604	13,820	17,207	18,268	37,122	29,321	55,614	26,918	32,315	52,914	15,935	328,632	335,334	98.0%
韭崎市	27,789	22,213	26,390	30,416	29,446	26,328	29,673	62,975	27,065	44,458	26,932	24,273	377,958	358,210	105.5%
南アルプス市	46,871	62,724	46,080	64,691	50,110	76,740	71,330	64,863	52,550	48,617	46,176	47,509	678,261	668,990	101.4%
北杜市	276,017	232,057	273,884	488,805	571,955	443,157	611,431	1,193,569	532,054	536,379	398,664	246,972	5,784,944	5,790,070	99.9%
甲斐市	55,541	56,467	62,989	69,030	70,498	85,119	67,077	74,901	67,630	128,931	72,469	52,896	863,548	886,087	97.5%
笛吹市	253,726	163,680	195,253	559,501	206,068	228,296	325,540	536,152	276,516	271,778	241,015	163,715	3,421,240	3,043,135	112.4%
上野原市	21,571	18,180	31,010	31,696	34,278	30,795	36,910	38,688	51,040	36,319	44,850	32,909	408,246	403,885	101.1%
甲州市	106,962	97,097	130,818	240,815	201,780	235,532	253,813	399,051	493,601	396,096	200,278	103,717	2,859,560	2,873,908	99.5%
中央市	29,648	29,727	36,688	83,782	56,593	74,753	56,118	74,703	53,950	50,061	79,944	39,095	665,062	664,588	100.1%
市川三郷町	32,789	26,733	27,925	29,502	27,999	25,952	29,176	235,281	28,586	27,098	28,291	25,075	544,407	528,783	103.0%
早川町	574	441	692	889	6,400	930	2,035	3,255	1,964	1,348	1,731	399	20,658	14,167	145.8%
身延町	156,725	53,230	126,806	296,968	232,451	138,535	119,719	129,558	94,355	149,320	146,431	102,300	1,746,398	1,726,304	101.2%
南部町	25,497	20,593	25,670	45,444	30,923	25,847	28,245	72,097	31,005	30,776	31,111	25,893	393,101	371,576	105.8%
富士川町	32,110	25,339	29,674	96,795	34,510	39,811	55,791	40,054	33,413	31,766	58,445	26,569	504,277	447,675	112.6%
昭和町															
道志村	25,113	17,571	30,702	76,913	92,233	59,049	101,735	137,523	86,223	80,470	82,504	33,602	823,638	793,200	103.8%
西桂町															
忍野村	4,470	3,382	7,115	7,967	14,873	9,714	19,585	47,099	14,263	1,574	7,892	3,311	141,245	155,919	90.6%
山中湖村	69,725	83,980	44,070	53,828	98,743	59,171	86,823	233,124	104,875	78,434	123,238	78,750	1,114,761	1,099,015	101.4%
鳴沢村	172,010	120,323	149,529	228,443	296,813	197,152	429,699	670,696	314,152	244,426	195,012	107,319	3,125,574	2,923,614	106.9%
富士河口湖町	249,528	263,563	188,963	357,200	567,482	431,341	692,781	911,269	377,386	337,935	491,183	132,003	5,000,634	4,693,768	106.5%
小菅村	4,137	3,205	4,316	5,714	19,545	4,987	6,197	9,156	6,299	5,755	7,387	4,137	80,835	68,263	118.4%
丹波山村	20,360	12,047	15,662	23,120	30,164	21,685	29,256	49,782	29,836	27,913	34,903	17,126	311,854	302,697	103.0%
合計	2,545,749	1,920,132	2,360,015	3,775,644	3,954,515	3,296,783	4,403,106	7,212,917	4,016,738	3,916,282	3,710,950	1,833,221	42,946,052	40,821,535	105.2%
月別構成比	5.9%	4.5%	5.5%	8.8%	9.2%	7.7%	10.3%	16.8%	9.4%	9.1%	8.6%	4.3%	100.0%	100.0%	100.0%

(6) 月別の観光動向

月別の観光動向について概要をまとめた。通年の傾向として、観光の「安・近・短」志向が依然強く、家族向けのスポーツ・レクリエーション施設や日帰り温泉、道の駅などが好調に客数を伸ばした。季節ごとにみると、春季における入込の大幅な回復、夏季の観光ハイシーズンにおける観光客入込の集中特化が進み、対照的に秋季における入込が低調となった点などが特徴的である。

■ 1月

1月の対前年同月比は105.6%と増加した。天候は、全般に冬型の気圧配置が強く、晴れの日が多くなった。中旬から下旬にかけては富士・東部地域を中心に大雪となる日もあったが、その発生は平日であったため、観光客入込への影響は限定的であったと考えられる。特に、三が日は穏やかな晴天に恵まれた。

このため、初詣などで神社仏閣を訪れる参拝客が大きく増加したほか、ご来光などをめあてに富士北麓地域の眺望エリアを訪れる観光客数の伸びも目立った。

■ 2月

2月の対前年同月比は98.6%と微減であった。月内の天候は、低気圧や前線の影響を受け、曇りや雨、雪の日も多くみられた。また、最高気温、最低気温、平均気温とも平年を下回る厳しい寒さに見舞われることとなった。祝日（建国記念日）が土曜日となり、3連休がなかったことによる影響も出足を鈍らせたと思われる。

このため、公園などの屋外型施設や、道の駅など行楽客の立寄り施設において客数がやや落ち込んだ。一方、屋内型の温泉施設等では堅調に推移したところも多かった。

■ 3月

3月の対前年同月比は158.0%と大幅に増加した。天候は、上旬は低気圧や前線の影響により曇りや雨の日が目立ったが、中旬以降は移動性高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。

当月には、ガソリン価格の前月からの大幅な上昇（145円/L→156円/L）といった負の要因もあったものの、東日本大震災等の影響で入込が低迷した前年同月に比べ、観光消費マインドの回復等による観光客の戻りが顕著であった。また、17日には前年の台風の影響で一部区間が不通になっていたJR身延線が半年ぶりに全線開通となり、併せてプラス要因となった。ほぼ県内全域で観光施設の種類を問わず観光客の大幅増加がみられたが、特に、遊園地、公園などの家族向け行楽施設における客数増加が目立った。

■ 4月

4月の対前年同月比は153.8%と大きく増加した。東日本大震災の発災直後であった前年同月には観光旅行や行祭事・集客イベントの自粛ムードが広がり、県内でも当月の代表的イベント「信玄公祭り～甲州軍団出陣絵巻」の中止など、各地に影響が及んだ。こうした観光イベントの再開や、前年からの反動もあり、月内にガソリン価格が年内最高水準(162円/L)に達するといったマイナス要因はあったものの入込客数が大きく伸長した。また、静岡県東部地震による路面沈下や災害への懸念から、前年の富士山五合目への入込は極めて低調であったが、本年には大きく回復することとなった。

なお、月内の天候は、上旬は高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、後半にかけて曇りや雨の日がやや多くなった。甲府地方気象台では、7日に桜(ソメイヨシノ)の満開を観測したが、これは平年に比べ4日遅いタイミングとなった。

■ 5月

5月の観光入込客数は前年比102.8%で微増となった。天候は、上旬は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多く、中旬は高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、下旬には周期的に天気が変わる不安定な様相となった。今年のゴールデンウィークは、3連休の前半と4連休の後半に分かれた比較的長期休暇が取りやすい曜日配列であったが、期間の半ばを中心に天候に恵まれず、屋外型のスポーツ・レクリエーション施設や行祭事・イベントにおいて客足が伸び悩んだ。一方、気候条件の影響を受けにくい歴史・文化、都市型観光施設においては増加傾向がみられた。

■ 6月

6月は、前年比104.4%と増加した。甲府地方気象台の観測によると、県内の梅雨入りは9日で、平年並みとなった。また、直前3か月にわたり急騰していたガソリン価格は、当月に入って145円/Lと落ち着きを取り戻した。

こうした中、一部の歴史・文化施設や都市型施設で客足が好調であったが、温泉施設では客数が伸び悩むところが目立った。なお、月内にはウェルネス・ツーリズムの推進協議会が設立されるなど観光客誘致に向けた新たな動きもみられた。

■ 7月

7月の対前年同月比は136.0%と好調であった。前半までは気流の影響で平年より気温の低い日もあったが、中旬から下旬にかけては、太平洋高気圧が強くなり張り出したため猛暑日となった日が多く、26日から30日の5日間連続で朝の最低気温が25度を下回らない熱帯夜となるなど、厳しい暑さが続いた。

個別にみると、当月の増加分の多くは富士山周辺エリアで生じた感があり、スバルライン利用者など富士山五合目への入山者が極めて大きな伸びを示したほか、周辺施設へ

の入込も増加した。逆に、日差しの強さや高温を嫌ってか屋外での活動を伴う公園等の観光施設については伸び悩むところが多かった。

■ 8月

8月の対前年同月比は136.6%と増加した。前月から引き続いて厳しい暑さが続き、晴れの日が多く少雨となり、河口湖では8月の月降水量の少ない極値を更新した。

個別にみると、前月に引き続き富士山五合目への入山者や富士北麓エリアへの入込客数が大きく伸びた点が特筆される。また、峡北や富士北麓の手軽に遊ぶ家族向けの観光施設では、涼を求める家族連れ観光客でにぎわいをみせた。

■ 9月

9月の対前年同月比は142.9%と増加した。月内の天候は、太平洋高気圧の勢力が強く、晴れた日が多くなり、真夏日が19日まで連続58日続くなど厳しい残暑に見舞われた。ただし、2つの大型台風（12号、15号）の直撃を受け交通機関にも多大な悪影響が生じた前年と比べると、天候条件は格段に向上し、週末も晴天に恵まれることとなった。

こうした中、富士登山者は5年連続して20万人を突破し、富士吉田市の発表によると今期の夏山シーズンの山梨県側の登山者数は24万7千人にのぼった。9月においてもスバルライン利用者は引き続き大幅な伸びを示したほか、富士北麓では入込数を大きく伸ばす観光施設が数多くみられた。今期は、近場で手軽に楽しもうとする県内在住・日帰り客の増加が著しく、一部の歴史・文化施設やスポーツ・レクリエーション施設などではこうした行楽客でにぎわった。

■ 10月

10月の対前年同月比は91.3%と減少した。観光の書き入れ時である3連休の半ばに雨天となるなど週末の天候に恵まれず、さらに、ガソリン価格の上昇や、月初に猛威をふるった台風17号の影響で花き等に損害が発生したことなども観光へのマイナス要因となった。国際的には、尖閣諸島問題の顕在化による中国からの観光客減少の影響が表れ始めた時期であり、国慶節（1日）前後の大型連休の機会を充分いかすことができない外交環境となっていることも大きな足かせになったものと考えられる。

個別にみると、ぶどう狩りやワイナリー訪問といった果樹農業由来の観光行動が大きく低迷しており、結果として峡東圏域での入込減が大きくなったことが特筆される。

なお、中旬には富士北麓地域でインドネシア人観光客が参加するサイクリングツアーが開催された。成長著しいインドネシアなど訪日外国人観光客の供給チャンネルを多様化し、外交問題に伴うインバウンド低迷リスクの軽減につなげる取り組みとして期待される。

■ 11月

11月の対前年同月比は97.6%と微減であった。当月の天候は、月を通じて低気圧と高気圧が交互に通過したことから数日の周期で変わった。前月からの傾向を引き継ぎ、休日の天候に曇りや雨が多かったことやガソリン価格が高止まりしていること等の負の要因もあって、当月においても入込数は伸び悩むこととなった。

個別にみると、一部の歴史・文化施設で比較的堅調であったほか、公園その他の屋外型レジャー施設では軒並み低調であった。なお、当月の特筆すべきイベントとして、24、25の両日開催されたB級グルメイベント「関東・東海B・1グランプリ」が挙げられる。約14万人（主催者発表）のグルメファンが集まり、甲府市中心街は近年にないにぎわいをみせた。その他の動きとしては、6日に、地域のおもてなしリーダーとして期待される「やまなし女将の会」が発足した。

■ 12月

12月の対前年同月比は86.8%と減少した。天候は、高気圧と低気圧が交互に通過し周期的に変わりやすい状況であった。月の平均気温は平年を下回り、真冬並みの寒さが続く日が多くみられた。

2日に、中央自動車道上り線笹子トンネルで天井板落下事故が発生し、29日の対面通行開通までの期間は完全通行止めとなった。首都圏方面から国中地域への大動脈が閉塞されたことから、観光客のキャンセルが相次ぐなどの悪影響が生じた。「高速では山梨に行けない」との誤解から、国中地域のみならず、富士・東部地域もあおりを受けた形で、全県的に入込数の減少がみられた。また、県外客の減少のみならず、県内在住者の往来が差し控えられる動きにもつながったことから、県内客の大幅減少という形でも影響が表れたとみられる。

(7) 圏域別観光の動向

圏域の観光動向を見るために、観光入込客数（実人数）の推移と施設ごとの市町村報告値をみながら、前年比較を行った。

① 峡中圏域

峡中圏域では、対前年比 116.6%と増加した（図表 19）。

小圏域別に見ると、「昇仙峡・湯村温泉周辺」では、一部の歴史・文化施設で大幅に客数を伸ばしたところがある一方、都市型施設などで客数を減らしたところもあり、地域としては前年から小幅に増加となった。

「芸術の森・武田神社周辺」では、公共的な歴史・文化施設で堅調に客数を伸ばしたところが多かった。また、スポーツ・レクリエーション施設で大幅に客数が伸びたこともあり、全体として 20%強の増加となった。

「広河原・芦安温泉周辺」では、温泉施設の利用者が増加した。

「楡形山・果実郷周辺」では、物産販売施設でやや振るわなかったが、温泉・健康施設等で着実に伸び、全体として 3 割程度の増となった。

「釜無川沿岸」では、一部のワイナリーや歴史文化施設で好調であったが、農産物直売所が振るわず、レクリエーション施設でも入込が大きく減少したところがあった。

「風土記の丘周辺」では、道の駅や農産物直売所で伸び悩んだが、歴史・文化施設で大きく客数を伸ばしたところがあり、全体として増加となった。

図表 19 峡中圏域の観光客入込状況（前年比較）

（単位：人、%）

小圏域名	平成 24 年	平成 23 年	対前年比
昇仙峡・湯村温泉周辺	467,100	437,737	106.7%
芸術の森・武田神社周辺	2,373,968	1,956,081	121.4%
広河原・芦安温泉周辺	6,003	4,167	144.1%
楡形山・果実郷周辺	176,794	137,084	129.0%
釜無川沿岸	873,202	838,376	104.2%
風土記の丘周辺	526,377	418,662	125.7%
小計	4,423,447	3,792,105	116.6%

② 峡東圏域

峡東圏域では、対前年比 113.2%と増加した（図表 20）。

小圏域別に見ると、「大菩薩・恵林寺周辺」では、一部の歴史・文化施設で堅調に伸びたが、観光農園や物産販売施設で停滞するところもあった。

「勝沼ぶどう郷周辺」では、ぶどう狩りが振るわなかったが、一部のワイナリーや道の駅で大きく客数を伸ばし、全体として 1 割程度の増となった。

「西沢渓谷・フルーツ公園周辺」では、主力の公園施設や温泉などで振るわず、全体として横ばいにとどまった。

「石和温泉・果実郷周辺」では、ぶどう狩り・桃狩りが低調であったが、物販施設で好調に客数が伸びるとともに、地元客の利用が多い公園施設や温泉施設などでも着実に客数を確保し、全体として 24.5%の増となった。

図表 20 峡東圏域の観光客入込状況（前年比較）

（単位：人、％）

小圏域名	平成 24 年	平成 23 年	対前年比
大菩薩・恵林寺周辺	415,479	379,971	109.3%
勝沼ぶどう郷周辺	1,407,314	1,268,044	111.0%
西沢渓谷・フルーツ公園周辺	1,223,067	1,216,724	100.5%
石和温泉・果実郷周辺	2,117,466	1,749,084	124.5%
小計	5,223,329	4,613,823	113.2%

③ 峡南圏域

峡南圏域では、対前年比 112.7%と増加した（図表 21）。

小圏域別にみると、「身延山・下部温泉周辺」の観光入込客数は、主力の歴史・文化施設では横ばいとなったが、自然施設や物販施設などで健闘し、全体として増加となった。

「早川周辺」では、温泉客の入込が増加した。

「峡南北部」では、温泉施設や物販施設で順調に客数が増加し、2割程度の増加となった。

「峡南南部」では、主力の温泉施設がやや低調であったが、道の駅の入込が伸びを示し、全体として増加した。

図表 2 1 峡南圏域の観光客入込状況（前年比較）

（単位：人、%）

小圏域名	平成 24 年	平成 23 年	対前年比
身延山・下部温泉周辺	1,116,084	1,034,784	107.9%
早川周辺	13,141	8,133	161.6%
峡南北部	666,255	555,835	119.9%
峡南南部	250,473	216,137	115.9%
小計	2,045,955	1,814,887	112.7%

④ 峡北圏域

峡北圏域では、対前年比 111.9%と増加した（図表 22）。

小圏域別に見ると、「八ヶ岳高原周辺」では、主力の都市型観光施設や道の駅で伸び悩んだものの、歴史・文化施設や屋外型のレクリエーション施設などで客数を伸ばし、全体として1割強の増加となった。

「金峰・みずがき周辺」では、物産販売施設で客数が伸び、地域全体としてやや増加となった。

「甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺」では、歴史・文化施設やスポーツ・レクリエーション施設で順調に客足が伸びた。

「茅ヶ岳周辺」では、主力のスポーツ・レクリエーション施設で客数が伸び悩み、微増にとどまった。

図表 2 2 峡北圏域の観光客入込状況（前年比較）

（単位：人、%）

小圏域名	平成 24 年	平成 23 年	対前年比
八ヶ岳高原周辺	2,392,597	2,106,184	113.6%
金峰・みずがき周辺	179,657	169,223	106.2%
甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山周辺	1,048,451	936,135	112.0%
茅ヶ岳周辺	299,957	291,351	103.0%
小計	3,920,661	3,502,893	111.9%

⑤ 富士・東部圏域

富士・東部圏域では、対前年比 119.4%と増加した（図表 23）。

小圏域別に見ると、「富士山五合目」は、震災直後に深まった噴火等への懸念が薄らいだこと、世界文化遺産登録への動きを契機とした富士山人気の高まり、猛暑となった夏季に涼を求める観光客の増加等により、前年から 45%余りの大幅増加となった。富士登山者も過去最多水準となった。

「富士吉田・河口湖・三つ峠周辺」でも、特に富士山関連施設や眺望施設、立ち寄り型の行楽施設などで客数を伸ばし、地域全体としては 2 割程度の増加となった。

「本栖湖・精進湖・西湖周辺」では、一部の自然施設で好調であったが、スポーツ・レクリエーション施設ではゴルフ場などが好調であった反面、伸び悩んだところもあり、地域全体としては 5%程度の小幅な増加にとどまった。

「山中湖・忍野周辺」では、温泉施設で堅調に推移したほか、レクリエーション施設で客数が伸び、全体として 10%程度の増加となった。

「大月・北都留」では、買い物施設で客数が伸び悩んだものの、この地域で主力のゴルフ場が好調であり、全体として 1 割強の増加となった。

「桂川・道志川周辺」では、都留市内の歴史・文化施設でやや足踏み状態となったが、温泉施設やゴルフ場が好調となり、全体としては 12%程度の増となった。

図表 2 3 富士・東部圏域 の観光客入込状況（前年比較）

（単位：人、%）

小圏域名	平成 24 年	平成 23 年	対前年比
富士山五合目	2,313,140	1,590,423	145.4%
富士吉田・河口湖・三つ峠周辺	5,159,333	4,310,978	119.7%
本栖湖・精進湖・西湖周辺	1,845,813	1,759,018	104.9%
山中湖・忍野周辺	799,648	722,293	110.7%
大月・北都留	629,734	565,504	111.4%
桂川・道志川周辺	989,940	882,073	112.2%
小計	11,737,608	9,830,292	119.4%

第2部 観光地点等パラメータ調査による分析

1. 調査の概要

県内を訪れた観光客に対して、平成 24 年の冬・春・夏・秋のシーズンごとに県内各地の観光地点において、対面聞き取り式によるアンケート調査を実施した。

本報告は、その調査結果を集計するとともに、性別・年齢階層別等の分析をすることにより、旅行の目的や訪問先、消費額等の動態や旅行での満足度を明らかにする。

(1) 調査日

観光地点を、

- ① 歴史・文化
- ② 都市型観光
- ③ 温泉・健康
- ④ スポーツ・レクリエーション
- ⑤ 自然
- ⑥ その他

に分類し、季節ごとに峡中、峡東、峡南、峡北、富士・東部地域それぞれ 2 カ所ずつ調査地点を定め、県下 10 カ所で調査を実施した。

冬	:	平成 24 年 2 月 13 日	(日)
春	:	平成 24 年 5 月 21 日	(土)
夏	:	平成 24 年 8 月 6 日	(土)
秋	:	平成 24 年 11 月 3 日	(木・文化の日)
		※八ヶ岳リゾートアウトレットのみ 11 月 10 日 (土)	

(2) 調査地点、サンプル数

観光地点分類	観光地点名称	圏域	冬	春	夏	秋	計
歴史・文化	武田神社	峡中	74	76	77	76	303
歴史・文化	県立美術館	峡中	75	75	75	76	301
都市型観光	モンデ酒造	峡東	65	70	77	102	322
都市型観光	勝沼ぶどうの丘	峡東	76	78	76	77	299
歴史・文化	身延山久遠寺	峡南	101	100	91	101	393
温泉・健康	みたまの湯	峡南	76	75	75	75	301
都市型観光	八ヶ岳アウトレット	峡北	103	104	102	103	412
その他	道の駅こぶちさわ	峡北	76	76	77	78	307
スポーツ・レクリエーション	富士急ハイランド	富士・東部	105	102	102	100	409
自然	カチカチ山ロープウェイ	富士・東部	76	77	76	75	304
合計			827	833	828	863	3,351

(3) 本報告書の計算値について

アンケート結果の数値は端数処理により、項目の合計が 100%にならない場合がある。

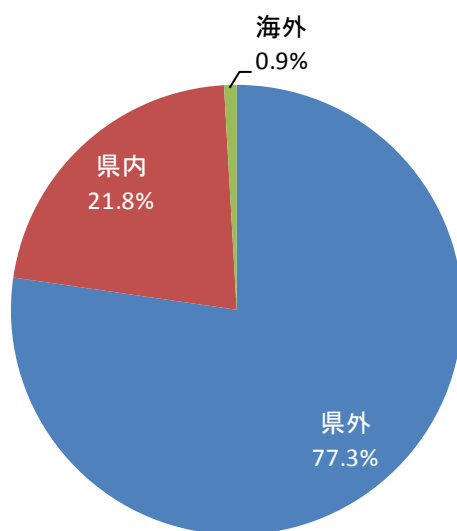
2. 観光客の特性、動態状況の分析

観光客アンケート調査の結果を基に、本県の観光客の全体像と、分類別の観光客の特徴を分析した。

(1) 本県観光客の全体像

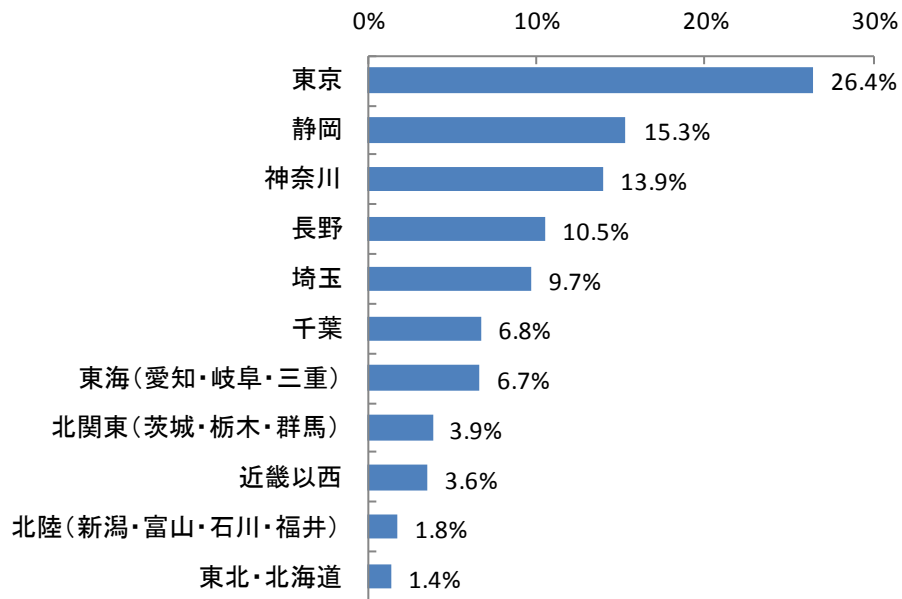
①居住地

観光客の居住地は、「県内」が21.8%、「県外」が77.3%、「海外」が0.9%である。



また、外国人及び不明の者を除いた県外客の居住地は、東京都（26.4%）、静岡県（15.3%）、神奈川県（13.9%）、長野県（10.5%）、埼玉県（9.7%）と、隣接する都県からの来訪者が多い。

季節変動をみると、前年度と同じような傾向を示している都道府県が多いが、静岡県からの来訪者が春以降、前年度を上回る状態が続いており、新東名開通に伴い、峡南地域等への来訪者が増加している可能性がある。東京都からの来訪者の割合は年間通じて、構成比が減少している季節が多い。

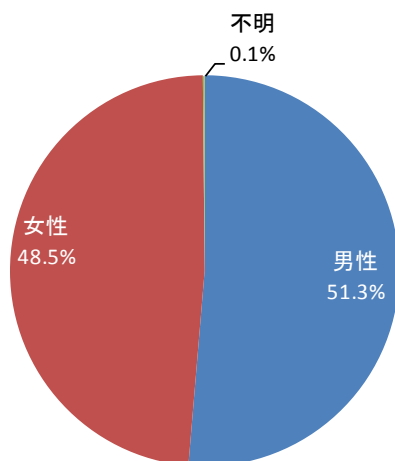


(%)

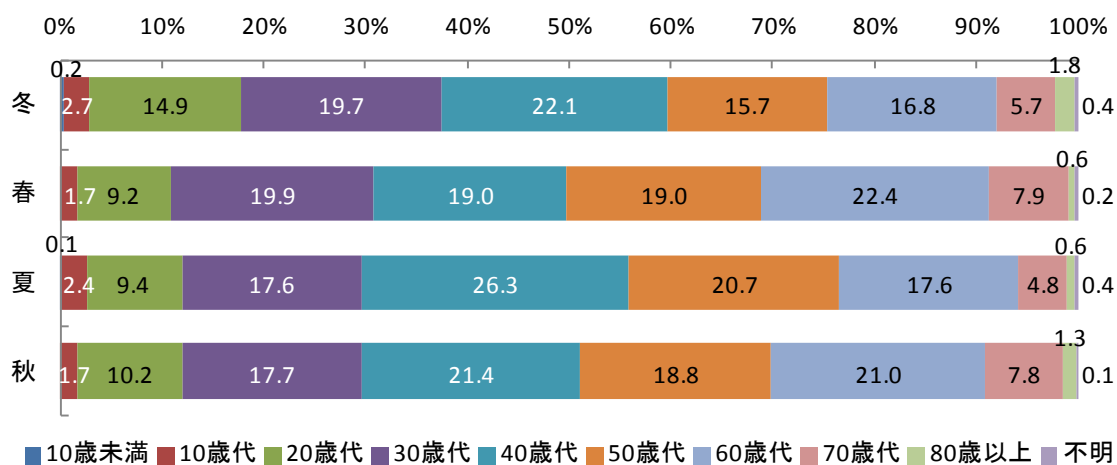
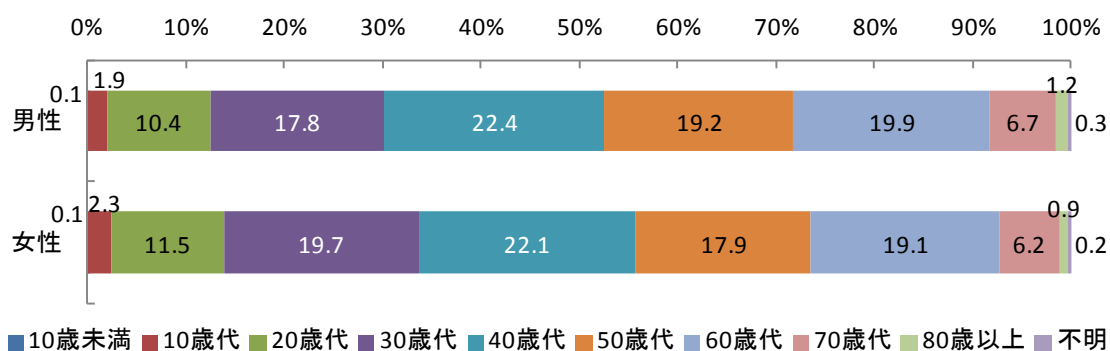
H24 (H23)	冬	春	夏	秋	H24年
東京	32.1 (29.9)	25.8 (26.2)	23.9 (29.7)	24.4 (32.1)	26.4 (29.5)
静岡	11.7 (14.6)	18.6 (14.3)	15.8 (10.3)	15.1 (13.6)	15.3 (13.1)
神奈川	13.5 (13.8)	12.6 (13.0)	16.2 (15.9)	13.3 (16.4)	13.9 (14.8)
長野	12.9 (11.5)	11.0 (10.6)	6.2 (5.9)	12.1 (9.1)	10.5 (9.2)
埼玉	10.7 (7.7)	8.2 (9.7)	11.0 (11.9)	9.1 (10.7)	9.7 (10.1)
千葉	6.8 (7.6)	6.6 (6.9)	7.5 (9.6)	6.1 (5.1)	6.8 (7.3)

②性別・年代

アンケート回答者のうち、男性は51.3%、女性は48.5%である。



年齢層をみると、男女とも「30歳代」、「40歳代」、「50歳代」、「60歳代」が2割前後で均衡している。男性（22.4%）、女性（22.1%）ともに「40歳代」が最も高くなっている。



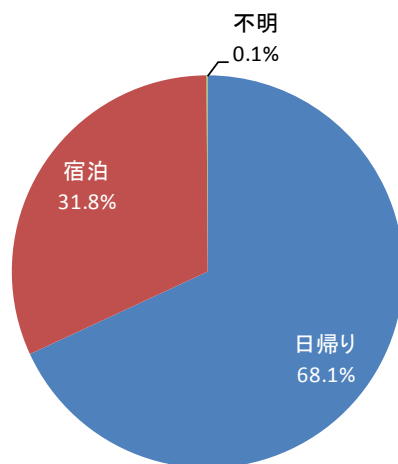
③滞在状況（日帰り・宿泊）

滞在状況は、「日帰り」が68.1%を占める。「宿泊」は、31.8%であった。

他県での宿泊も含めた宿泊日数は、「1泊」(78.8%)が大部分である。近県からの短期旅行者が多いことがここからも推測される。

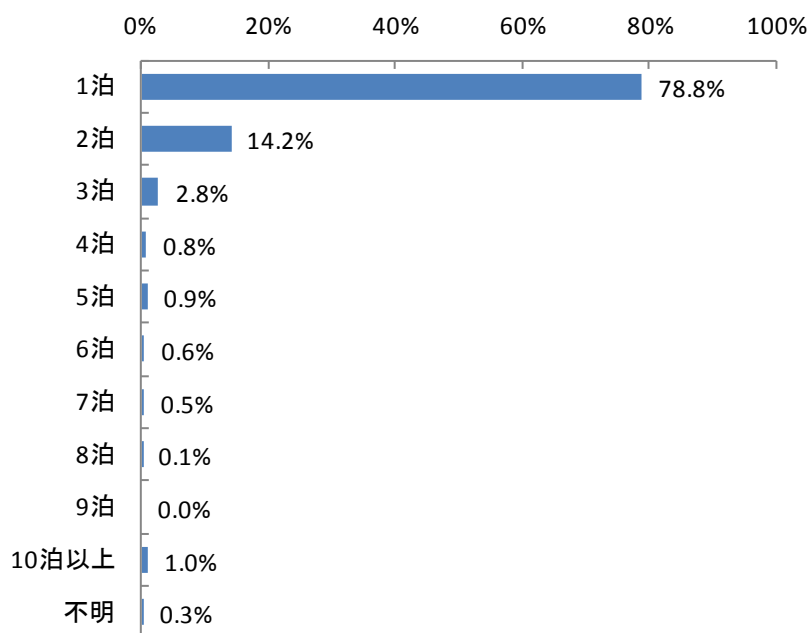
平成23年調査結果と比較すると、ほぼ同様の傾向であった。

なお、県内で宿泊していない場合は日帰りに分類し、この集計には含まれていない。



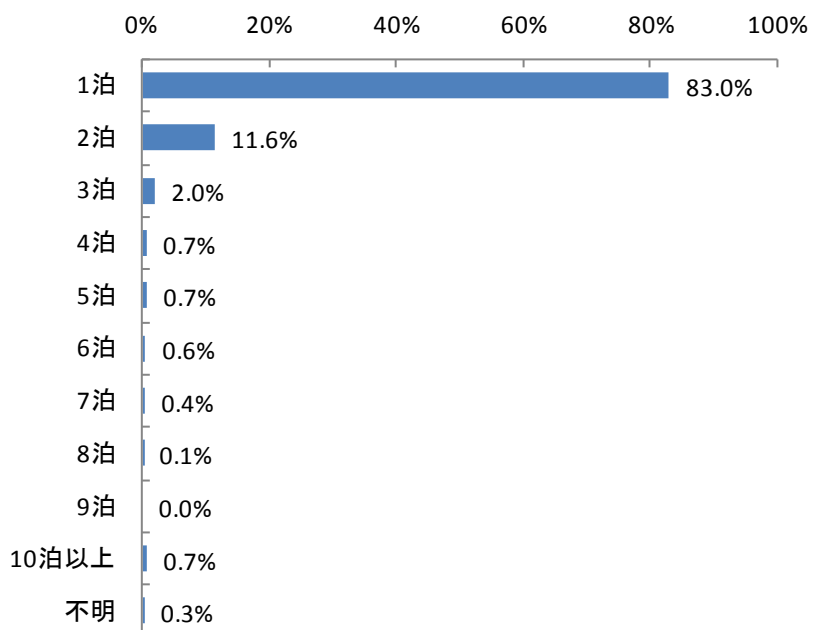
【前年対比】

カテゴリ	H24 (%ベース)	H23 (%ベース)	比較増減(ポイント)
日帰り	68.1	66.4	1.7
宿泊	31.8	33.4	△1.6



宿泊客のうち、山梨県内への宿泊数は、「1泊」(83.0%)が最も高く、次いで「2泊」(11.6%)である。

平成23年調査結果と比較すると、「1泊」の割合が8.2ポイント増加し、その一方で「2泊」の割合が3.1ポイント減少した。



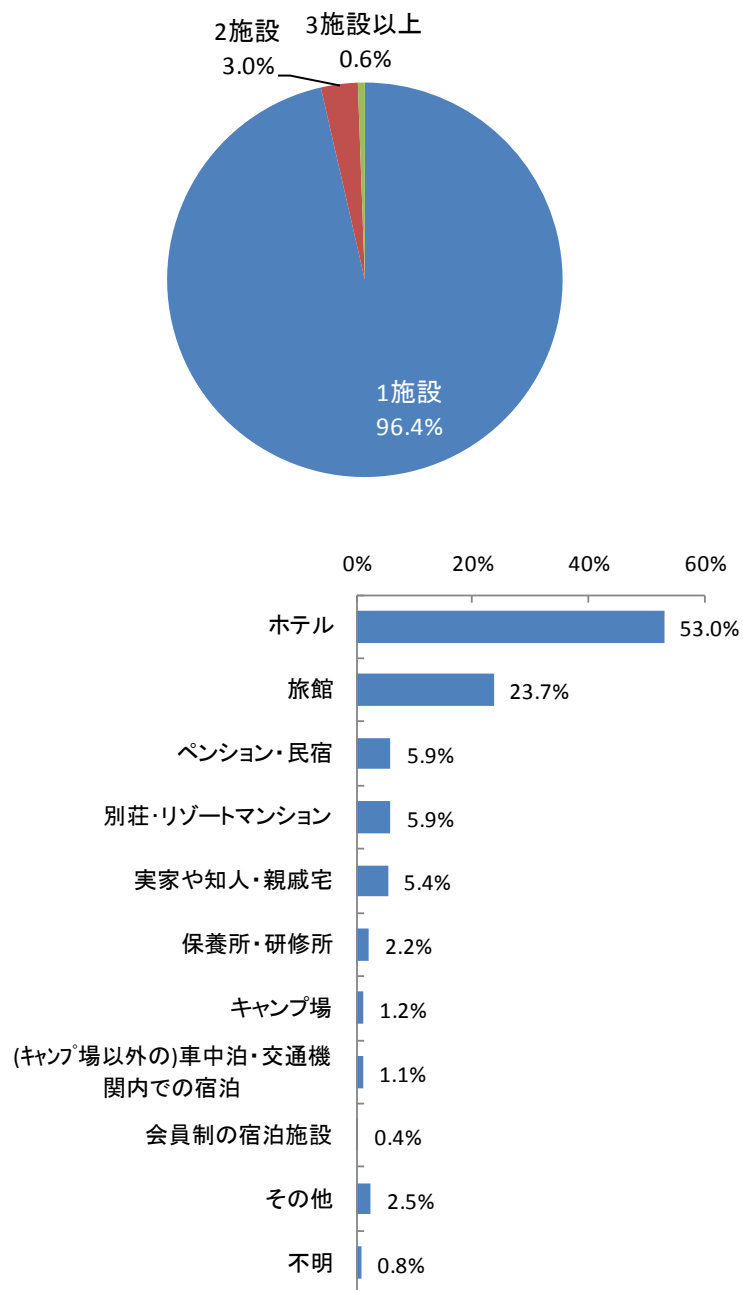
【前年対比】

カテゴリ	H24(%ベース)	H23(%ベース)	比較増減(ポイント)
1泊	83.0	74.8	8.2
2泊	11.6	14.7	△3.1

④宿泊施設

県内宿泊者のうち、宿泊した施設数は「1施設」(96.4%)がほとんどである。

宿泊施設の種類は、「ホテル」(53.0%)が過半数を占める。次いで、「旅館」(23.7%)、「ペンション・民宿」及び「別荘・リゾートマンション」(5.9%)、「実家や知人・親戚宅」(5.4%)の順となっており、前年と同様の構成であった。

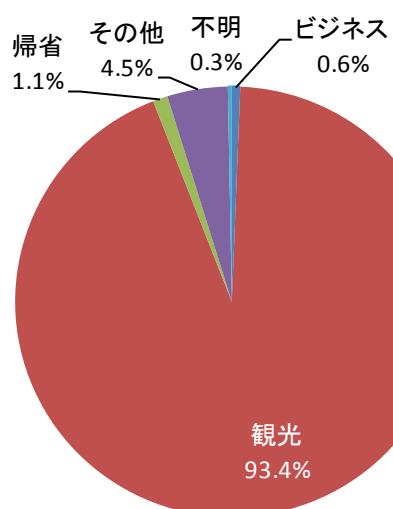


* 複数回答

⑤旅行の主な目的

旅行の主な目的は、「観光」が9割を占める。

「その他」(4.5%)の内容は「神社仏閣の参拝」などである。

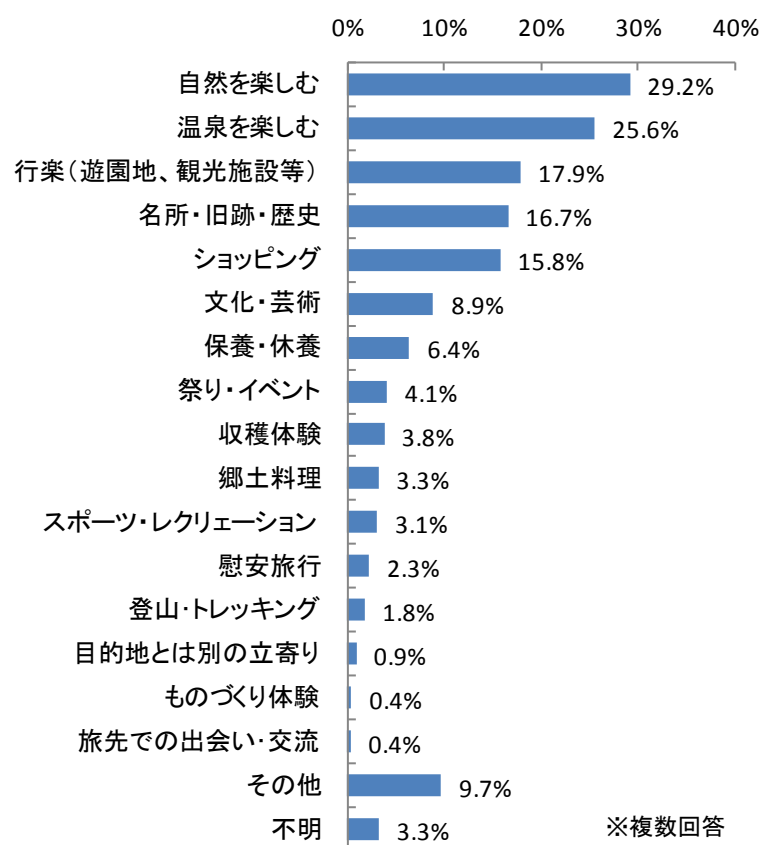


観光旅行に限ってその目的をみると、「自然を楽しむ」が29.2%と最も高く、次いで「温泉を楽しむ」(25.6%)、「行楽(遊園地、観光施設等)」(17.9%)となっている。

平成23年調査結果と比較すると、「温泉」がやや減少(1.1ポイント)したが、ほぼ同様の構成比であった。震災の影響により平成22年に顕著であった、主たる目的の「自然」から「温泉」への移行は概ね震災前に戻ったと考えられる。

(%)

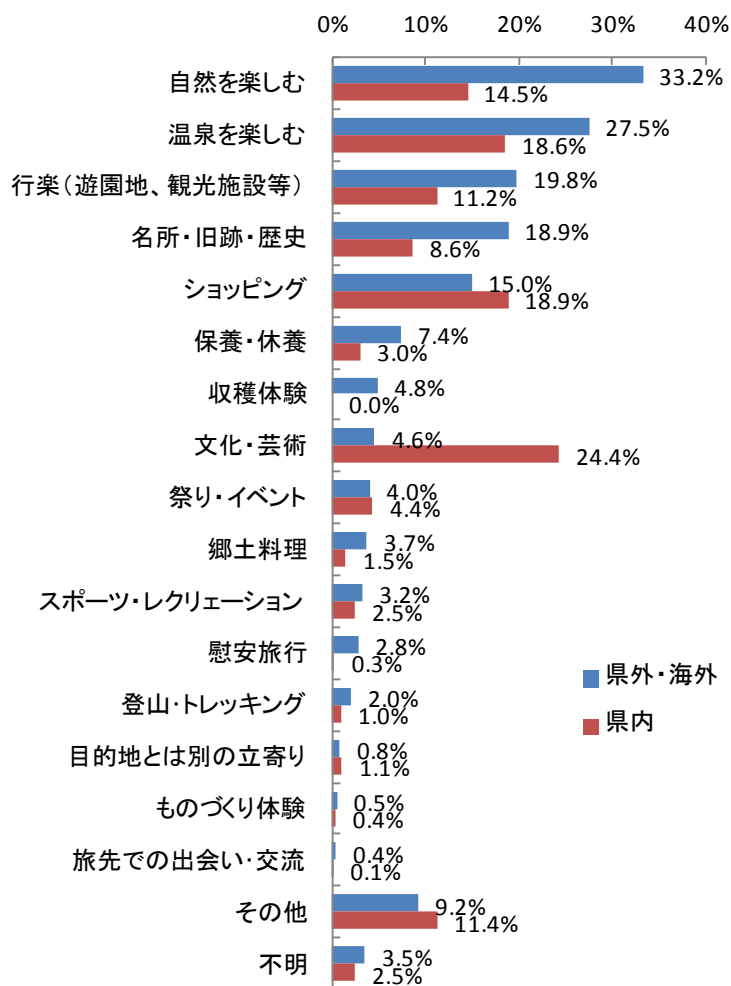
カテゴリ	冬	春	夏	秋	H24年	H23年
自然を楽しむ	18.1	27.9	33.6	36.8	29.2	29.8
温泉を楽しむ	31.8	23.9	23.1	23.6	25.6	26.7
行楽(遊園地、観光施設等)	15.5	22.7	18.0	15.6	17.9	18.2
名所・旧跡・歴史	17.2	20.3	12.3	16.8	16.7	16.4
ショッピング	13.1	16.3	17.9	16.1	15.8	16.3
文化・芸術	8.3	9.0	9.1	9.2	8.9	7.9
保養・休養	6.2	7.3	7.9	4.4	6.4	5.4
祭り・イベント	2.3	0.6	4.0	9.3	4.1	4.5
収穫体験	1.8	1.1	11.2	1.2	3.8	3.5
郷土料理	3.9	2.5	3.5	3.1	3.3	2.9



【前年対比】

カテゴリ	H24(%ベース)	H23(%ベース)	比較増減(ポイント)
自然	29.2	29.8	△ 0.6
温泉	25.6	26.7	△ 1.1
行楽	17.9	18.2	△ 0.3
名所・旧跡・歴史	16.7	16.4	0.3
ショッピング	15.8	16.3	△ 0.5
文化・芸術	8.9	7.9	1.0

観光旅行の目的を居住地別にみると、県外客では「自然を楽しむ」(33.2%)が最も高く、次いで、「温泉を楽しむ」(27.5%)、「行楽(遊園地、観光施設等)」(19.8%)の順となっている。一方、県内客では「文化・芸術」が24.4%で最も高く、「ショッピング」(18.9%)が続いている。平成23年調査結果と比較するとほぼ同様の傾向であった。



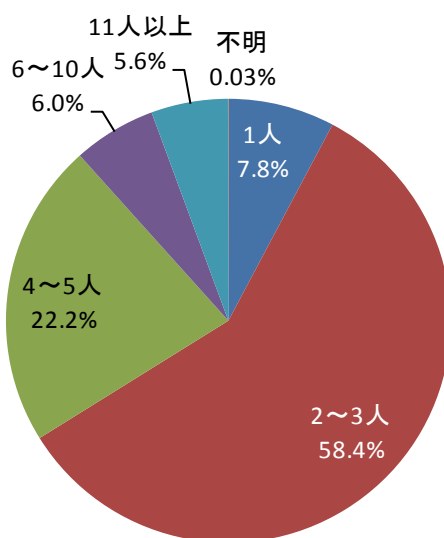
* 複数回答

【前年対比】

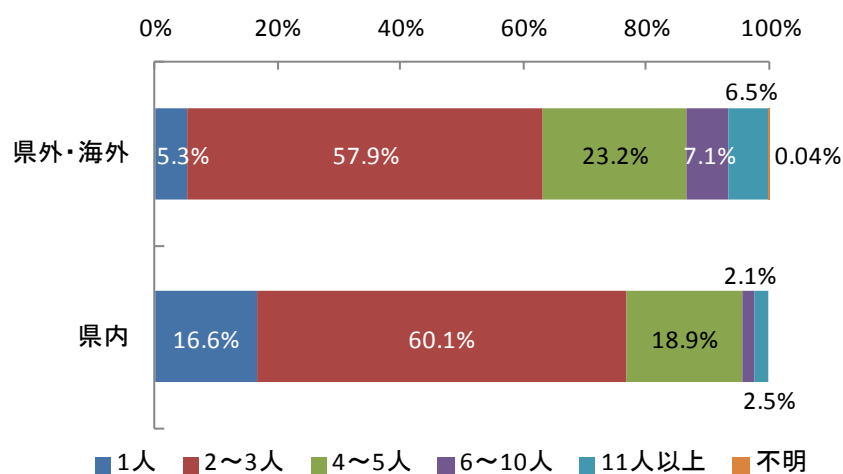
		H24(% [^] -ス)	H23(% [^] -ス)	比較増減(ポイント)
自然を楽しむ	県外	33.2	33.7	△0.5
	県内	14.5	13.8	0.7
温泉を楽しむ	県外	27.5	28.9	△1.4
	県内	18.6	17.6	1.0
文化・芸術	県外	4.6	4.0	0.6
	県内	24.4	23.8	0.6
ショッピング	県外	15.0	15.8	△0.8
	県内	18.9	18.7	0.2

⑥同行者

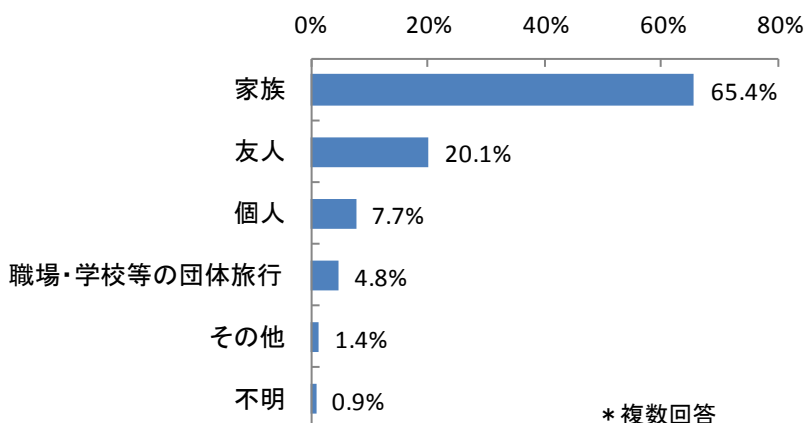
同行人数は、「2～3人」が58.4%と最も高く、次いで「4～5人」(22.2%)となっており、5人以下の少人数のグループによる旅行が9割近くを占めている。



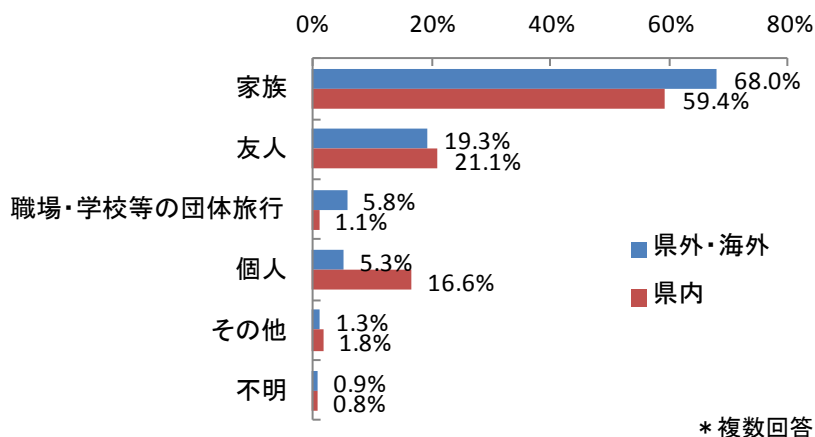
また、居住地別の旅行人数では、2～3人程度のグループが多い傾向は変わらないものの、県内客に比べ県外・海外客では4人以上のグループの割合が高くなっている。その一方で、県内客は1人の割合が高くなっている。



同行者は「家族」が65.4%で最も高く、次いで「友人」(20.1%)となっている。



居住地別にみても、同様の傾向であり、「家族」が6割、「友人」が2割前後となっている。ただし、県内居住者では、個人での観光が多く、引き続き増加している。

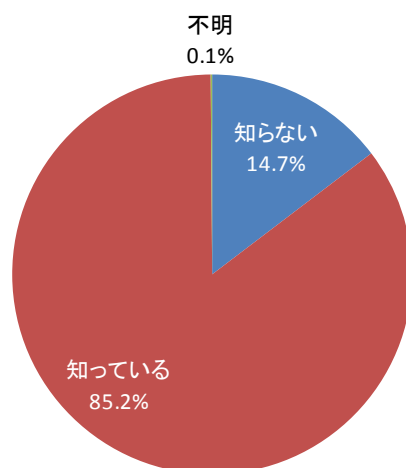


【前年対比】

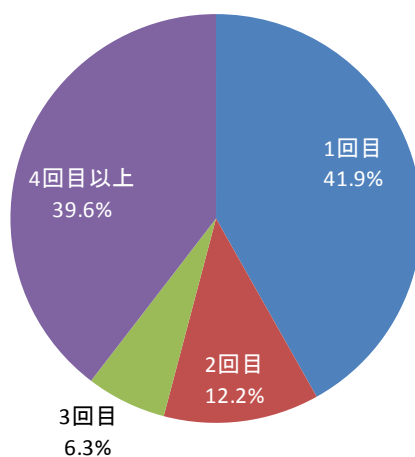
		H24(%ベース)	H23(%ベース)	比較増減(ポイント)
家族	県外	68.0	70.3	△2.3
	県内	59.4	63.5	△4.1
友人	県外	19.3	18.9	0.4
	県内	21.1	19.8	1.3
個人	県外	5.3	4.8	0.5
	県内	16.6	13.7	2.9

⑦訪問回数（同行者含む）

同行者全員の今いる観光地への訪問回数を知っているかどうかについては、「知っている」が85.2%、「知らない」が14.7%となっている。



また、「知っている」と回答した人と同行者も含めた今いる観光地への訪問回数では、「1回目」（41.9%）と「4回目以上」（39.6%）がほぼ同程度の割合となっている。

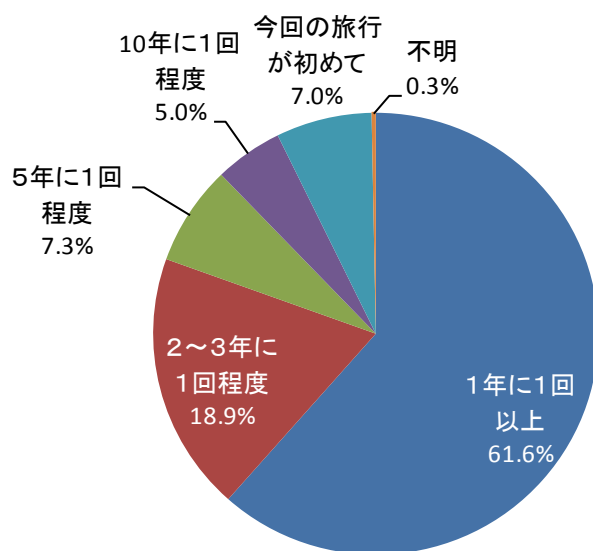


	冬	春	夏	秋	H24年
1回目	37.8%	42.1%	44.5%	42.2%	41.9%
2回目	13.2%	11.6%	11.3%	13.1%	12.2%
3回目	5.8%	6.7%	7.5%	5.1%	6.3%
4回目以上	43.2%	39.6%	36.7%	39.6%	39.6%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑧県外客の山梨への訪問頻度

県外客が山梨を訪れる頻度は、「1年に1回以上」が61.6%で最も高く、次いで「2～3年に1回程度」(18.9%)、「5年に1回程度」(7.3%)、「今回の旅行が初めて」(7.0%)と続いている。

ほぼ前年同様の傾向で近県からのリピーター客が多く、その割合も増加傾向にある。

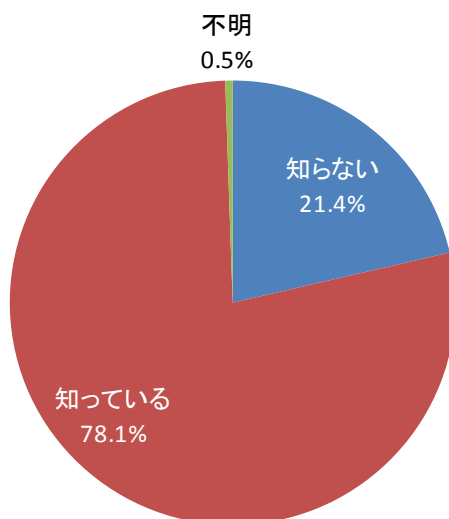


【前年対比】

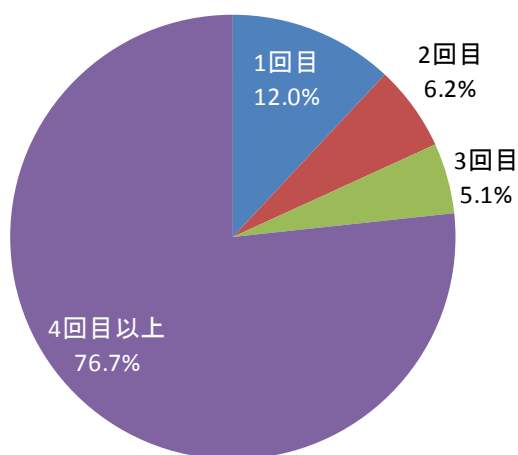
カテゴリ	H24(%ベース)	H23(%ベース)	比較増減(ポイント)
今回が初めて	7.0	8.2	△1.2
1年に1回以上	61.6	60.1	1.5
2～3年に1回程度	18.9	19.8	△0.9
5年に1回程度	7.3	6.5	0.8
10年に1回程度	5.0	4.9	0.1

⑨同行者の本県への訪問回数

同行者の山梨県への訪問回数を知っているかどうかについては、「知っている」が、78.1%、「知らない」が21.4%となっている。



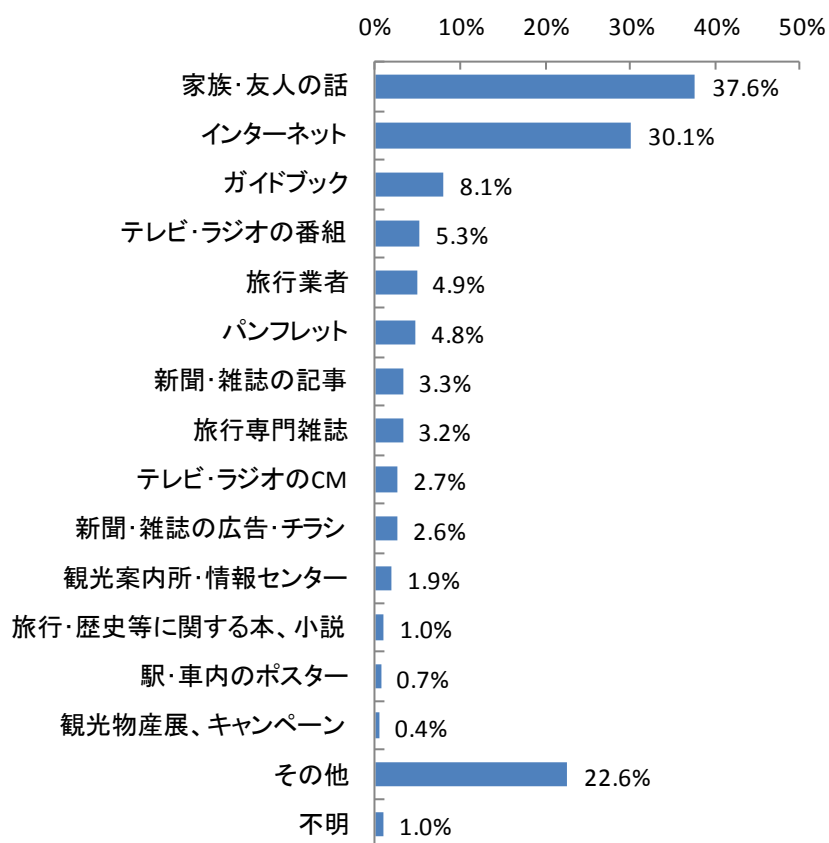
また、「知っている」と回答した人と同行者も含めた山梨県への訪問回数では、「4回目以上」が76.7%と最も高く、次いで「1回目」(12.0%)となっている。



⑩旅行計画の参考資料

観光客が旅行計画を立てる際に参考にするものとしては、「家族・友人の話」が37.6%で最も高い。次いで「インターネット」(30.1%)、「ガイドブック」(8.1%)と続いており、両者を参考とする割合は増加している。

「その他」が22.6%と多くなっているが、これは回答者が訪問地を以前から知っていたり、リピーターであったりするケースが多い。

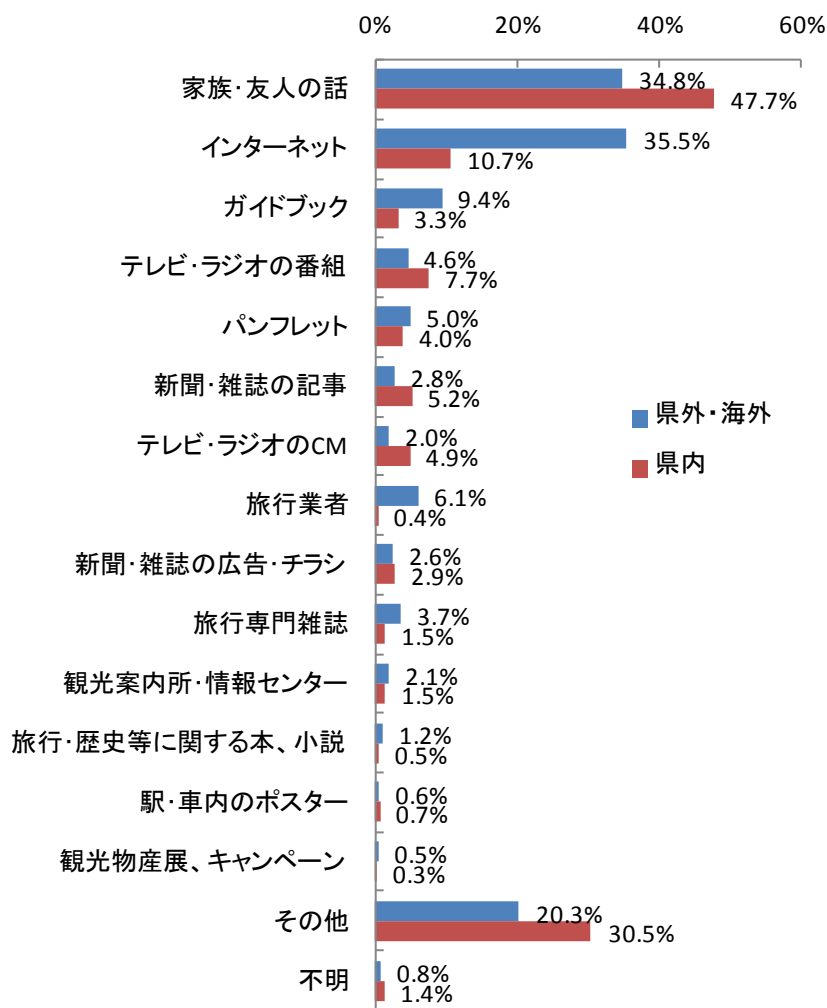


* 複数回答

【前年対比】

カテゴリ	H24(%ベース)	H23(%ベース)	比較増減(ポイント)
家族・友人の話	37.6	38.4	△0.8
インターネット	30.1	27.8	2.3
ガイドブック	8.1	5.8	2.3
パンフレット	4.8	5.4	△0.6
旅行者	4.9	3.9	1.0
新聞・雑誌の記事	3.3	3.8	△0.5
新聞・雑誌の広告・チラシ	2.6	3.8	△1.2
旅行専門雑誌	3.2	3.4	△0.2

旅行計画の参考資料を居住地別にみると、県内、県外・海外客ともに「家族・友人の話」が高くなっているが、県外・海外客では「インターネット」(35.5%)の割合が最も高くなっており、県内客よりも大幅に高くなっている。県内については、新聞・雑誌、テレビ・ラジオの影響が相対的に高い。

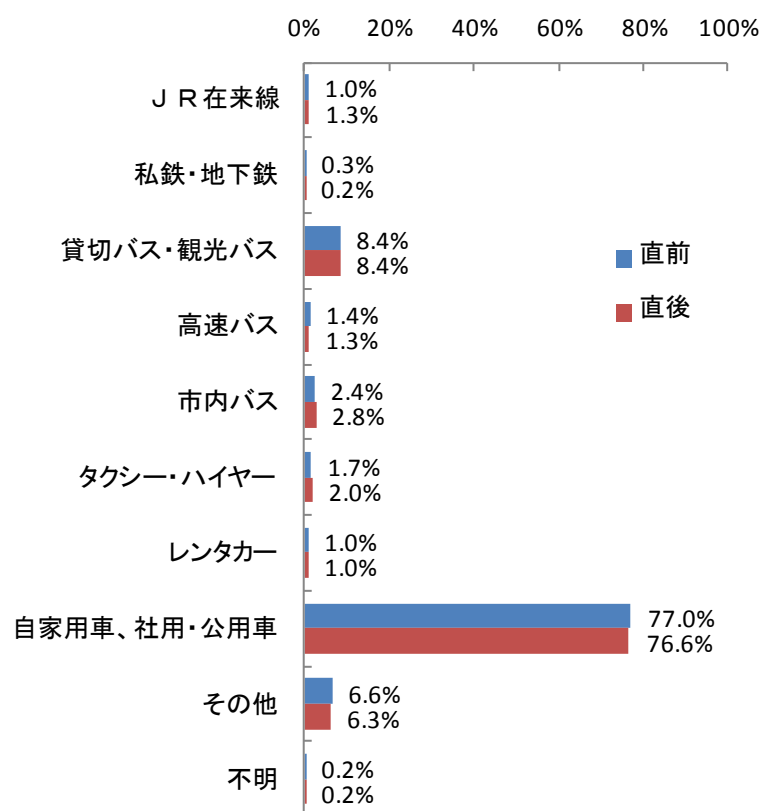


* 複数回答

⑪観光客の交通手段

訪問地へ来る直前とその直後で利用する交通機関については、全ての調査地点合計では、「自家用車、社用・公用車」が圧倒的に多く8割近くを占める。次いで「貸切バス・観光バス」(8%程度)、「市内バス」(2%程度)となっている。

これらは、前年とほぼ同様の傾向である。

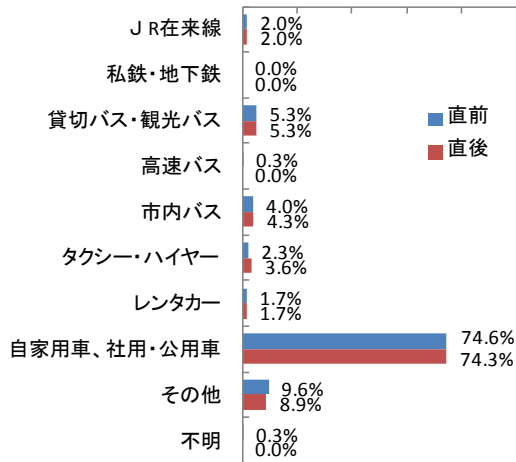


地点別では、「モンデ酒造」での「貸切バス・観光バス」の利用が半数を占めており、団体バス旅行が有力顧客層を形成している状況がうかがえる。

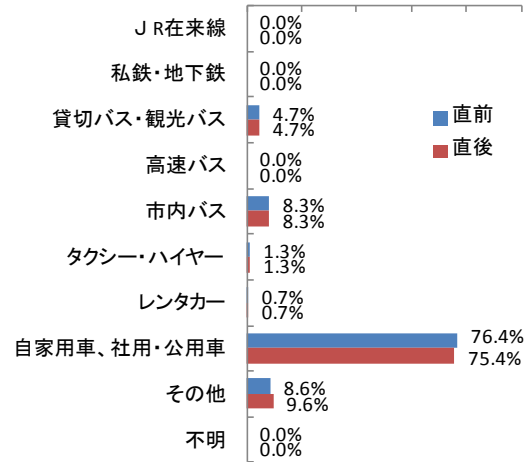
その他では、「貸切バス・観光バス」が5%程度の地点が多く、「勝沼ぶどうの丘」は「J R 在来線」や「タクシー・ハイヤー」、「県立美術館」や「カチカチ山ロープウェイ」では「市内バス」、「富士急ハイランド」は「高速バス」の利用割合が比較的高い。

一方、「八ヶ岳アウトレット」、「道の駅こぶちさわ」、「みたまの湯」では、「自家用車、社用・公用車」の割合が高く、9割前後になっている。公共交通機関の利用が不便な立地が大きく影響していると考えられる。

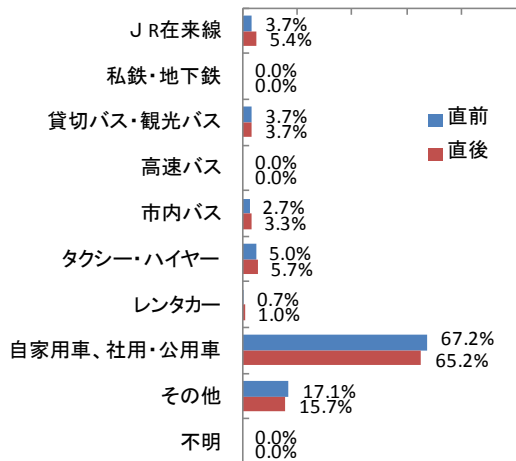
武田神社 0% 20% 40% 60% 80% 100%



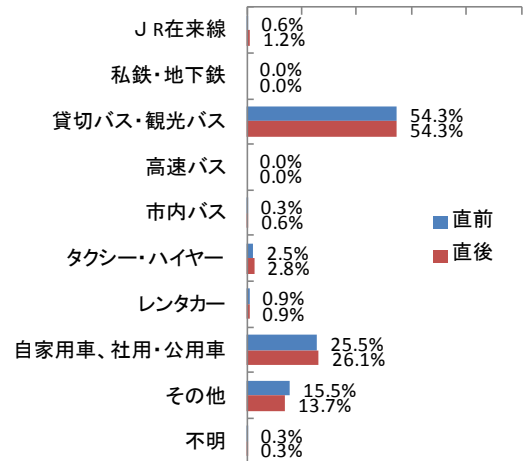
県立美術館 0% 20% 40% 60% 80% 100%



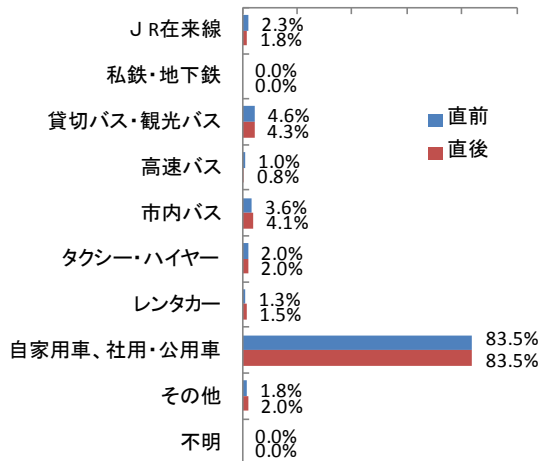
勝沼ぶどうの丘 0% 20% 40% 60% 80% 100%



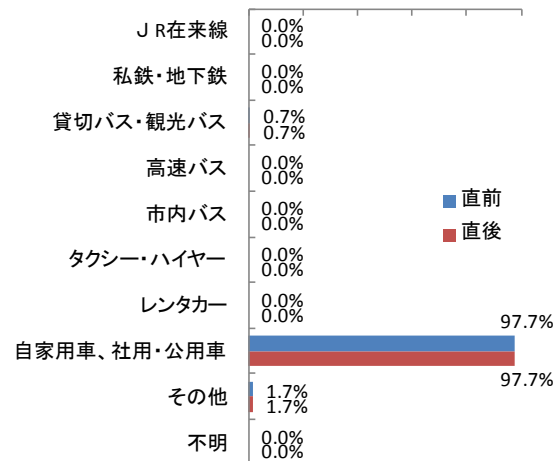
モンデ酒造 0% 20% 40% 60% 80% 100%



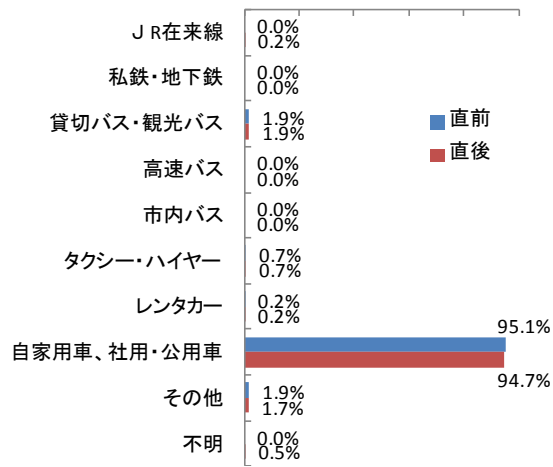
身延山久遠寺 0% 20% 40% 60% 80% 100%



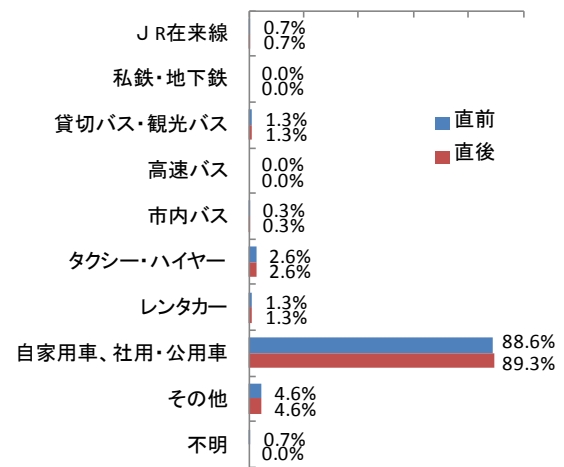
みたまの湯 0% 20% 40% 60% 80% 100%



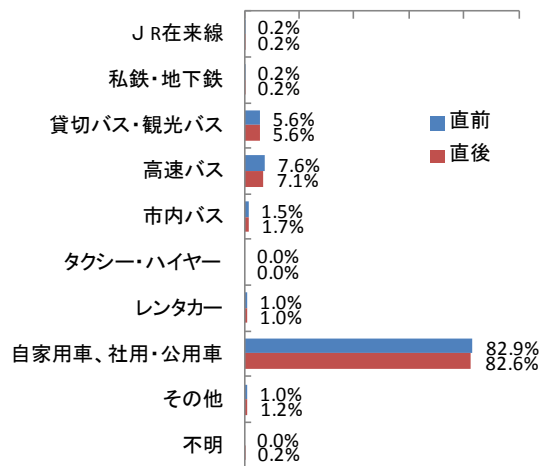
ハケ岳アウトレット



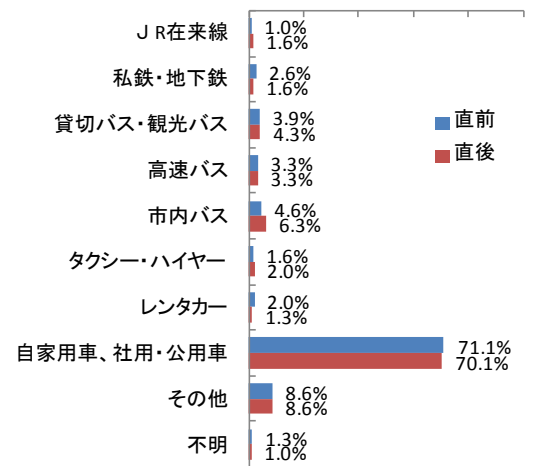
道の駅こぶちさわ



富士急ハイランド

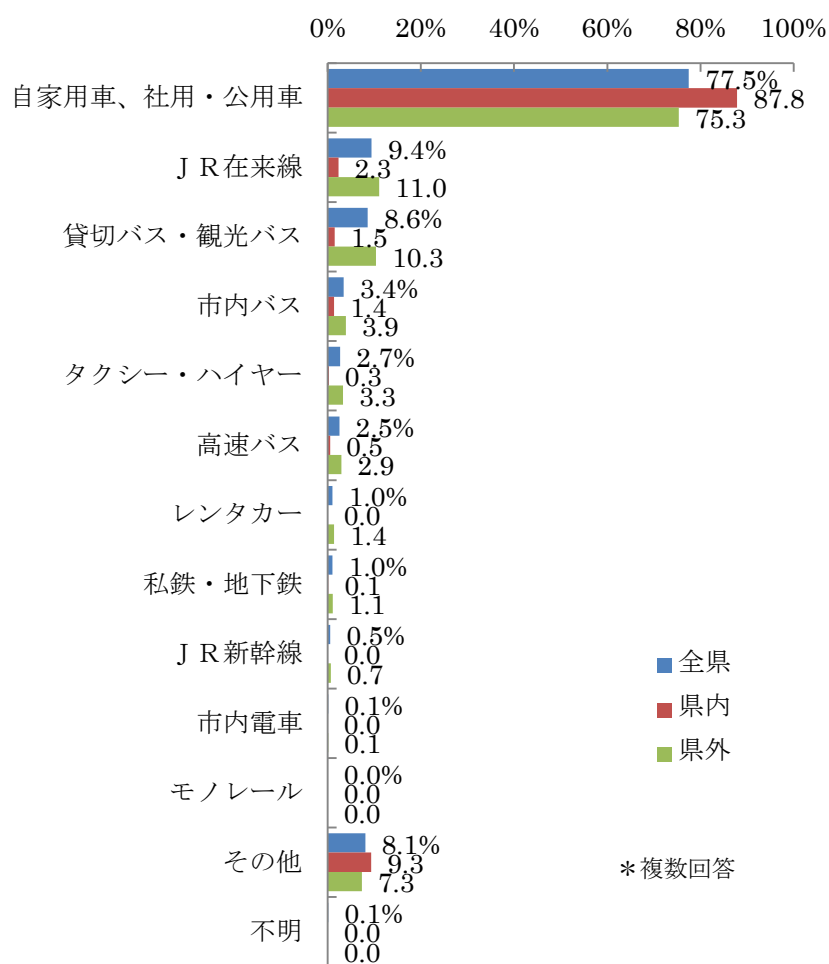


カチカチ山ロープウェイ



観光客が利用した交通機関全て（訪問地へ来る直前とその直後で利用する交通機関以外も含む）について、各交通機関利用状況をみると、県内居住者については9割近くが自家用車等であり、徒歩や自転車が含まれるその他とあわせて大部分を占めている。

県外居住者については、自家用車が75%以上を占めているが、約1割はJR在来線や貸切バス・観光バスを利用している。



⑫県内での観光消費額

本県での観光消費の実態を把握するため、観光客を「団体ツアー客」と「団体ツアー以外の個人・団体旅行客」に分け、それぞれの観光消費額を分析した。

また、ツアー以外の旅行客に関しては、さらに「県外からの宿泊客」、「県内からの宿泊客」、「県外からの日帰り客」、「県内からの日帰り客」の4つの属性に分け、項目別にそれぞれの平均観光消費額を求めた。

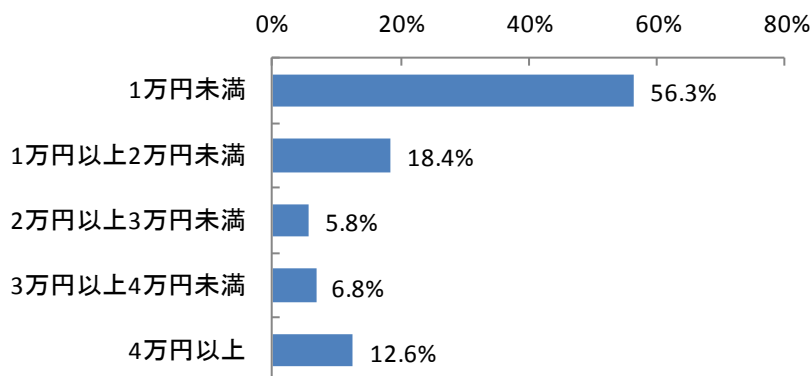
(1) 団体ツアー

ツアー料金は「1万円未満」(56.3%)が最も高く、次いで、「1万円以上～2万円未満」(18.4%)である。ツアー料金の平均額は22,827円であった。前年と比較すると、海外からのツアー客の有無等で平均額が増加している面もあるものの、比率としても1万円未満の割合が減少していることから、ツアー料金は増加傾向にあると考えられる。

ツアー料金以外の消費額では、「1万円未満」(81.6%)が最も高く、次いで、「1万円以上～2万円未満」(13.6%)となっており、前年とほぼ同様であった。

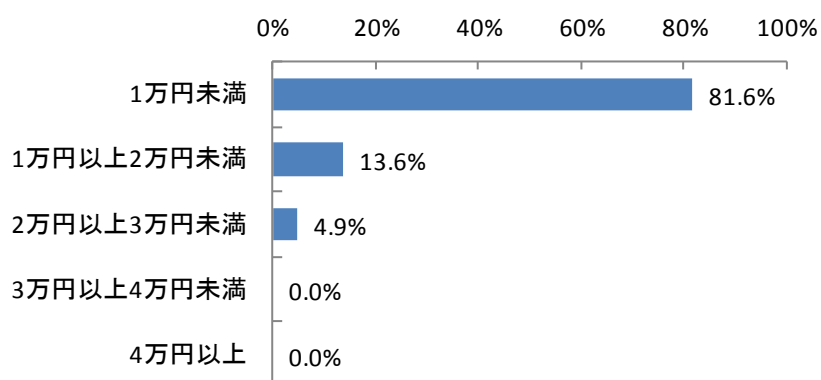
ツアー料金

カテゴリ	冬	春	夏	秋	H24	H23
平均額(円)	15,395	13,123	31,806	15,882	22,827	13,196
1万円未満	50.0%	65.0%	63.3%	28.6%	56.3%	68.1%
1万円以上2万円未満	20.0%	10.0%	14.3%	42.9%	18.4%	14.3%
2万円以上3万円未満	5.0%	5.0%	4.1%	14.3%	5.8%	7.7%
3万円以上4万円未満	10.0%	20.0%	0.0%	7.1%	6.8%	2.2%
4万円以上	15.0%	0.0%	18.4%	7.1%	12.6%	7.7%



ツアー料金以外の支出

カテゴリ	冬	春	夏	秋	H24	H23
平均額	3,350	3,525	6,108	8,786	5,435	7,726
1万円未満	85.0%	100.0%	79.6%	57.1%	81.6%	78.6%
1万円以上2万円未満	15.0%	0.0%	14.3%	28.6%	13.6%	14.8%
2万円以上3万円未満	0.0%	0.0%	6.1%	14.3%	4.9%	3.8%
3万円以上4万円未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%
4万円以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%



(2) 団体ツアー以外の個人・団体旅行

属性（県内・県外及び宿泊・日帰り）別の一人当たり平均観光消費額は、「県外からの宿泊客」が 25,442 円、「県外からの日帰り客」が 7,699 円、「県内からの日帰り客」が 3,868 円となった。「県内の宿泊客」が 9,784 円はサンプル数が少ない（n=7）ため、参考値となる。

全体としての平均消費額は、宿泊が 25,295 円、日帰りが 6,440 円、全体では 12,437 円であった。

季節別にみると、「県外の宿泊客」では、春と夏が高くなっている。日帰りについてえあ、冬の消費額が低い。

前年と比較すると、県内客、県外客ともに消費額は減少している。

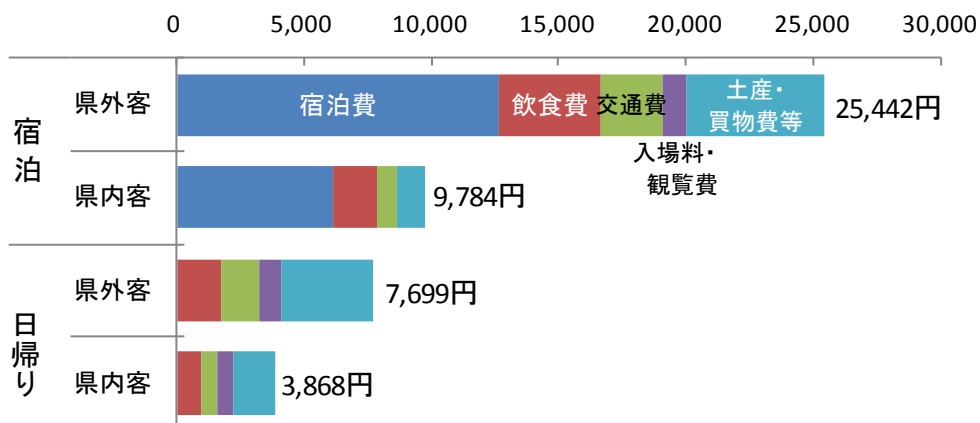
属 性		冬	春	夏	秋	H24
宿泊	県外客(n=1047)	24,013	26,443	27,294	24,086	25,442
	県内客(n=7)	19,270	3,600	7,233	4,650	9,784
	(n=1066)	23,851	26,138	27,202	23,986	25,295
日帰り	県外客(n=1542)	6,997	7,865	7,457	8,358	7,699
	県内客(n=724)	2,862	4,667	3,996	4,164	3,868
	(n=2284)	5,403	6,726	6,426	7,187	6,440
全 体		11,114	12,389	13,498	12,735	12,437

属 性		宿泊費	飲食費	交通費	入場料・ 観覧費	土産・ 買物費等	合計	交通費 (県外分)
宿泊	県外客	12,647	3,992	2,459	907	5,437	25,442	3,275
	県内客	6,143	1,743	799	0	1,100	9,784	0
		12,552	4,027	2,439	896	5,381	25,295	3,267
日帰り	県外客	-	1,759	1,468	866	3,605	7,699	1,867
	県内客	-	993	581	617	1,677	3,868	8
		-	1,507	1,183	781	2,969	6,440	1,296
全 体		3,993	2,308	1,582	818	3,736	12,437	1,923

※宿泊及び日帰りの合計並びに全体平均は、加重平均により算出しているため、単純平均額とは異なる。また、サンプル数の少ない海外客（n=30）を含めて算出している。

※山梨県外での移動等で必要となった費用である交通費（県外分）については、合計には含まず、外数で示した。なお、県内客であっても一度県外に出るような旅行をしている場合には、交通費（県外分）が発生する。

※端数処理により、各項目の数値と合計が一致しない場合がある。



【前年対比】

		H24 (円)	H23 (円)	比較増減 (円)
宿泊_合計	県外	25,442	25,606	△ 164
	県内	9,784	15,491	△ 5,707
日帰り_合計	県外	7,699	8,193	△ 494
	県内	3,868	4,114	△ 245

⑬観光客の満足度

今回の旅行において、観光客が『満足』と答えた割合（「わからない」及び不明を除いた回答者のうち、「非常に満足」または「やや満足」と回答した人の割合）が最も高いのは、個別項目では「自然景観」（93.3%）で、次いで「温泉」（86.7%）となっている。なお、「山梨県全体の満足度」をプラスに評価した割合は77.8%となっている。

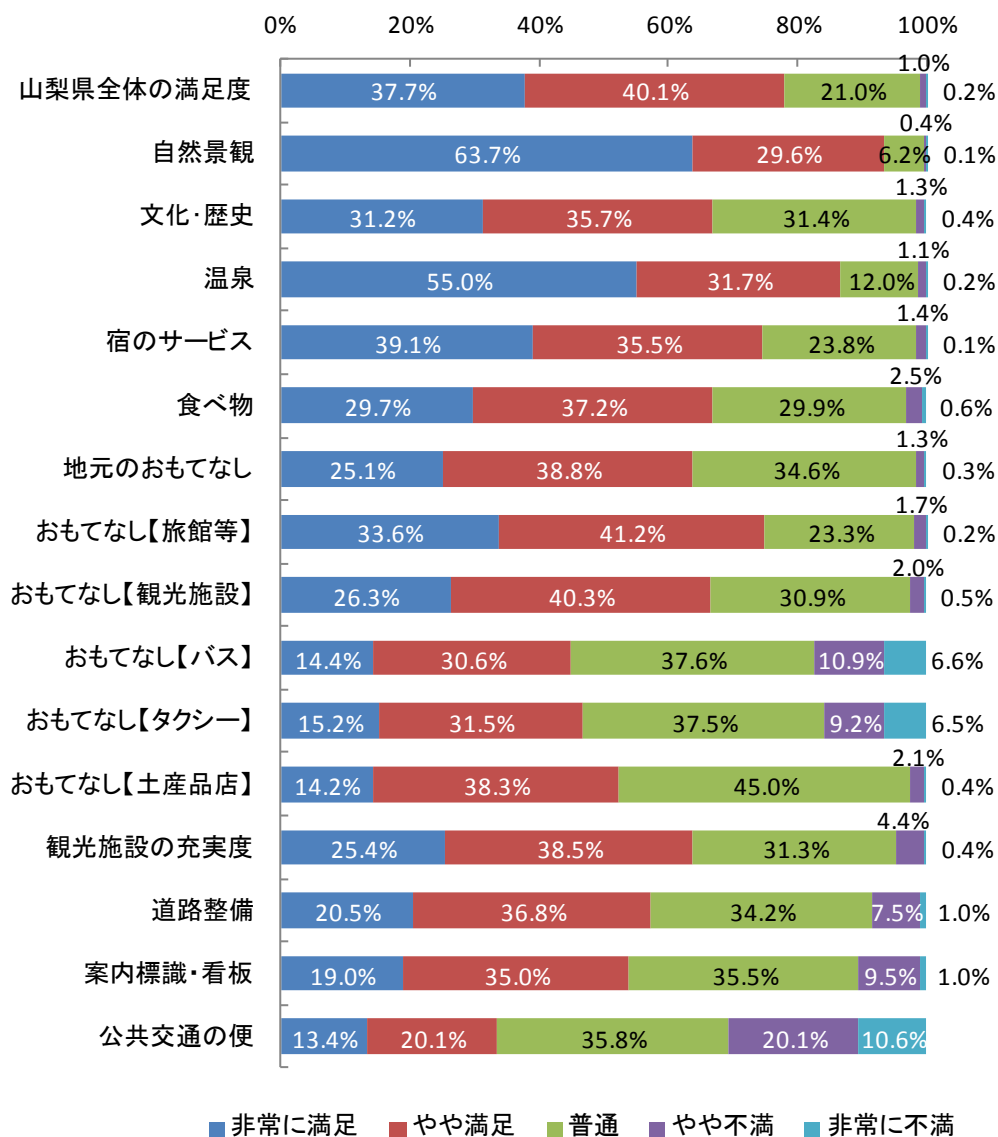
逆に、「非常に不満」と「やや不満」を合わせた『不満』の割合が高いのは、「公共交通の便」（30.7%）、「地元のおもてなし【バス】」（17.5%）、「地元のおもてなし【タクシー】」（15.8%）の順となった。

『満足』、『不満』ともに割合が増加したが、『不満』に比べて『満足』の増加率が高く、個別項目に関する満足度は、全体として増加していると考えられる。

	満足			普通	不満		
	満足	非常に満足	やや満足		不満	やや不満	非常に不満
山梨県全体の満足度	77.8%	37.7%	40.1%	21.0%	1.1%	1.0%	0.2%
自然景観	93.3%	63.7%	29.6%	6.2%	0.5%	0.4%	0.1%
文化・歴史	66.9%	31.2%	35.7%	31.4%	1.7%	1.3%	0.4%
温泉	86.7%	55.0%	31.7%	12.0%	1.3%	1.1%	0.2%
宿のサービス	74.6%	39.1%	35.5%	23.8%	1.6%	1.4%	0.1%
食べ物	67.0%	29.7%	37.2%	29.9%	3.1%	2.5%	0.6%
地元のおもてなし	63.9%	25.1%	38.8%	34.6%	1.5%	1.3%	0.3%
旅館等	74.9%	33.6%	41.2%	23.3%	1.9%	1.7%	0.2%
観光施設	66.6%	26.3%	40.3%	30.9%	2.5%	2.0%	0.5%
バス	45.0%	14.4%	30.6%	37.6%	17.5%	10.9%	6.6%
タクシー	46.7%	15.2%	31.5%	37.5%	15.8%	9.2%	6.5%
土産品店	52.5%	14.2%	38.3%	45.0%	2.5%	2.1%	0.4%
観光施設の充実度	63.9%	25.4%	38.5%	31.3%	4.8%	4.4%	0.4%
道路整備	57.3%	20.5%	36.8%	34.2%	8.5%	7.5%	1.0%
案内標識・看板	54.0%	19.0%	35.0%	35.5%	10.5%	9.5%	1.0%
公共交通の便	33.5%	13.4%	20.1%	35.8%	30.7%	20.1%	10.6%

※「わからない」及び不明を除く

※「山梨県全体の満足度」は平成23年8月の調査からの新規追加項目

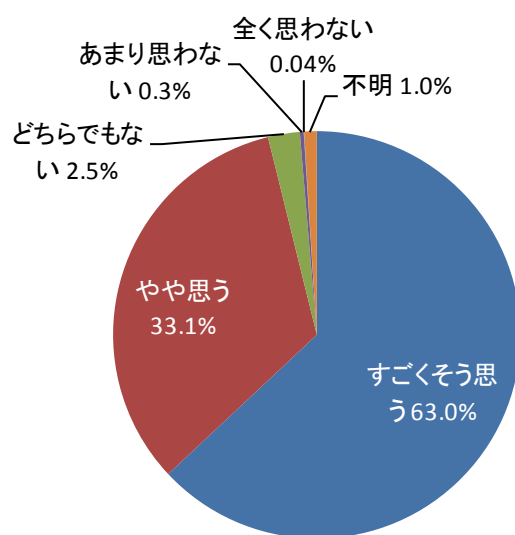


【前年対比】

カテゴリ	H24(%ポイント)	H23(%ポイント)	比較増減(ポイント)
満足			
自然景観	93.3	91.0	2.3
温泉	86.7	85.1	1.6
文化・歴史	66.9	64.5	2.4
不満			
公共交通の便	30.7	30.5	0.2
地元のおもてなし【バス】	17.5	16.0	1.5
案内標識・看板	10.5	9.5	1.0

⑭再訪希望

県外からの観光客に山梨再訪の意向についてたずねたところ、「すごく思う」(63.0%)、「やや思う」(33.1%) あわせて96.1%を占めている。



※山梨県への再訪希望に関する設問は、平成23年8月の調査からの新規追加項目

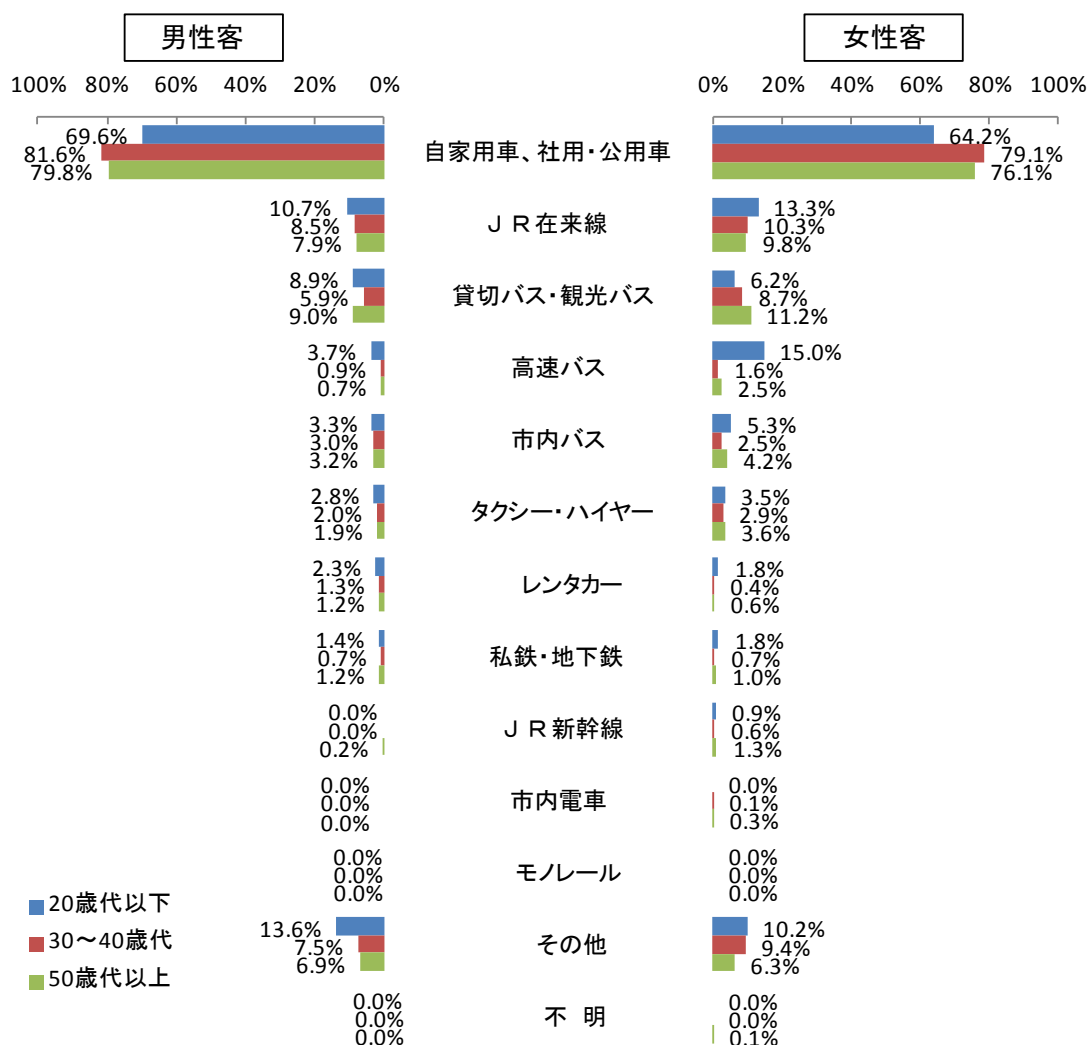
(2) 属性（性別・年代）別の観光客の特徴

アンケート回答者の属性（性別及び年代）別に特徴を把握するため、次の項目について分析を行った。

- ①観光客の交通手段
- ②観光客の旅行目的
- ③旅行計画の参考資料
- ④宿泊の有無

①観光客の交通手段

交通手段は、性別・年代を問わず「自家用車、社用・公用車」が最も高くなっているが、20歳代以下では男女とも割合が低く、高速バスやJR在来線等を利用している。



* 複数回答

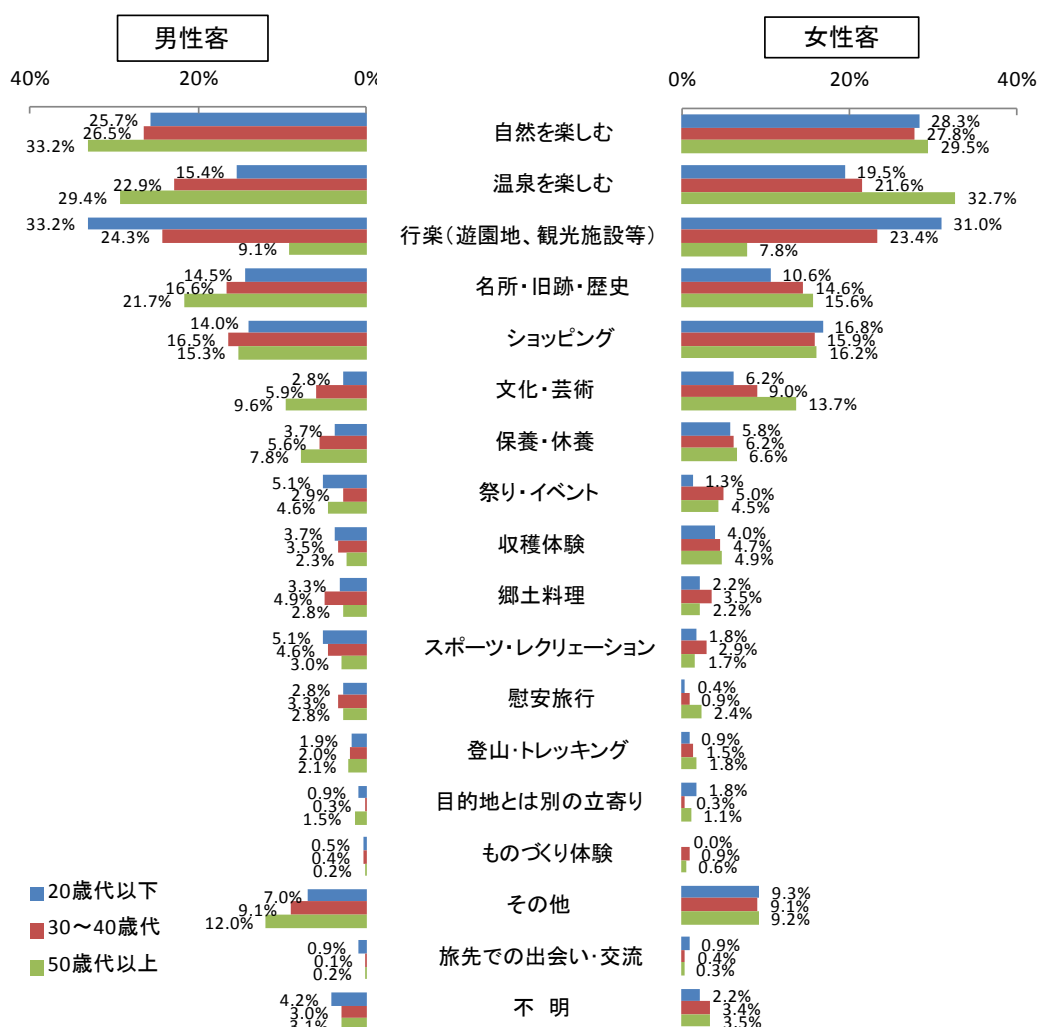
②観光客の旅行目的

旅行目的で最も割合が高いのは、20歳代以下では、「行楽（遊園地、観光施設等）」で、男性33.2%、女性31.0%だった。次点は男女ともに「自然を楽しむ」（男性25.7%、女性28.3%）、次いで「温泉を楽しむ」（男性15.4%、女性19.5%）となっている。

30～40歳代となると「自然を楽しむ」が男女ともに最も高くなっており、男性では26.5%、女性では27.8%だった。次点は男女とも「行楽（遊園地、観光施設等）」（男性24.3%、女性23.4%）、次いで「温泉を楽しむ」（男性22.9%、女性21.6%）であった。

50歳代以上で最も多くの人を選択しているのは、男性が「自然を楽しむ」で33.2%、女性が「温泉を楽しむ」で32.7%だった。男性の次点は「温泉を楽しむ」、女性の次点は「自然を楽しむ」となっており、他の年齢層で多い「行楽」に代わって、「名所・旧跡・歴史」や「ショッピング」が多くなっている。

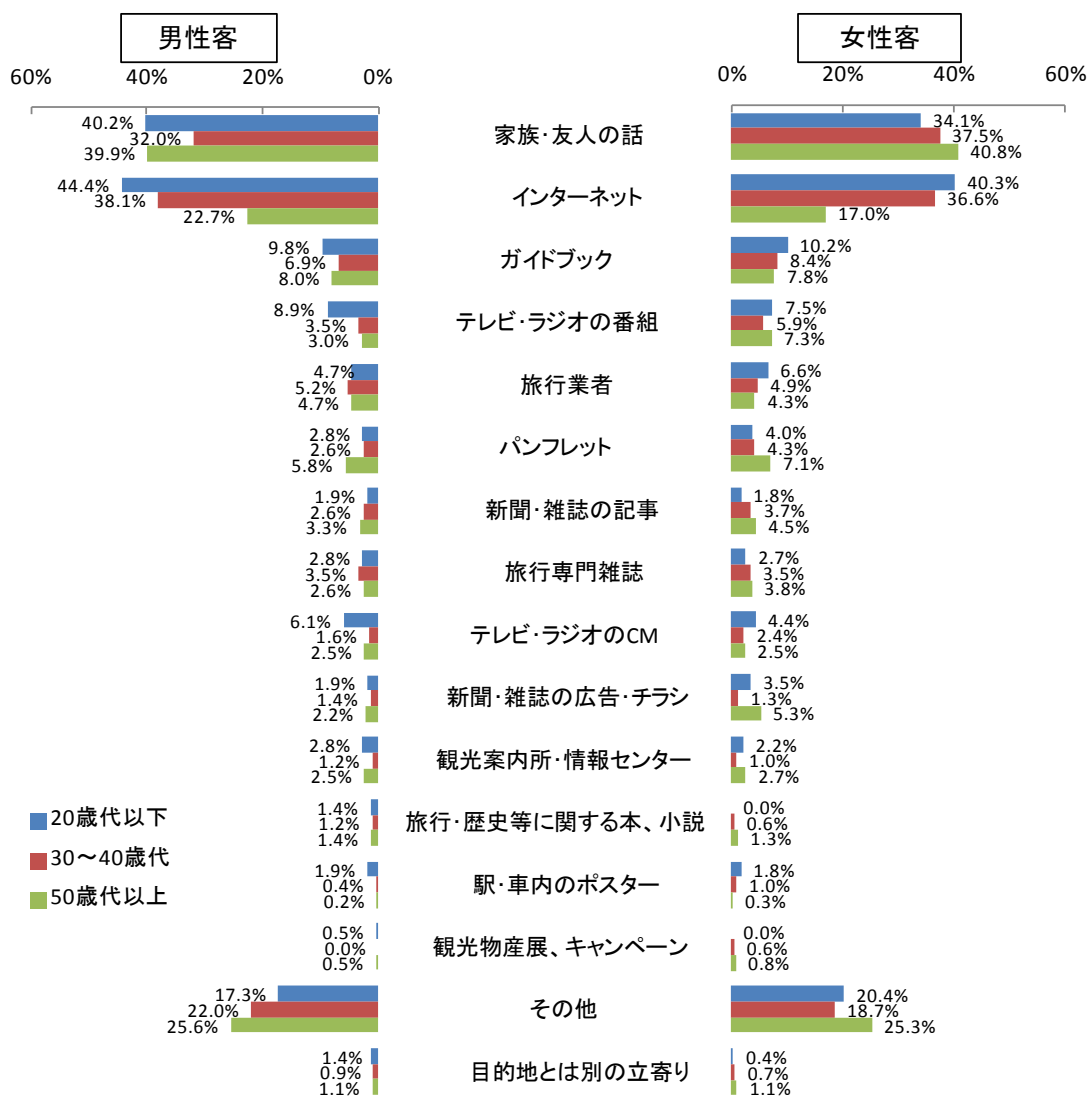
男女で大きな差はみられなかったが、「名所・旧跡・歴史」では男性が、「文化・芸術」では女性がやや多くなっている。



* 複数回答

③旅行計画の参考資料

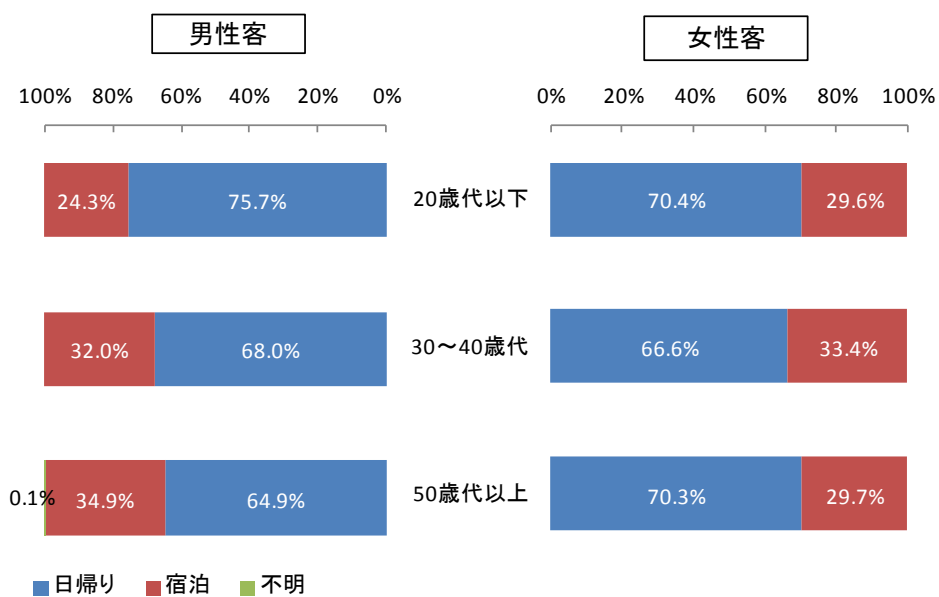
旅行の際に参考にする資料は、ほぼ全ての年代・性別で「家族・友人の話」が高い割合となったが、50歳未満の男性と20～30歳代の女性では「インターネット」が最も高く、昨年度から最も高い年齢層が拡大している。



* 複数回答

④宿泊の有無

属性別に旅行形態（宿泊か日帰りか）を分析すると、女性客では年代間の差異があまりみられないのに対し、男性では、年齢層が高くなるにつれ宿泊の割合が高くなっている。



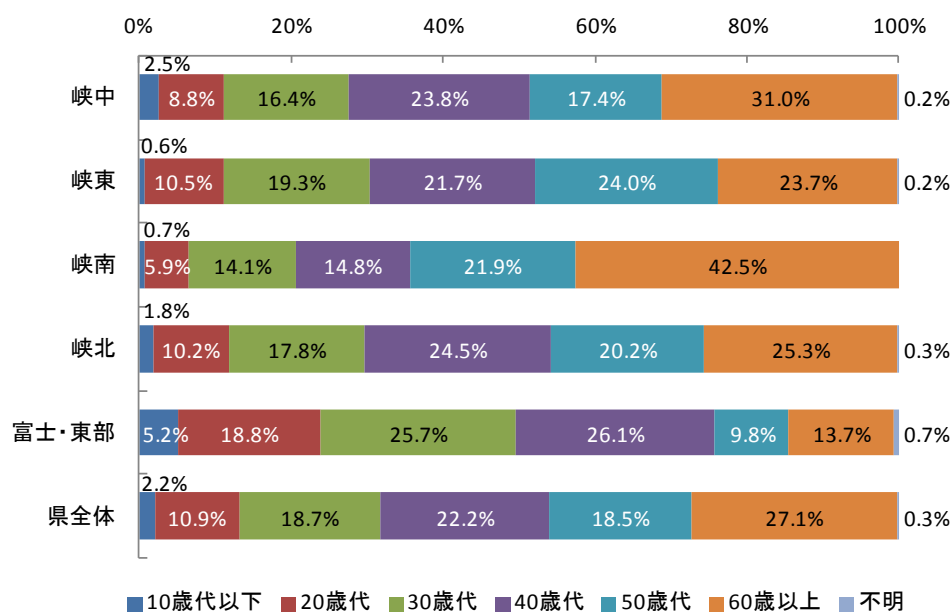
(3) 圏域別の観光客の特徴

圏域別の観光客の特徴を把握するため、次の項目について分析を行った。

- ①アンケート回答者の属性
- ②観光客の同行人数
- ③観光客のグループ形態
- ④宿泊の有無
- ⑤観光客の満足度

①アンケート回答者の属性

圏域別の年代構成をみると、「峡中」、「峡東」、「峡北」はほぼ県全体と同じ傾向を示しているが、「峡南」で50歳代以上がおよそ64.4%に達し、他の圏域よりも高齢者の割合が高くなっている。一方、「富士・東部」では40歳代以下が75.8%を占めている。

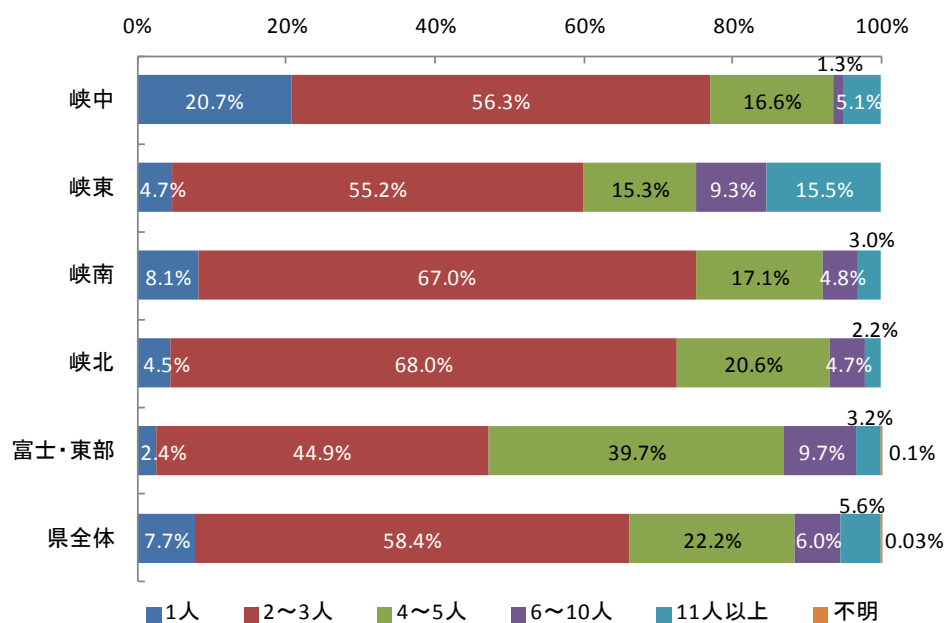


②観光客の同行人数

圏域別に旅行者の同行者数を比較すると、いずれの圏域においても「2～3人」の割合が最も高いが、「富士・東部」、「峡東」では、4人以上の割合が他の圏域に比べて高くなっている。峡東では11人以上の割合が高いが、これは、調査地点を観光バス等を利用して訪れる人が多いという傾向を反映していると推測される。このほか、「1人」が「峡中」で高い(20.7%)。

前年と同じような傾向であった。

	峡中	峡東	峡南	峡北	富士・東部	県全体
1人	20.7%	4.7%	8.1%	4.5%	2.4%	7.7%
2～3人	56.3%	55.2%	67.0%	68.0%	44.9%	58.4%
4～5人	16.6%	15.3%	17.1%	20.6%	39.7%	22.2%
6～10人	1.3%	9.3%	4.8%	4.7%	9.7%	6.0%
11人以上	5.1%	15.5%	3.0%	2.2%	3.2%	5.6%
不明	-	-	-	-	0.1%	0.03%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



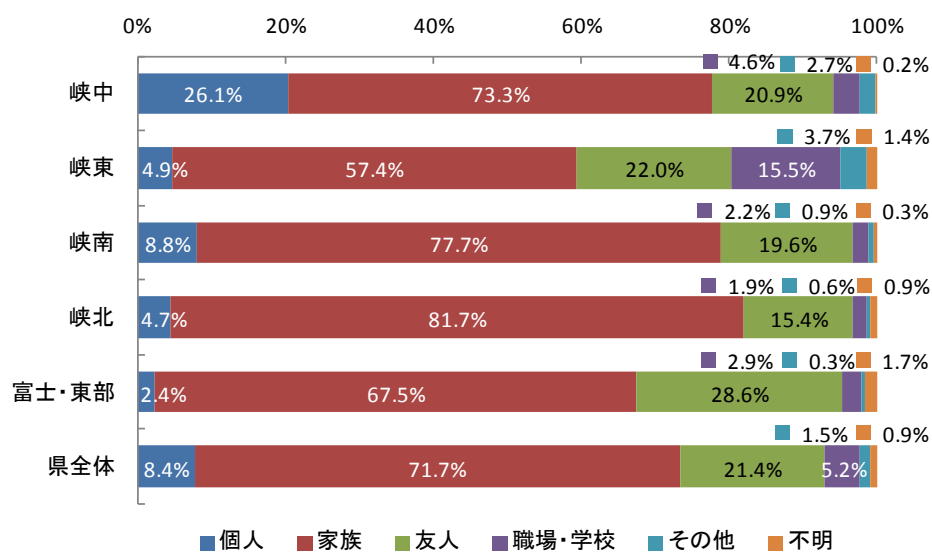
③観光客のグループ形態

圏域別のグループ形態では、いずれの圏域も「家族」での旅行が最も多く、特に「峡北」では81.7%と高い割合となっている。

「峡東」では、「家族」が他圏域に比べて低くなっている代わりに、「職場・学校等の団体旅行」（15.5%）が高い。

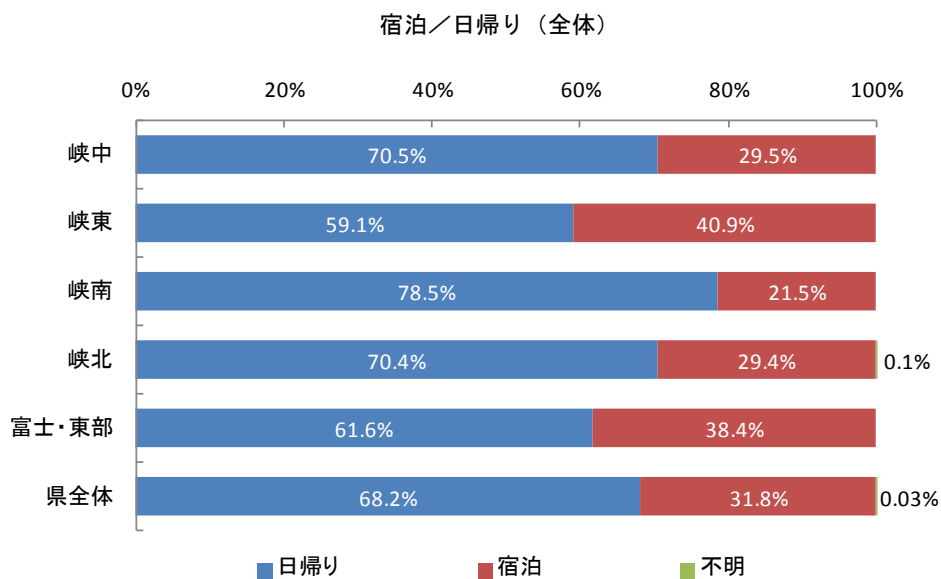
「友人」の割合が最も高かったのは「富士・東部」（28.6%）だった。

	峡中	峡東	峡南	峡北	富士・東部	県全体
個人	26.1%	4.9%	8.8%	4.7%	2.4%	8.4%
家族	73.3%	57.4%	77.7%	81.7%	67.5%	71.7%
友人	20.9%	22.0%	19.6%	15.4%	28.6%	21.4%
職場・学校	4.6%	15.5%	2.2%	1.9%	2.9%	5.2%
その他	2.7%	3.7%	0.9%	0.6%	0.3%	1.5%
不明	0.2%	1.4%	0.3%	0.9%	1.7%	0.9%
サンプル数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



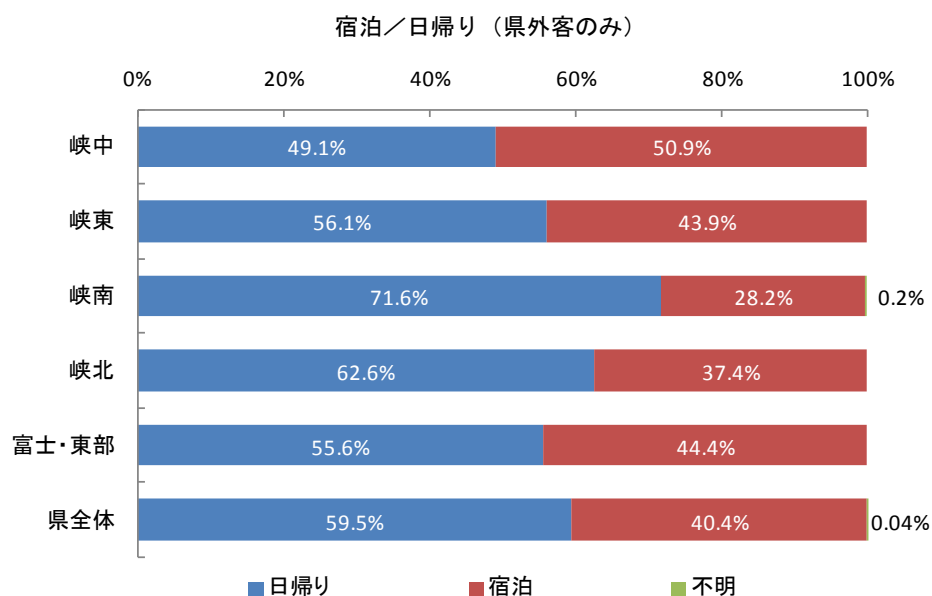
④宿泊の有無

圏域別に旅行形態（宿泊か日帰りか）をみると、県外客と県内客を合わせた全体では「峡南」で「日帰り」の割合が78.5%となり、他圏域に比べ高くなっている。調査地の一つが県内客もよく利用する温泉施設であることが影響していると考えられる。「峡東」では、「宿泊」の割合が40.9%で他圏域に比べやや高く、次いで「富士・東部」38.4%となっている。



県外からの観光客に限ってみると、全体では日帰り客が6割近くを占めており、昨年の調査とほぼ同様であった。

「峡東」で宿泊客の割合が増加する一方で、「峡北」、「富士・東部」では減少している。



【前年対比】

		H24 (%ベース)	H23 (%ベース)	比較増減(ポイント)
峡中	日帰り	49.1	48.2	0.9
	宿泊	50.9	51.8	△0.9
峡東	日帰り	56.1	58.4	△2.3
	宿泊	43.9	41.6	2.3
峡南	日帰り	71.6	70.7	0.9
	宿泊	28.2	29.1	△0.9
峡北	日帰り	62.6	61.1	1.5
	宿泊	37.4	38.9	△1.5
富士・東部	日帰り	55.6	53.2	2.4
	宿泊	44.4	46.8	△2.4
県全体	日帰り	59.5	58.7	0.8
	宿泊	40.4	41.3	△0.9

⑤観光客の満足度

観光の分野別の満足度を、圏域別に比較した（ただし、「わからない」及び不明の回答は除く）。

◆峡中

「文化・歴史」に対する満足度（満足＋やや満足）は県全体に比べて高くなっているが、「山梨県全体の満足度」は県全体を下回った。また、「公共交通の便」に対する満足度が、他の圏域と比較して最も低くなっている。

◆峡東

「地元のおもてなし」のうちの「バス」、「タクシー」に対する満足度が他の圏域と比較して最も高くなっている。その一方で、「観光施設の充実度」や「道路整備」、「案内標識・看板」の満足度が相対的に低い。

◆峡南

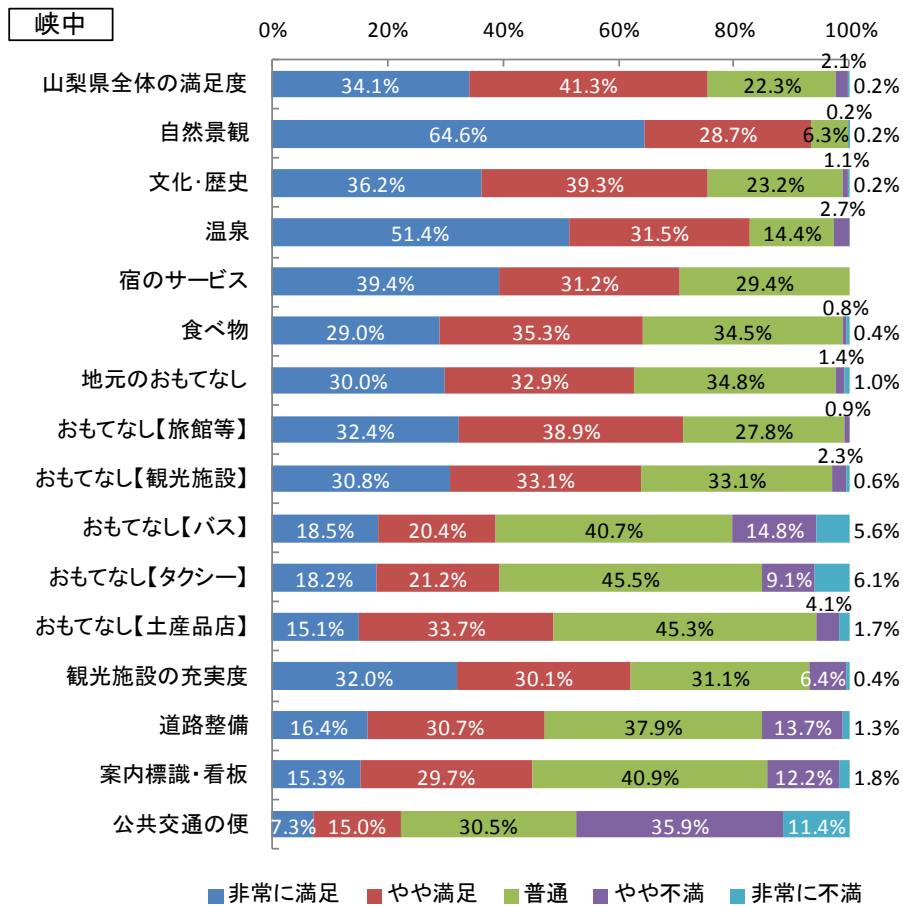
全体的に県平均と比較して満足度が高い項目が多く、特に「食べ物」、「文化・歴史」、「温泉」などで高くなっている。また、おもてなし関連の項目や「道路整備」、「案内標識・看板」などについても満足度は高い。

◆峡北

「山梨県全体の満足度」は最も低い。その他の項目についても県全体を下回る項目が多く、特に「文化・歴史」、「温泉」、「観光施設の充実度」や「地元のおもてなし」のうち「旅館」、「バス」、「タクシー」などの満足度が低い。

◆富士・東部

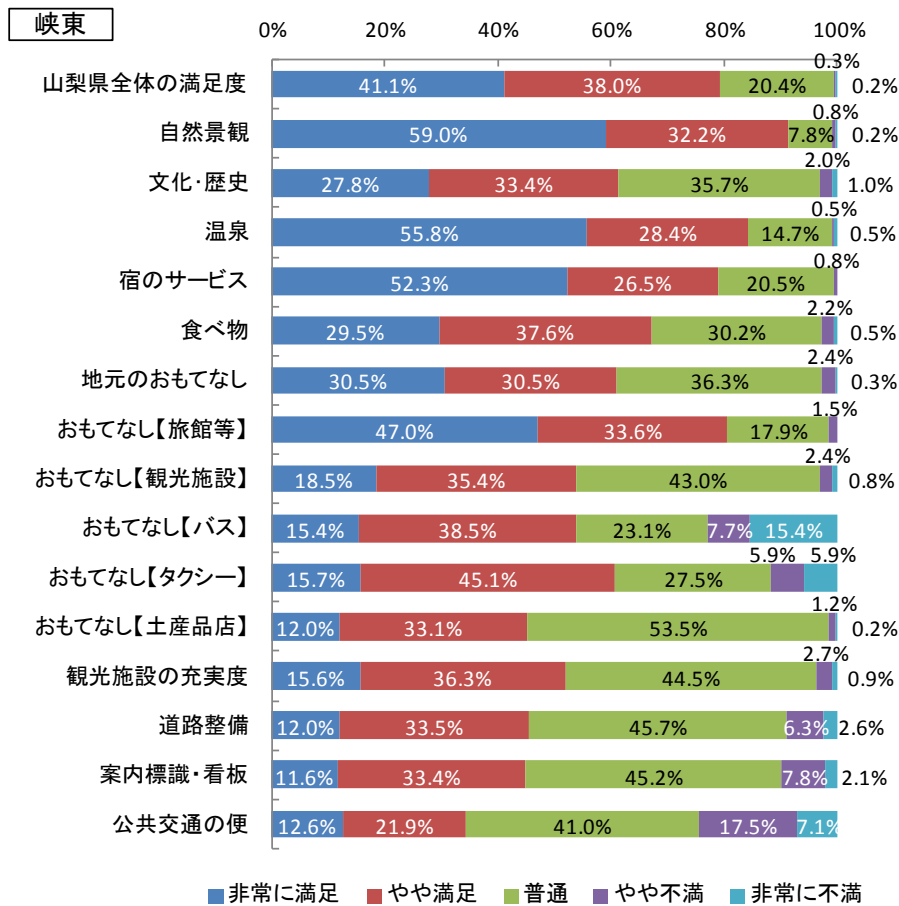
「山梨県全体の満足度」は最も高い。「地元のおもてなし」については、ほとんどの項目で県全体を上回っており、「観光施設の充実度」や「道路整備」、「案内標識・看板」などについても満足度は高い。



【県全体との差分】

	満足			普通	不満		
	満足	非常に満足	やや満足		不満	やや不満	非常に不満
山梨県全体の満足度	-2.4%	-3.6%	1.2%	1.3%	1.1%	1.1%	0.01%
自然景観	0.1%	1.0%	-0.9%	0.1%	-0.2%	-0.3%	0.1%
文化・歴史	8.6%	5.0%	3.6%	-8.2%	-0.4%	-0.2%	-0.2%
温泉	-3.8%	-3.7%	-0.2%	2.4%	1.5%	1.6%	-0.2%
宿のサービス	-4.0%	0.4%	-4.4%	5.5%	-1.6%	-1.4%	-0.1%
食べ物	-2.7%	-0.7%	-1.9%	4.5%	-1.9%	-1.6%	-0.2%
地元のおもてなし	-1.0%	4.9%	-5.9%	0.1%	0.8%	0.2%	0.7%
旅館等	-3.6%	-1.2%	-2.4%	4.5%	-0.9%	-0.8%	-0.2%
観光施設	-2.6%	4.6%	-7.2%	2.2%	0.4%	0.3%	0.1%
バス	-6.1%	4.1%	-10.2%	3.2%	2.9%	3.9%	-1.0%
タクシー	-7.3%	3.0%	-10.3%	8.0%	-0.6%	-0.1%	-0.5%
土産品店	-3.6%	0.9%	-4.6%	0.4%	3.3%	2.0%	1.3%
観光施設の充実度	-1.7%	6.6%	-8.4%	-0.2%	2.0%	2.0%	0.003%
道路整備	-10.2%	-4.1%	-6.1%	3.7%	6.5%	6.2%	0.3%
案内標識・看板	-8.9%	-3.7%	-5.3%	5.4%	3.5%	2.8%	0.8%
公共交通の便	-11.2%	-6.2%	-5.1%	-5.3%	16.6%	15.8%	0.7%

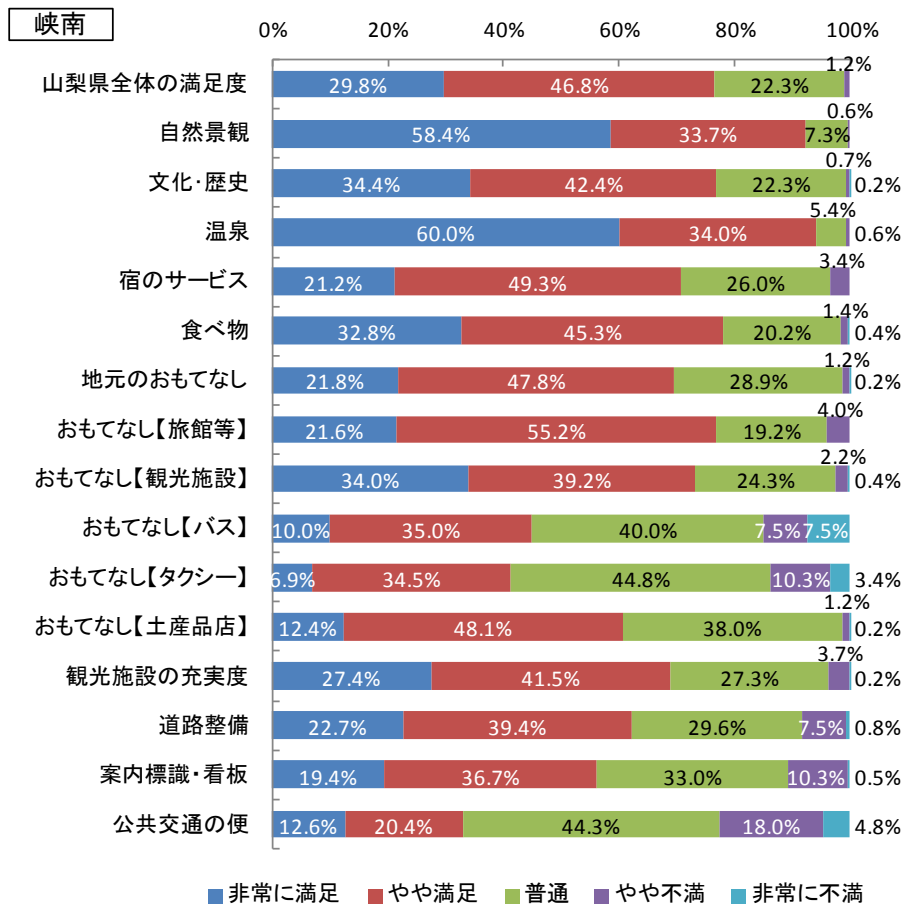
 +5%以上
 0%以上 +5%未満
 -5%未満
 -5%以上 0%未満



【県全体との差分】

	満足			普通	不満		
	満足	非常に満足	やや満足		不満	やや不満	非常に不満
山梨県全体の満足度	1.3%	3.4%	-2.1%	-0.6%	-0.6%	-0.6%	0.01%
自然景観	-2.1%	-4.7%	2.6%	1.6%	0.5%	0.4%	0.1%
文化・歴史	-5.7%	-3.4%	-2.3%	4.3%	1.4%	0.7%	0.7%
温泉	-2.5%	0.8%	-3.3%	2.7%	-0.2%	-0.6%	0.4%
宿のサービス	4.2%	13.2%	-9.0%	-3.4%	-0.8%	-0.7%	-0.1%
食べ物	0.1%	-0.2%	0.3%	0.3%	-0.4%	-0.3%	-0.2%
地元のおもてなし	-2.8%	5.5%	-8.3%	1.7%	1.2%	1.1%	0.1%
旅館等	5.7%	13.4%	-7.7%	-5.3%	-0.4%	-0.2%	-0.2%
観光施設	-12.8%	-7.8%	-5.0%	12.1%	0.7%	0.4%	0.3%
バス	8.9%	1.0%	7.9%	-14.5%	5.6%	-3.2%	8.8%
タクシー	14.0%	0.5%	13.6%	-10.0%	-4.0%	-3.4%	-0.6%
土産品店	-7.4%	-2.2%	-5.2%	8.5%	-1.1%	-0.9%	-0.2%
観光施設の充実度	-12.1%	-9.9%	-2.2%	13.2%	-1.1%	-1.7%	0.5%
道路整備	-11.9%	-8.5%	-3.3%	11.5%	0.4%	-1.2%	1.6%
案内標識・看板	-9.0%	-7.4%	-1.6%	9.7%	-0.6%	-1.7%	1.0%
公共交通の便	0.9%	-0.9%	1.8%	5.2%	-6.1%	-2.6%	-3.5%

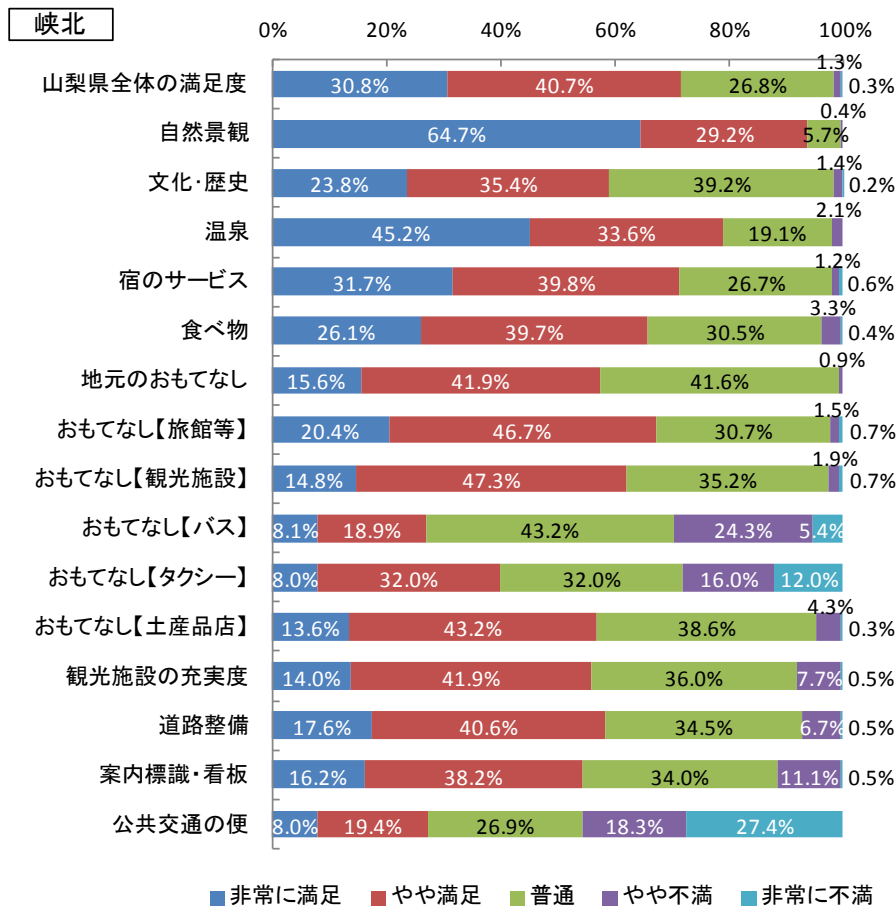
+5%以上
0%以上 +5%未満
-5%未満
-5%以上 0%未満



【県全体との差分】

項目	満足			普通	不満		
	満足	非常に満足	やや満足		不満	やや不満	非常に不満
山梨県全体の満足度	-1.3%	-7.9%	6.6%	1.3%	0.05%	0.2%	-0.2%
自然景観	-1.1%	-5.2%	4.1%	1.1%	0.1%	0.2%	-0.1%
文化・歴史	9.9%	3.2%	6.7%	-9.1%	-0.8%	-0.6%	-0.2%
温泉	7.3%	5.0%	2.3%	-6.6%	-0.7%	-0.5%	-0.2%
宿のサービス	-4.1%	-17.8%	13.8%	2.2%	1.9%	2.0%	-0.1%
食べ物	11.1%	3.1%	8.0%	-9.8%	-1.3%	-1.1%	-0.2%
地元のおもてなし	5.8%	-3.2%	9.0%	-5.7%	-0.1%	-0.03%	-0.03%
旅館等	1.9%	-12.0%	14.0%	-4.1%	2.1%	2.3%	-0.2%
観光施設	6.6%	7.7%	-1.1%	-6.7%	0.1%	0.2%	-0.1%
バス	0.02%	-4.4%	4.4%	2.4%	-2.5%	-3.4%	0.9%
タクシー	-5.4%	-8.3%	3.0%	7.3%	-2.0%	1.1%	-3.1%
土産品店	8.1%	-1.8%	9.8%	-7.0%	-1.0%	-0.9%	-0.2%
観光施設の充実度	5.0%	2.0%	3.0%	-4.1%	-1.0%	-0.7%	-0.2%
道路整備	4.8%	2.2%	2.6%	-4.5%	-0.2%	0.0%	-0.2%
案内標識・看板	2.2%	0.4%	1.7%	-2.5%	0.3%	0.9%	-0.6%
公共交通の便	-0.6%	-0.8%	0.3%	8.5%	-7.9%	-2.1%	-5.8%

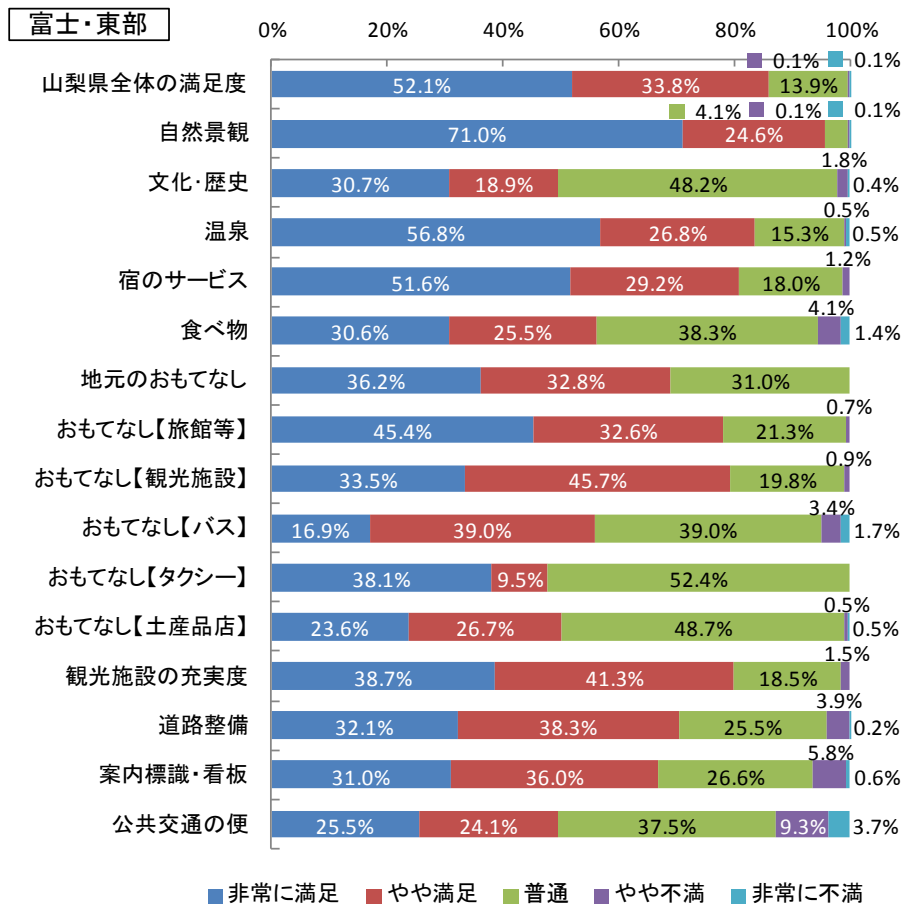
+5%以上
 -5%未満
0%以上+5%未満
 -5%以上 0%未満



【県全体との差分】

	満足			普通	不満		
	満足	非常に満足	やや満足		不満	やや不満	非常に不満
山梨県全体の満足度	-6.3%	-6.9%	0.6%	5.8%	0.5%	0.3%	0.2%
自然景観	0.6%	1.0%	-0.5%	-0.5%	-0.1%	0.01%	-0.1%
文化・歴史	-7.8%	-7.4%	-0.3%	7.8%	0.0%	0.1%	-0.1%
温泉	-7.9%	-9.8%	1.9%	7.1%	0.8%	0.9%	-0.2%
宿のサービス	-3.2%	-7.4%	4.2%	2.9%	0.3%	-0.2%	0.5%
食べ物	-1.2%	-3.6%	2.5%	0.6%	0.6%	0.8%	-0.2%
地元のおもてなし	-6.3%	-9.4%	3.1%	7.0%	-0.7%	-0.4%	-0.3%
旅館等	-7.7%	-13.2%	5.5%	7.4%	0.3%	-0.2%	0.6%
観光施設	-4.4%	-11.5%	7.0%	4.3%	0.2%	-0.03%	0.2%
バス	-18.0%	-6.3%	-11.6%	5.7%	12.3%	13.4%	-1.1%
タクシー	-6.7%	-7.2%	0.5%	-5.5%	12.2%	6.8%	5.5%
土産品店	4.3%	-0.5%	4.9%	-6.4%	2.1%	2.2%	-0.1%
観光施設の充実度	-8.1%	-11.5%	3.4%	4.6%	3.4%	3.3%	0.1%
道路整備	0.9%	-2.9%	3.9%	0.3%	-1.3%	-0.8%	-0.5%
案内標識・看板	0.4%	-2.8%	3.2%	-1.5%	1.1%	1.7%	-0.6%
公共交通の便	-6.1%	-5.4%	-0.7%	-8.9%	15.0%	-1.8%	16.8%

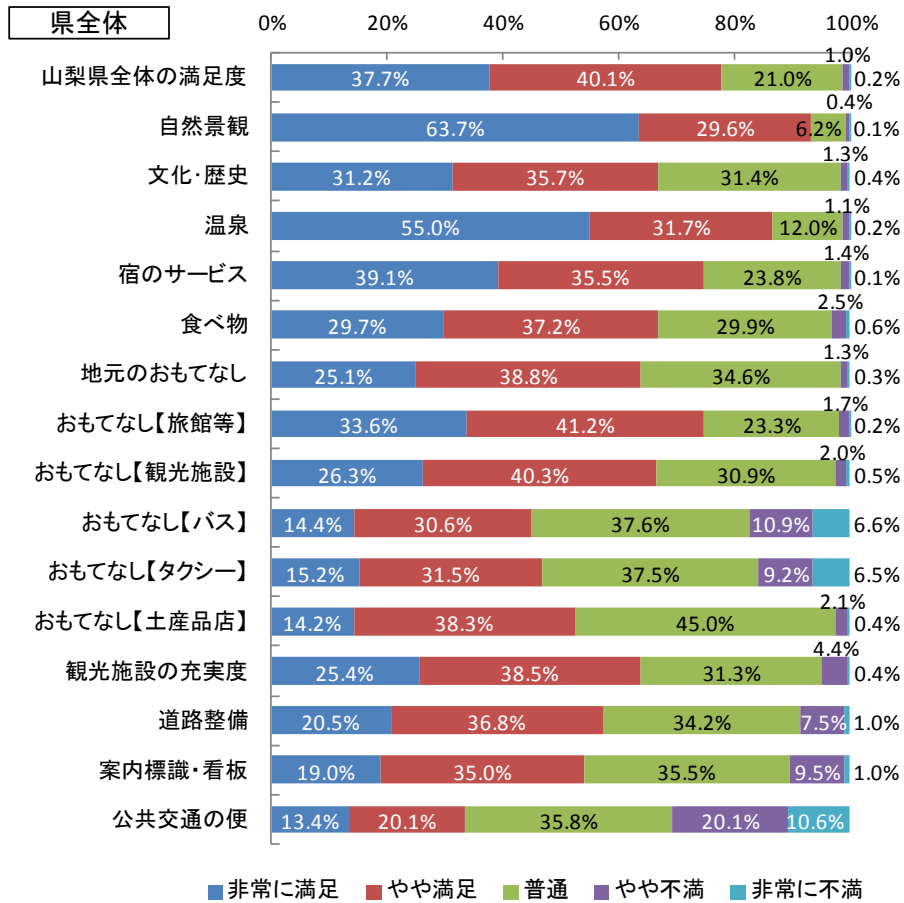
 +5%以上
 0%以上+5%未満
 -5%未満
 -5%以上 0%未満



【県全体との差分】

項目	満足			普通	不満		
	満足	非常に満足	やや満足		不満	やや不満	非常に不満
山梨県全体の満足度	8.0%	14.3%	-6.3%	-7.2%	-0.8%	-0.8%	-0.01%
自然景観	2.3%	7.3%	-5.0%	-2.1%	-0.2%	-0.3%	0.1%
文化・歴史	-17.3%	-0.5%	-16.8%	16.8%	0.5%	0.5%	-0.01%
温泉	-3.1%	1.8%	-4.9%	3.3%	-0.2%	-0.6%	0.4%
宿のサービス	6.1%	12.5%	-6.4%	-5.8%	-0.3%	-0.2%	-0.1%
食べ物	-10.8%	0.9%	-11.7%	8.4%	2.4%	1.6%	0.8%
地元のおもてなし	5.1%	11.2%	-6.0%	-3.6%	-1.5%	-1.3%	-0.3%
旅館等	3.1%	11.7%	-8.6%	-2.0%	-1.2%	-1.0%	-0.2%
観光施設	12.7%	7.3%	5.4%	-11.1%	-1.6%	-1.1%	-0.5%
バス	11.0%	2.5%	8.4%	1.4%	-12.4%	-7.5%	-4.9%
タクシー	0.9%	22.9%	-22.0%	14.9%	-15.8%	-9.2%	-6.5%
土産品店	-2.2%	9.4%	-11.6%	3.7%	-1.5%	-1.6%	0.1%
観光施設の充実度	16.1%	13.3%	2.8%	-12.8%	-3.3%	-2.9%	-0.4%
道路整備	13.1%	11.6%	1.5%	-8.7%	-4.4%	-3.6%	-0.8%
案内標識・看板	12.9%	12.0%	1.0%	-8.9%	-4.0%	-3.6%	-0.4%
公共交通の便	16.0%	12.0%	4.0%	1.7%	-17.7%	-10.8%	-6.9%

+5%以上
 -5%未満
0%以上+5%未満
 -5%以上 0%未満



<アンケート調査票>

Q1. あなたのお住まいはどこですか。国内にお住まいであれば都道府県名、海外であれば国名をご記入下さい。また、この調査実施県にお住まいの場合は市町村名をご記入下さい。

(都道府県名: _____)	海外の場合 (国名: _____)
↓ 山梨県内の場合 → (市町村名 _____)	

Q2. あなたの性別、年齢を選んで下さい。※それぞれ1つだけ

性別 : 1. 男性 2. 女性
年齢 : 1. 10歳未満 2. 10歳代 3. 20歳代 4. 30歳代 5. 40歳代 6. 50歳代 7. 60歳代 8. 70歳代 9. 80歳以上

Q3. 今回の旅行は日帰りですか、宿泊ですか。※1つだけ

宿泊であれば、何泊か、そのうち県内では何泊するか、いくつの施設に宿泊するかをご記入下さい。また、県内ではどのような施設に宿泊するかをご記入下さい。※いくつでも

1. 日帰り 2. <u>宿泊</u>
↓ 宿泊数 _____ 泊 → そのうち県内 _____ 泊 ⇒ 県内宿泊施設数 _____ 施設

<県内宿泊施設>

- | | | | | |
|--------------|-----------------------------|---------|-------------|-----------------|
| 1. 実家や知人・親戚宅 | 2. 旅館 | 3. ホテル | 4. ペンション・民宿 | 5. 保養所・研修所 |
| 6. キャンプ場 | 7. (キャンプ場以外の) 車中泊・交通機関内での宿泊 | | | 8. 別荘・リゾートマンション |
| 9. 会員制の宿泊施設 | | 10. その他 | | |

Q4. 今回の旅行の主要な目的は何ですか。※1つだけ

また観光の場合、その目的はなんですか (複数回答可)。

1. ビジネス 2. 観光 3. 帰省 4. (1~3のどれでもない) その他																				
観光目的 { <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="padding: 2px;">1.自然を楽しむ</td> <td style="padding: 2px;">2.温泉を楽しむ</td> <td style="padding: 2px;">3.名所、旧跡、歴史</td> <td style="padding: 2px;">4.行楽 (遊園地、観光施設等)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">5.慰安旅行</td> <td style="padding: 2px;">6.登山、トレッキング</td> <td style="padding: 2px;">7.スポーツ、レクリエーション</td> <td style="padding: 2px;">8.収穫体験</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">9.ものづくり体験</td> <td style="padding: 2px;">10.ショッピング</td> <td style="padding: 2px;">11.郷土料理</td> <td style="padding: 2px;">12.文化、芸術</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">13.祭り、イベント</td> <td style="padding: 2px;">14.保養、休養</td> <td style="padding: 2px;">15.旅先での出会い・交流</td> <td style="padding: 2px;">16.目的地とは別の立ち寄り</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="padding: 2px;">17.その他</td> </tr> </table>	1.自然を楽しむ	2.温泉を楽しむ	3.名所、旧跡、歴史	4.行楽 (遊園地、観光施設等)	5.慰安旅行	6.登山、トレッキング	7.スポーツ、レクリエーション	8.収穫体験	9.ものづくり体験	10.ショッピング	11.郷土料理	12.文化、芸術	13.祭り、イベント	14.保養、休養	15.旅先での出会い・交流	16.目的地とは別の立ち寄り	17.その他			
1.自然を楽しむ	2.温泉を楽しむ	3.名所、旧跡、歴史	4.行楽 (遊園地、観光施設等)																	
5.慰安旅行	6.登山、トレッキング	7.スポーツ、レクリエーション	8.収穫体験																	
9.ものづくり体験	10.ショッピング	11.郷土料理	12.文化、芸術																	
13.祭り、イベント	14.保養、休養	15.旅先での出会い・交流	16.目的地とは別の立ち寄り																	
17.その他																				

Q5. あなたも含めて、何人での、どなたと一緒に旅行ですか。※子供や乳幼児も含む

(_____) 人
↓ 2人以上の場合 → 1. 家族 2. 友人 3. 職場・学校等の団体旅行 4. その他

Q6. ご一緒のみなさん全員の、今いる観光地の訪問が何回目かご存じですか。※回答の合計はQ5と一致

1. 知らない 2. <u>知っている</u> → 1回目の人数 (_____) 人、2回目の人数 (_____) 人 3回目の人数 (_____) 人、4回目以上の人数 (_____) 人

Q7. (県外にお住まいの方のみお答えください)

あなたの山梨県への訪問割合はどれくらいですか。

また、ご一緒のみなさん全員の、当県の訪問が何回目かご存じですか。※回答の合計はQ5と一致

訪問割合 1. 1年に1回以上 2. 2~3年に1回程度 3. 5年に1回程度 4. 10年に1回程度 5. 今回の旅行が初めて
1. 知らない 2. <u>知っている</u> → 1回目の人数 (_____) 人、2回目の人数 (_____) 人 3回目の人数 (_____) 人、4回目以上の人数 (_____) 人

Q8. 旅行を計画されるにあたって主に何を参考にされましたか。(複数回答可)

- 1.家族・友人の話 2.観光案内所・情報センター 3.旅行者 4.テレビ・ラジオの番組
 5.テレビ・ラジオのCM 6.インターネット 7.新聞・雑誌の記事 8.新聞・雑誌の広告・チラシ
 9.ガイドブック 10.旅行専門雑誌 11.旅行・歴史等に関する本、小説
 12.観光物産展、キャンペーン 13.パンフレット 14.駅・車内のポスター 15.その他 ()

Q9. 今回の旅行で訪れた県内の観光地と移動に用いた交通機関をご記入下さい。これから訪問する観光地についても予定をご記入下さい。※観光地は一覧表より、交通機関は下表より番号をお選び下さい。
 また、当県に訪れる前・後に立ち寄った(立ち寄る予定の)都道府県があれば記入下さい。

	ここに来る前にいた場所		現在地		これから行く予定の場所	
居住地	→	→	調査地点	→	→	居住地
交通機関 ()	交通機関 ()	交通機関 ()	交通機関 ()	交通機関 ()	交通機関 ()	交通機関 ()

【表】交通機関

① J R 新幹線	② J R 在来線	③ 私鉄・地下鉄	④ モノレール	⑤ 貸切バス・観光バス
⑥ 高速バス	⑦ 市内バス	⑧ 市内電車	⑨ タクシー・ハイヤー	
⑩ レンタカー	⑪ 自家用車、社用・公用車	⑫ その他		

当県以外に立ち寄り都道府県がある場合はご記入ください

	ここに来る前にいた県		現在地		これから行く予定の県	
居住地	→	→	当 県	→	→	居住地
交通機関 ()	交通機関 ()	交通機関 ()	交通機関 ()	交通機関 ()	交通機関 ()	交通機関 ()

※交通機関は上表から選択

Q10. 今回の旅行で、使う費用(これから使う予定も含めて)を教えてください。

1人当たりの費用を、下欄の項目別にご記入下さい。

- ※ 交通費は高速料金やガソリン代や駐車場代を含め、県外・県内分を分けて記入
- ※ 今回の旅行がパック旅行である場合、費用が県内のみか、県外分を含むかを選択

	使用費用		使用費用
①交通費	(県内分) 円		(県外分) 円
②宿泊費	(県内分) 円		
③土産代	(県内分) 円		
④飲食費	(県内分) 円		
⑤入場料	(県内分) 円		
⑥その他	(県内分) 円		
⑦パック料金			円

↑ 県内分のみ もしくは 県外分含む

Q1 1. 今回の山梨県内の旅行での満足度をお答え下さい。(該当するもの○印をつけて下さい)

	非常に満足	やや満足	普通	やや不満	非常に不満	わからない
1. 山梨県全体の満足度	1	2	3	4	5	6
2. 自然景観	1	2	3	4	5	6
3. 文化・歴史	1	2	3	4	5	6
4. 温泉	1	2	3	4	5	6
5. 宿のサービス	1	2	3	4	5	6
6. 食べ物	1	2	3	4	5	6
7. 旅先でのおもてなし	1	2	3	4	5	6
①旅館等	1	2	3	4	5	6
②観光施設	1	2	3	4	5	6
③バス	1	2	3	4	5	6
④タクシー	1	2	3	4	5	6
⑤土産品店	1	2	3	4	5	6
8. 観光施設の充実度	1	2	3	4	5	6
9. 道路整備	1	2	3	4	5	6
10. 案内標識・看板	1	2	3	4	5	6
11. 公共交通の便	1	2	3	4	5	6

Q1 2. 県外又は外国にお住まいの方に伺います。また山梨に来てみたいと思いますか。

1. すごくそう思う	2. やや思う	3. どちらでもない
4. あまり思わない	5. 全く思わない	

Q1 3. 山梨県では、皆さまに気軽に何度でも訪れていただける観光地づくりを目指しています。ご意見を自由にご記入下さい。

☆☆ 調査内容は以上です。ご協力、ありがとうございました。☆☆

※調査票コード	都道府県	調査地点ID	調査年月日	調査時刻	ID
1. 観_共通_日				:	

調査員記入欄

調査地点名：	調査年月日：平成 年 月 日
調査員名：	調査時刻：(:)